

研究業績：診療局 内科

《総合内科・感染症内科》

(1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Genotype 1 hepatitis E virus infection with acute acalculous cholecystitis as an extrahepatic symptom: a case report.	Fujioka K, Nishimura T, Seki M, Kinoshita M, Mishima N, Irimajiri S, Yamato M.	Trop Med Health.	44	18-21	2016

(2) 和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	エボラウイルス病と透析治療	倭 正也	腎と透析	81(4)	701-705	2016
2	問題58 皮膚筋炎・間質性肺炎	入交重雄	目で見るとレーニング第3集 内科系専門医受験のための必修臨床問題		125-126	2016
3	第1章 Fever 発熱	入交重雄 川越栄子	医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep1		2-13	2016
4	外国人患者に優しい病院:りんくう総合医療センターの現状	入交重雄	日本医学英語教育学会 会誌	Vol15 No1	51-54	2016
5	全身性強皮症との鑑別に難渋した筋膜炎脂肪織炎症候群の1例	谷本和紀 入交重雄 関 雅之 葛城有希子 山田 豊 木下真孝 三島伸介 倭 正也	日本内科学会雑誌	105	866-871	2016

(3) 国際学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	The Infectious Disease Emergency Response System in Japan	倭 正也	Gyeonggi Province June 2, 2016 International Conference on Response to Infectious Disease	シンポジウム	2016.6.1-4
2	Dealing with serious contagious viral infection	倭 正也	19th APCCCM 2016 combine with the 2nd Joint Meeting of JSICM & TSCCM 7th Critical Care Conference in Thailand 24th TSCCM Annual Meeting 2016	シンポジウム	2016.10.12-15

(4) 国内学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	当院におけるStaphylococcus lugdunensis 菌血症例の生命予後を含む臨床的特徴について	関 雅之 藤岡 研 葛城有希子 木下真孝 三島伸介 入交重雄 倭 正也	第113回日本内科学会総会・講演会(医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ 2016東京)	口演	2016.4.16
2	Fusobacterium necrophorum 菌血症を契機に診断に至った敗血症性肺塞栓症や播種性膿瘍を伴うLemierre症候群の1例	中上勝一朗 藤岡 研 関 雅之 葛城有希子 入交重雄 倭 正也	第213回日本内科学会近畿地方会	口演	2016.9.24
3	集団施設内での感染が疑われた腸チフスの症例	藤岡 研 関 雅之 倭 正也	第86回日本感染症学会 西日本地方会学術集会	口演	2016.11.24
4	当院での過去3年間の血液培養からStaphylococcus lugdunensis が検出された症例における生命予後を含む臨床的特徴について	関 雅之 藤岡 研 倭 正也	第86回日本感染症学会 西日本地方会学術集会	口演	2016.11.26
5	一類感染症病室X線撮影におけるFPDシステムの有用性	飯塚明寿 山内真澄 深川敬子 倭 正也	第32回日本環境感染学会総会・学術集会 感染制御学の基本と革新 一感染症拡大を防ぐー	口演	2017.2.25

(5) 研究会・講演会

番号整理	演題	発表者	研究会名	年月日
1	特別講演「救急分野における感染対策の重要性と課題」～特定感染症指定医療機関としての当院の取り組みも含めて～	倭 正也	第4回おいでまっし感染対策研究会～救急分野における感染対策～	2016.6.17
2	新興感染症に備える	倭 正也	G7神戸保健大臣会合関連市民フォーラム「感染症との闘い」	2016.9.3
3	医療機関における院内感染防止のための標準予防策の実践 結核及びHIV感染症等慢性感染症患者への対応について	倭 正也	2016年度 岸和田保健所管内医療機関 感染症対策研修会	2016.9.30
4	英語ロールプレイ	入交重雄	大阪大学医療通訳養成コース	2016.11.12
5	救急分野における感染対策の重要性と今後の課題 ～特定感染症指定医療機関としての新興感染症への備えも含めて～	倭 正也	和歌山院内感染対策セミナー 済生会和歌山病院	2016.11.30
6	特別講演 敗血症性急性腎障害(Septic AKI)における第一選択の急性血液浄化療法としてのContinuous PMX-DHPの可能性	倭 正也	第16回甲信急性血液浄化療法研究会学術セミナー	2016.12.3

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
7	関西空港で発生した麻しんの集団感染について	倭 正也	2017年度第2回阪神地区感染症懇話会	2017.1.6
8	英語ロールプレイ	入交重雄	大阪大学医療通訳養成コース	2017.2.4
9	国際空港で働くうえで注意すべき輸入感染症および当院での対応について	倭 正也	CKTS株式会社様研修会	2017.3.23

(6) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	医療英語	入交重雄	関西医療大学保健看護学部	2016年度前期
2	免疫・アレルギー疾患	入交重雄	関西医療大学保健看護学部特別講義	2016.4.14 2016.5.12
3	EVD集中治療 血液浄化療法	倭 正也	一類感染症対策ワークショップ「一類感染症受け入れ態勢整備研修会」 国立国際医療研究センター病院	2016.11.14
4	EVD集中治療 血液浄化療法	倭 正也	一類感染症対策ワークショップ「一類感染症受け入れ態勢整備研修会」 りんくう総合医療センター	2016.11.29
5	新興・再興感染症	倭 正也	大阪医科大学医学部 講義	2017.2.20

(7) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	国際保健・その他	入交重雄	第33回びわ湖国際医療フォーラム	2016.7.9
2	若手奨励賞(初期)	倭 正也	第213回内科学会近畿地方会	2016.9.24

(8) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	6つのポイントを意識する感染症診療の基本的な考え方	関 雅之	第191回臨床集談会	2016.4.28
2	30分でわかるペニシリン系抗菌薬講座	藤岡 研	第191回臨床集談会	2016.4.28
3	症例検討「急性期脳梗塞の初期診断で入院後にStaphylococcus lugdunensis菌血症が判明した一例」	関 雅之	りんくうカンファレンス196	2016.7.21
4	ミニレクチャー「当院におけるStaphylococcus lugdunensis菌血症例の生命予後を含む臨床的特徴について」	関 雅之	りんくうカンファレンス196	2016.7.21
5	感染アドバンス「感染症の基礎知識」	倭 正也	感染エキスパートコース	2016.9.1
6	感染アドバンス「感染症センター」	倭 正也	感染エキスパートコース	2016.11.17
7	薬剤耐性(AMR)感染症 ～抗菌薬の適正使用について～	倭 正也	りんくうメッセージ	2017.2.1

《糖尿病・内分泌代謝内科》

(1) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	大出血の自覚・他覚的所見に乏しく、MRIで確定診断に至った甲状腺中毒症併存のSheehan症候群の一例	清水勇雄 河田真由子 倉敷有紀子 矢頃 綾 大野 昭	第89回日本内分泌学会学術総会	一般演題(ポスター)	2016.4.21-23
2	2型糖尿病におけるサルコペニア合併の意義の検討	高井研次 山岡正弥 前田法一 西澤 均 船橋 徹 下村伊一郎	第59回日本糖尿病学会年次学術集会	ポスター	2016.5.21
3	当院における緩徐進行1型糖尿病に関する検討	樫根 晋 富畑 賢 竹下恵理子 火伏俊之	第59回日本糖尿病学会年次学術集会	ポスター	2016.5.21
4	糖尿病ケトアシドーシスに甲状腺中毒症を合併した急性発症1型糖尿病の1症例	柿澤佑実 高井研次 大野 昭 樫根 晋	第53回 日本糖尿病学会近畿地方会	口演	2016.11.12

(2) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	糖尿病患者の心血管イベントを予防する	樫根 晋	貝塚市医師会学術講演会	2017.1.26

(3) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	生活習慣病と睡眠時無呼吸症候群－眠りと生活習慣病の深い関わり	樫根 晋	臨床集談会	2016.5.26
2	糖尿病・内分泌代謝内科の現状	樫根 晋	りんくうメッセージ	2016.11.1
3	ERにおける内分泌代謝疾患	高井研次	りんくうカンファレンス	2017.1.19
4	当院における糖尿病診療の現状と問題点	樫根 晋	りんくうカンファレンス	2017.1.19

《腎臓内科》

(1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Possible prevention of uremic nausea by vitamin D receptor activators in non-dialysis patients with stage 5 chronic kidney disease.	Ikeda M, Ueda Y, Maruyama Y, Yokoyama K, Yokoo T, Joki N, Ando R, Shinoda T, Inaguma D, Yamaka T, Komatsu Y, Koiwa F, Sakaguchi T, Negi S, Shigematsu T	Clin Exp Nephrol.	Epub ahead of print		2016.11.14

(2) 国内学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	妊娠24週に腎生検を施行し診断を得たネフローゼ症候群の一例	矢野卓郎 田村 渉 高山東仁 藤川恵理 荻田和秀 坂口俊文	第46回日本腎臓学会西部学術大会	口演	2016.10.14
2	腎生検を施行した高齢者ネフローゼ症候群の2例	田村 渉 坂口俊文 高山東仁 矢野卓郎	第46回日本腎臓学会西部学術大会	ポスター	2016.10.15

(3) 研究会・講演会

番号整理	演題	発表者	研究会名	年月日
1	手術手技とAVFの一次開存期間	坂口俊文 田村 渉 矢野卓郎 高山東仁	第86回和歌山透析研究会	2016.10.2

《肺腫瘍内科》

(1) 国内学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	術後急速に進行した骨格筋転移を伴った限局性悪性胸膜中皮腫の1例	桂 浩 森山あづさ 今北正美	第57回日本肺がん学会学術集会	ポスター	2016.12.19

《血液内科》

(1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Effectiveness of palonosetron in prevention of CHOP induced nausea and vomiting in patients with malignant lymphoma	Hiroyuki Takamori, Nobuko Nishiura, Hiroaki Masaie, Hitoshi Yoshida, Hironori Take, Jun Ishikawa, Takahiro Karasuno	Cancer Treatment and Research Communications	9	88-91	2016
2	Long-term follow-up of non-syphilitic paroxysmal cold hemoglobinuria in an adult	Hagiwara K, Kamesaki T, Kakimoto T, Fukushima K, Tamaki T.	Ann Hematology	95 (9)	1547-1549	2016

(2) 国内学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Azacitidine により部分寛解を得ることができたmyeloid sarcoma の一例	佐多 弘 福島健太郎 一井倫子 玉置俊治 鳥野隆博	第212回日本内科学会 近畿地方会	口演	2016.6.25
2	CD20陽性,CCR4陽性末梢性T細胞性リンパ腫(PTCL-NOS) に対しモガムリズマブ投与にて寛解を維持している一例	福島 健太郎 佐多 弘 一井 倫子 玉置 俊治 鳥野 隆博	第56回リンパ網内系学会(熊本)	ポスター	2016.9.1-3
3	骨髄線維症経過中にリステリア髄膜炎を併発した一例	佐多 弘 福島健太郎 鳥野隆博	第59回日本感染症学会中日本地方会学術集会	口演	2016.11.24-26
4	非血縁者間骨髄採取・移植施設再認定に係る院内体制の確率	福島健太郎 佐多 弘 鳥野隆博	第39回日本造血細胞移植学会	ポスター	2017.3.3
5	造血幹細胞移植の再開に向けた病棟での取り組み	辻 香奈子 岸本節子 福島健太郎 佐多 弘 鳥野隆博 萩原文子	第39回日本造血細胞移植学会	ポスター	2017.3.3

(3) 研究会・講演会

番号整理	演題	発表者	研究会名	年月日
1	原発性骨髄線維症にリステリア髄膜炎を合併した一例	佐多 弘	北摂血液疾患談話会	2016.5.21

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
2	貧血と全身リンパ節腫脹を呈した83歳女性	佐多 弘	大阪血液疾患談話会	2016.7.16
3	白血球増多を呈し、胸水・呼吸困難にて救急搬送された一例	福島健太郎	大阪血液疾患談話会	2016.7.16
4	当院の造血幹細胞移植の動向～造血幹細胞移植再開から骨髄バンク再認定まで～	烏野隆博	南大阪小児血液がん連携セミナー	2016.7.22
5	Azacitidine により部分寛解を得ることができたmyeloid sarcoma の一例	佐多 弘	MDS フェーラム2016 in 大阪	2016.9.9
6	CD20陽性,CCR4陽性末梢性T細胞性リンパ腫(PTCL-NOS)に対しモガムリズマブ投与にて寛解を維持している一例	福島健太郎	Clinival Hematological conference	2016.9.17

(4) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	「血液疾患の治療と支持療法」	福島健太郎	大阪大学医学部4年 血液・腫瘍内科臨床講義	2016.5.13
2	「血液疾患の新しい治療の潮流」	福島健太郎	大阪大学医学部4年 血液・腫瘍内科臨床講義	2016.5.13
3	「急性期病態学 主要な血液・造血器疾患」	福島健太郎	関西医療大学 講義	2016.6.30
4	大阪府健康医療の推進 がん予防につながる学習活動 ”がんを知る”	烏野隆博	泉佐野市立佐野中学 講演	2016.12.14

(5) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	リンパ腫とはどんな病気？	烏野隆博	市民健康講座	2016.4.16
2	発熱	烏野隆博	クリニカルレベルアップセミナー	2016.6.23
3	がん化学療法に合併するニューモシスチス肺炎	烏野隆博	多職種カンファレンス	2016.8.17
4	呼吸困難・多量の心のう液貯留をみとめた53歳女性	福島健太郎	りんくうカンファレンス	2016.9.15
5	治癒を目指した同種造血幹細胞移植療法	烏野隆博	りんくうカンファレンス	2016.9.15
6	輸血と止血異常について	福島健太郎	クリニカルレベルアップセミナー	2017.3.23

(6) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	特別講演	烏野隆博	Osaka Blood & Bone Marrow Transplantation Seminar	2016.6.24
2	特別講演	烏野隆博	第74回大阪血液疾患談話会	2016.7.16
3	一般演題	烏野隆博	第14回Hematology Club	2016.11.18
4	一般演題	烏野隆博	第39回日本造血細胞移植学会	2017.3.3

研究業績：診療局 神経内科

(1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Magnetic resonance angiography source images of vertebral-artery dissection	Takao Soda, Masato Kawai, Makoto Dehara, Yasushi Hagihara	Internal Medicine	56	123-124	2017

(2) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	MRA元画像によって確認された椎骨動脈解離の画像所見	宗田高穂	第42回日本脳卒中学会学術集会	ポスター	2017.3.17

研究業績：診療局 循環器内科

(1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Clinical profile, management, and mortality in very-elderly patients hospitalized with acute decompensated heart failure: An analysis from the ATTEND registry	Masayuki Mizuno, Katsuya Kajimoto, Naoki Sato, Dai Yumino, Yuichiro Minami, Koji Murai, Ryo Munakata, Kuniya Asai, Takehiko Keida, Yasushi Sakata, Nobuhisa Hagiwara, Teruo Takano, ATTEND Investigators	Eur J Intern Med	27	80-85	2016
2	Rationale and design of the PROSPECTIVE Trial: Probuocol trial for secondary prevention of atherosclerotic events in patients with prior coronary heart disease	Shizuya Yamashita, Daisaku Masuda, Tohru Ohama, Hidenori Arai, Hideaki Bujo, Tatsuo Kagimura, Tohru Kita, Masunori Matsuzaki, Yasushi Saito, Masanori Fukushima, Yuji Matsuzawa, on behalf of the PROSPECTIVE Study Group	J Atheroscler Thromb	23(6)	746-756	2016

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
3	Detrimental effects of high-fat diet loading on vascular endothelial function and therapeutic efficacy of ezetimibe and statins in patients with type 2 diabetes	Akira Kurozumi, Yosuke Okada, Hiroko Mori, Takuya Kobayashi, Daisaku Masuda, <u>Shizuya Yamashita</u> , Yoshiya Tanaka	Endocrine J	63(5)	431-440	2016
4	Recent advances in analytical methods on lipoprotein subclasses: calculation of particle numbers from lipid levels by gel permeation HPLC using "spherical particle model"	Mitsuyo Okazaki, Shizuya Yamashita	J Oleo Sci	65(4)	265-282	2016
5	Effects of K-877, a novel selective PPAR α modulator (SPPARMa), in dyslipidaemic patients: A randomized, double blind, active- and placebo-controlled, and double blind phase 2 trial	Shun Ishibashi, <u>Shizuya Yamashita</u> , Hidenori Arai, Eiichi Araki, Koutaro Yokote, Hideki Suganami, Jean-Charles Fruchart, Tatsuhiko Kodama for the K-877-04 Study Group	Atherosclerosis	249	36-43	2016
6	Molecular mechanisms of hyperalphalipoproteinemia	<u>Shizuya Yamashita</u> , Daisaku Masuda, Tohru Ohama, Masahiro Koseki	The HDL Handbook, in press (Elsevier)			2016
7	Methods for studying the function of progranulin in atherosclerosis using both knockout mice models and in vitro studies	Tohru Ohama, Ryota Kawase, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	Methods in Molecular Biology (Springer)(Editors: Andrew Bateman, Hugh Bennett, Siu Tim Cheung), in press			2016
8	Re-evaluation of cholesteryl ester transfer protein (CETP) function in atherosclerosis based upon genetics and pharmacological manipulation	<u>Shizuya Yamashita</u> , Yuji Matsuzawa	Curr Opin Lipidol	27(5)	459-472	2016
9	Editorial Comments: Very high levels of high-density lipoprotein cholesterol and cardiovascular events in Japanese dwellers	Daisaku Masuda, <u>Shizuya Yamashita</u>	J Atheroscler Thromb	23(7)	771-772	2016
10	Defining severe familial hypercholesterolaemia and the implications for clinical management: a consensus statement from the International Atherosclerosis Society Severe Familial Hypercholesterolemia Panel	Raul D. Santos, Samuel S. Gidding, Marina Cuchel, Robert A. Hegele, Philip Barter, Seth S. Baum, Alberico Catapano, M. John Chapman, Joep Defesche, Emanuela Folco, Thomas Freiburger, Jacques Genest, G. Kees Hoving, Mariko Harada-Shiba, Steve Humphries, Ann S. Jackson, Pedro Mata, Patrick Moriarty, Frederick J. Raal, Khalid Al Rasadi, Kausik K. Ray, Zeliko Reiner, Eric J.G. Sijbrands, Gerald F. Watts, <u>Shizuya Yamashita</u> on behalf of the International Atherosclerosis Society (IAS) Severe Familial Hypercholesterolemia Panel	Lancet Diabetes and Endocrinology	4(10)	850-861	2016

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
11	TTC39B deficiency stabilizes LXR reducing both atherosclerosis and steatohepatitis	Joanne Hsieh, Masahiro Koseki, Matthew M. Molusky, Emi Yakushiji, Marit Westerterp, Sandra Abramowicz, Liana Tascau, Shunichi Takiguchi, Jahangir Iqbal, Ikuyo Ichi, Carrie B. Welch, M. Mahmood Hussain, <u>Shizuya Yamashita</u> , Daniel J. Rader, Alan R. Tall	Nature	535 (7611)	303-307	2016
12	Translational research for improving the care of familial hypercholesterolaemia: the “Ten Countries Study” and beyond	Gerald F Watts, Phillip YA Ding, Peter George, Martin S Hagger, Miao Hu, Jie Lin, Khoo Kah Lin, A David Marais, Takashi Miida, Hapizah M Nawawi, Jing Pang, Jeong Euy Park, Lourdes E Gonzalez-Santos, Ta-Chen Su, Thanh Huong Truong, Raul D Santos, Handrean Soran, <u>Shizuya Yamashita</u> , Brian Tomlinson for the members of the “Ten Countries Study”	J Atheroscler Thromb	23(8)	891-900	2016
13	Efficacy and safety of long-term coadministration of fenofibrate and ezetimibe in patients with combined hyperlipidemia: results of the EFECTL Study	Shinichi Oikawa, <u>Shizuya Yamashita</u> , Noriaki Nakaya, Jun Sasaki, Suminori Kono, for the Effect of Fenofibrate and Ezetimibe Combination Treatment on Lipid (EFECTL) Study Investigators	J Atheroscler Thromb. 2016 Jul 8. [Epub ahead of print]			2016
14	Low-density lipoprotein cholesterol levels and lipid-modifying therapy prescription patterns in the real world: an analysis of more than 33,000 high cardiovascular risk patients in Japan	Tamio Teramoto, Kiyoko Uno, Izuru Miyoshi, Irfan Khan, Katherine Gorcyca, Robert J Sanchez, Shigeto Yoshida, Kazuhiro Mawatari, Tomoya Masaki, Hidenori Arai, <u>Shizuya Yamashita</u>	Atherosclerosis	251	248-254	2016
15	Immunohistochemical localization of fatty acid transporters and MCT1 in the sebaceous glands of mouse skin	Miao Zheng, Shinhye Lee, Satoshi Tsuzuki, Kazuo Inoue, Daisaku Masuda, <u>Shizuya Yamashita</u> , Toshihiko Iwanaga	Biomed Res	37(4)	265-270	2016
16	Acute accumulation of free cholesterol induces the degradation of perilipin 2 and Rab18-dependent fusion of ER and lipid droplets in cultured human hepatocytes	Asami Makino, Françoise Hullin-Matsuda, Motohide Murate, Mitsuhiro Abe, Nario Tomishige, Mitsunori Fukuda, <u>Shizuya Yamashita</u> , Toyoshi Fujimoto, Hubert Vidal, Michel Lagarde, Isabelle Delton, Toshihide Kobayashi	Mol Biol Cell	27(21)	3293 -3304	2016

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
17	Pooling and expanding registries of familial hypercholesterolaemia to assess gaps in care and improve disease management and outcomes: Rationale and design of the global EAS familial hypercholesterolaemia studies collaboration	The EAS Familial Hypercholesterolaemia Studies Collaboration: Antonio J. Vallejo-Vaz, Asif Akram, Sreenivasa Rao Kondapally Seshasai, Della Cole, Gerald F. Watts, G. Kees Hovingh, John J.P. Kastelein, Pedro Mata, Frederick J. Raal, Raul D. Santos, Handrean Soran, Tomas Freiburger, Marianne Abifadel, Carlos A. Aguilar-Salinas, Fahad Alnouri, Rodrigo Alonso, Khalid Al-Rasadi, Maciej Banach, Martin P. Bogsrud, Mafalda Bourbon, Eric Bruckert, Josip Car, Richard Ceska, Pablo Corral, Olivier Descamps, Hans Dieplinger, Can T. Do, Ronen Durst, Marat V. Ezhov, Zlatko Fras, Dan Gaita, Isabel M. Gaspar, Jaques Genest, Mariko Harada-Shiba, Lixin Jiang, Meral Kayikcioglu, Carolyn S.P. Lam, Gustavs Latkovskis, Ulrich Laufs, Evangelos Liberopoulos, Jie Lin, Nan Lin, Vincent Maher, Nelson Majano, A. David Marais, Winfried März, Erkin Mirrahimov, André R. Miserez, Olena Mitchenko, Hapizah Nawawi, Lennart Nilsson, Børge G. Nordestgaard, György Paragh, Zaneta Petrulioniene, Belma Pojskic, Željko Reiner, Amirhossein Sahebkar, Lourdes E. Santos, Heribert Schunkert, Abdullah Shehab, M. Naceur Slimane, Mario Stoll, Ta-Chen Su, Andrey Susekov, Myra Tilney, Brian Tomlinson, Alexandros D. Tselepis, Branislav Vohnout, Elisabeth Widén, <u>Shizuya Yamashita</u> , Alberico L. Catapano, Kausik K. Ray	Atherosclerosis	22 (Suppl.)	1-32	2016
18	In Memoriam Professor Philip Yu-An Ding 1949-2015	Philip Barter, Edward Janus, Yuji Matsuzawa, Ta-Chen Su, Rody Sy, Brian Tomlinson, <u>Shizuya Yamashita</u> , Hung-I Yeh	J Atheroscler Thromb	23	1367	2016
19	Molecular mechanisms of hyperalphalipoproteinemia	<u>Shizuya Yamashita</u> , Daisaku Masuda, Tohru Ohama, Masahiro Koseki	The HDL Handbook (Academic Press)		6-21	2017
20	Methods for studying the function of progranulin in atherosclerosis using both knockout mice models and in vitro studies	Tohru Ohama, Ryota Kawase, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	Methods in Molecular Biology (Editors: Andrew Bateman, Hugh Bennett, Siu Tim Cheung), in press (Springer)			2017

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
21	Efficacy and safety of long-term coadministration of fenofibrate and ezetimibe in patients with combined hyperlipidemia: Results of the EFECTL Study	Shinichi Oikawa, <u>Shizuya Yamashita</u> , Noriaki Nakaya, Jun Sasaki, Suminori Kono for the Effect of Fenofibrate and Ezetimibe Combination Treatment on Lipid (EFECTL) Study Investigators	J Atheroscler Thromb	24(1)	77-94	2017
22	Postprandial hyperlipidemia and remnant lipoproteins	Daisaku Masuda, <u>Shizuya Yamashita</u>	J Atheroscler Thromb	24(2)	95-109	2017
23	Efficacy and safety of K-877, selective peroxisome proliferator-activated receptor α modulator (SPPARM α), in combination with statin treatment: two randomized, double-blind, placebo-controlled clinical trials in patients with dyslipidaemia	Hidenori Arai, <u>Shizuya Yamashita</u> , Koutaro Yokote, Eiichi Araki, Hideki Suganami, Shun Ishibashi, on behalf of the K-877 Study Group	Atherosclerosis, in press			2017
24	One-year efficacy and safety of evolocumab in Japanese patients: a pooled analysis from the open-label extension OSLER studies	Atsushi Hirayama, <u>Shizuya Yamashita</u> , Hyoe Inomata, Helina Kassahun, Marcoli Cyrille, Andrea Ruzza, Masayuki Yoshida, Arihiro Kiyosue, Yuhui Ma, Tamio Teramoto	Circ J, in press			2017
25	Homogeneous assays for LDL-C and HDL-C are reliable in both the postprandial and fasting state	Takashi Miida, Kunihiro Nishimura, Satoshi Hirayama, Yoshihiro Miyamoto, Masakazu Nakamura, Daisaku Masuda, <u>Shizuya Yamashita</u> , Masaji Ushiyama, Toshiaki Komori, Naohisa Fujita, Shinji Yokoyama, Tamio Teramoto	J Atheroscler Thromb, in press			2017

(2) 和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	第22章脂質異常症用薬	山下静也	治療薬Up-To-Date 2016(監修:矢崎義雄、編集:松澤佑次、永井良三、伊藤貞嘉、松原和夫)(メディカルレビュー社)		302-314	2016
2	1. SPECIAL REVIEW Lp(a)アンチセンス	岡田健志 <u>山下静也</u>	Total Vascular Management Issue	1	16-21	2016
3	見えないところで進行する動脈硬化の怖さを知って	山下静也	リビング北摂中央2016年4月23日		13	2016
4	座談会 アテローム血栓症と動脈硬化性疾患—ACS発症リスク因子のパラダイムシフト—	<u>山下静也</u> Peter Libby 横手幸太郎 吉田雅幸 大内乗有 筒井裕之 佐田政隆	Total Vascular Management Issue 1		8-15	2016
5	I 外来のガイドライン診療—診断、管理・治療—内分泌・代謝性疾患 脂質異常症	山下静也	ガイドライン外来診療2016(日経メディカル開発社)		173-181	2016
6	II.脂質異常症の病態に迫る 2.インスリン抵抗性と食後(非空腹時)高脂血症の深い関係	山下静也	そうだったんだ!脂質異常症—メカニズムがわかれば治療が変わる—(編集:伊藤浩)(文光堂)		62-64	2016
7	III.脂質異常症を診断し、重症度を評価する 5.血管機能評価(FMD、CWV、CAVI)をどう解釈する? One Point Advice:脂肪負荷試験とその解釈	山下静也	そうだったんだ!脂質異常症—メカニズムがわかれば治療が変わる—(編集:伊藤浩)(文光堂)		152-154	2016
8	IV.心血管自己の抑制を目指した脂質異常症治療 6.フィブラート Topics: selective PPAR α modulatorはどのような薬?	山下静也	そうだったんだ!脂質異常症—メカニズムがわかれば治療が変わる—(編集:伊藤浩)(文光堂)		204-207	2016

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
9	IV.心血管事故の抑制を目指した脂質異常症治療 11.その他の脂質異常症治療薬-プロブコール、ニコチン酸、陰イオン交換樹脂-	山下静也	そうだったんだ!脂質異常症-メカニズムがわかれば治療が変わる-(編集:伊藤浩)(文光堂)		235-239	2016
10	中性脂肪(TG)と動脈硬化 ~レムナン トリポ蛋白、small dense LDL~	増田大作 山下静也	TarGet (興和株式会社・興和創薬株式会社)		1-3	2016
11	座談会 アテローム血栓症と動脈硬化性疾患-ACS発症リスク因子のパラダイムシフト-	山下静也 Peter Libby 横手幸太郎 吉田雅幸 大内乗有 筒井裕之 佐田政隆	Total Vascular Management Issue 1		8-15	2016
12	糖尿病患者における糖負荷後カイロミクロンの分泌亢進および耐糖能異常患者における空腹時カイロミクロンレムナントの増加の検討	山下静也	厚生労働科学研究費補助金(non-HDL等血中脂質評価指針及び脂質標準化システムの構築と基盤整備に関する研究)2015年度分担研究報告書		57-67	2016
13	The Satellite Symposium of the ISA 2015 in Tokyoを主催して	山下静也	大阪大学第二内科同窓会 News	No.52	21	2016
14	第15回動脈硬化教育フォーラムを主催して	山下静也	大阪大学第二内科同窓会 News	No.52	22	2016
15	シリーズ「21世紀の地域医療~知っておきたい病気のあれこれ」意外と多い家族性高コレステロール血症	山下静也	ニュースせんなん	6月11日号		2016
16	脂質異常症の臨床 セミナー 知っておくべき病態生理と診療の進め方-典型例から学ぶ-総コレステロール・TG高値例	山下静也	Medical Practice	33(4)	563-569	2016
17	第21回日本未病システム学会学術集会 ■シンポジウム6「食品機能と生活習慣病予防」柑橘由来ポリフェノール「糖転移ヘスベリジン」の機能性食品素材としての可能性	山下静也 三鼓仁志	未病システム学会雑誌	22(1)	15-19	2016
18	なるほど、なっとく 高コレステロール血症	山下静也(監修)	患者用パンフレット(作製:アストラゼネカ株式会社、シオノギ製薬)			2016
19	コレステロールの高い方へ 家族性高コレステロール血症(FH)のおはなし	山下静也(監修)	患者用パンフレット(作製:アステラス製薬、Astellas Amgen BioPharma),			2016
20	第2章脂質異常症の病態と治療法【A】原発性高脂血症	山下静也	脂質異常症診療と動脈硬化(編著:寺本民生)(金原出版社), in press			2016
21	EPAとHDL機能	山下静也(監修)	持田製薬株式会社(DVD)			2016
22	EXPERT ROUNDTABLE 座談会 心血管イベントを見据えた糖尿病治療	筒井裕之 横手幸太郎 山下静也 阿古潤哉	Total Vascular Management Issue	2	76-83	2016
23	座談会 HDL機能に着目した脂質異常症治療の新たなストラテジー	荒井秀典 山下静也 平田健一	持田製薬パンフレット		1-7	2016
24	最新・薬物治療の実際 テーマ:脂質異常症における薬物療法	山下静也	クリニックマガジン	No.566 (2016.08)	15-22	2016
25	EXPERT ROUNDTABLE 座談会 PCSK9阻害薬の登場と今後の展望	山下静也 宮内克己 森野禎浩 川尻剛照	Total Vascular Management Issue	3	144-152	2016
26	PADの包括的治療	重松 宏 山下静也 佐田政隆	Total Vascular Management Issue	3	184-190	2016
27	見る脂質のページ <脂質代謝異常>黄色腫とプロブコール	山下静也	The Lipid	27(3)	200-208	2016
28	各種脂質バイオマーカーからみたスタチン治療の残余リスクとその対応策 ② HDL-コレステロール・トリグリセライド	山下静也	薬局	67(9)	2718 -2729	2016
29	テーマ:包括的リスク管理と動脈硬化 2. JASガイドラインの改訂に向けて	山下静也	動脈硬化予防Prevention of Arteriosclerosis	15(3)	12-25	2016
30	座談会 脳心血管疾患の包括管理について	横出正之 寺本民生 山下静也	動脈硬化予防Prevention of Arteriosclerosis;	15(3)	76-91	2016

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
31	特集 家族性高コレステロール血症 (FH)診療のパラダイムシフト -PCSK9のインパクト- FHヘテロの薬物療法 (PCSK9阻害薬は除く)	山下静也	呼吸と循環	64(11)	1079 -1086	2016
32	IV 循環器病予防に関連する各学会の診療ガイドラインと未病ガイドライン 2013シンポ報告 IV-3 脂質異常症「日本動脈硬化学会ガイドラインと未病域」	山下静也	循環器病・介護予防に向けた未病ガイドライン-その根拠となる論文集-(監修:都島基夫、編集:ガイドライン編集委員会、企画:一般社団法人日本未病システム学会)		86-94	2016
33	欧州脂質管理ガイドライン “Treat to Target堅持”は適切	山下静也	Medical Tribune	49(37)	7	2016
34	病態・疫学 LDL-C増加は冠動脈疾患の独立した危険因子	山下静也	Medical ASAHI	45(10)	14-17	2016
35	第48回日本動脈硬化学会総会・学術集会シンポジウム「包括的リスク管理とJASガイドライン」今後のガイドラインの方向性	山下静也	Therapeutic Research	37(10)	955-957	2016
36	脂質異常症の最新薬物治療	山下静也	医学の歩み[第5土曜特集] 循環器薬物療法UPDATE	259 (14)	1307 -1316	2016
37	特集:高コレステロール血症と心血管疾患の新しい展開 腸管からみた高LDLコレステロール血症の制御~MTP阻害剤・アポ蛋白Bアンチセンスオリゴヌクレオチド、エゼチミブ等によるアポB-48含有リポ蛋白の産生抑制を介して~	山下静也	BIO Clinica	31(12)	1354 -1361	2016
38	新理事としての抱負	山下静也	一般社団法人 大阪府病院協会ニュース	No.549 2016年 7月号	22	2016
39	動脈硬化GLの改訂、PCSK9阻害薬を追記へ FH患者の1次予防での使用など	山下静也	日刊薬業Web(2016年7月14日) (http://nk.jiho.jp/servlet/nk/rinsho/article/1226585796757.html)			2016
40	医なび 脂質異常症	山下静也	読売新聞2016年9月7日(水曜日)夕刊		2	2016
41	特定健診について	山下静也	広報いずみさの	2016年 11月号	20	2016
42	大阪府内科医会第19回推薦医部会講演会 特別講演「粥状動脈硬化の退縮を目指した脂質異常症治療の新しい潮流」	山下静也	CLINIC magazine	No.570 (2016年 12月号)	58-59	2016
43	リバースワイヤーテクニック	武田吉弘	Coronary Intervention	12(3)		2016
44	特集企画 これからの高トリグリセライド(TG)血症治療 II. 高TG血症治療の現状と展望 3. 高TG血症治療薬としてのフィブラート系薬	山下静也	The Lipid, in press	No.125 (2017年 1月)		2017
45	からだにいいコトバ事典 ヘスペリジン	山下静也	からだにいいこと	2017年 1月号	143	2017
46	糖転移ヘスペリジン本格普及へ 血管力強化で提案?	山下静也	からだにいいこと, in press			2017
47	I 外来のガイドライン診療-診断、管理・治療-内分泌・代謝性疾患 脂質異常症	山下静也	ガイドライン外来診療2017 (日経メディカル開発社), in press			2017
48	第22章 脂質異常症用薬	山下静也	治療薬Up-To-Date 2017(監修:矢崎義雄、編集:松澤佑次、永井良三、伊藤貞嘉、松原和夫)(メディカルレビュー社), in press			2017

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
49	特集企画 これからの高トリグリセライド(TG)血症治療 II. 高TG血症治療の現状と展望 3. 高TG血症治療薬としてのフィブラート系薬	山下静也	The Lipid	28(1)	59-68	2017
50	油断すれば動脈硬化	山下静也	NHKテキスト きょうの健康 特集:脂質異常症 隠れたリスクを見逃すな!	2017年2月号	33-37	2017
51	家族性高コレステロール血症	山下静也	NHKテキスト きょうの健康 特集:脂質異常症 隠れたリスクを見逃すな!	2017年2月号	38-41	2017
52	食後高脂血症	山下静也	NHKテキスト きょうの健康 特集:脂質異常症 隠れたリスクを見逃すな!	2017年2月号	42-45	2017
53	食事・運動・薬で治療	山下静也	NHKテキスト きょうの健康 特集:脂質異常症 隠れたリスクを見逃すな!	2017年2月号	46-49	2017
54	特集:高コレステロール血症治療の現状と展望 1. 動脈硬化性疾患予防ガイドラインに基づく治療指針	山下静也	医薬ジャーナル	53(3)	823-833	2017
55	第22章脂質異常症用薬	山下静也	治療薬Up-To-Date 2017(監修:矢崎義雄、編集:松澤佑次、永井良三、伊藤貞嘉、松原和夫)(メディカルレビュー社)		306-318	2017
56	5章糖尿病合併循環器病の病態と治療 7.脂質異常症	山下静也	糖尿病と循環器病 一歩進んだ糖尿病循環器病学—Diabetic Cardiology—(監修:檜垣實男、編集:綿田裕孝、大石 充)(医薬ジャーナル社)		175-189	2017
57	小児家族性高コレステロール血症診療ガイド 要約版	斯波真理子 太田孝男 大竹 明 土橋一重 野原 淳 山下静也 横手幸太郎(日本小児科学会・日本動脈硬化学会合同小児家族性高コレステロール血症診療ガイド作成ワーキンググループ)	日本小児科学会雑誌	121(1)	1-8	2017
58	小児家族性高コレステロール血症診療ガイド	斯波真理子 太田孝男 大竹 明 土橋一重 野原 淳 山下静也 横手幸太郎(日本小児科学会・日本動脈硬化学会合同小児家族性高コレステロール血症診療ガイド作成ワーキンググループ)	日本小児科学会 日本動脈硬化学会(編):小児家族性高コレステロール血症診療ガイド2017 日本動脈硬化学会 (http://www.j-athero.org/publications/pdf/FH_G_P.pdf)			2017
59	Panel Discussion Session PCSK9阻害薬の価値を創造する Room 1 今後のFH治療はこう変わる! 基調講演 FHの実情およびPCSK9阻害薬への期待	山下静也	PCSK9 Summit 2016—ATISへの新たな挑戦— 全国講演会記録集		7-9	2017
60	I 外来のガイドライン診療—診断、管理・治療—内分泌・代謝性疾患 脂質異常症	山下静也	ガイドライン外来診療2017(編集主幹:泉 孝英)(日経メディカル開発社)		181-192	2017
61	動脈硬化性疾患予防のための脂質異常症治療ガイド改訂にあたって	山下静也	動脈硬化性疾患予防のための脂質異常症治療ガイド2013年版 改訂版(日本動脈硬化学会), in press			2017

(3) 国際学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Development of cell therapy in severe familial hypercholesterolemia	Masahiro Koseki, Ayami Saga, Takuya Kobayashi, Masumi Asaji, Takeshi Okada, Ryota Kawase, Koichi Tomita, Keigo Osuga, Sachiko Ezoe, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	Arteriosclerosis, Thrombosis and Vascular Biology/Peripheral Vascular Disease (ATVB/PVD) Scientific Sessions 2016	English Poster	2016.5.5-7
2	High-performance gel permeation chromatography analysis characterizes lipoprotein profiles in patients with cholesteryl ester transfer protein deficiency	Takeshi Okada, Tohru Ohama, Mitsuyo Okazaki, Hibiki Matsuda, Masami Sairyu, Yinghong Zhu, Ryota Kawase, Daisaku Masuda, Masahiro Koseki, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	Arteriosclerosis, Thrombosis and Vascular Biology/Peripheral Vascular Disease (ATVB/PVD) Scientific Sessions 2016	English Poster	2016.5.5-7
3	Dpp4 inhibitor, anagliptin, ameliorates fasting and postprandial hypertriglyceridemia	Masami Sairyu, Daisaku Masuda, T Kobayashi, H. Matsuda, T. Okada, R. Kawase, K. Nakatani, M. Koseki, T. Ohama, M. Nishida, Y. Sakata, <u>S. Yamashita</u>	84th European Atherosclerosis Society (EAS) Congress	English e-Poster	2016.5.29-6.1
4	High-performance gel permeation chromatography analysis demonstrates atherogenic properties of lipoproteins in patients with cholesteryl ester transfer protein deficiency	Takeshi Okada, Tohru Ohama, Mitsuyo Okazaki, Hibiki Matsuda, Masami Sairyu, Yinghong Zhu, Ryota Kawase, Daisaku Masuda, Masahiro Koseki, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	84th European Atherosclerosis Society (EAS) Congress	English Poster	2016.5.29-6.1
5	Serum apolipoprotein B48 concentration is high in patients with impaired glucose tolerance and increases after oral glucose ingestion in patients with diabetes mellitus	Daisaku Masuda, Manabu Okubo, Hiroyuki Hanada, Masahiko Matsui, Yoh Hidaka, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	84th European Atherosclerosis Society (EAS) Congress	English Poster	2016.5.29-6.1
6	Current status-phase I trial of cell-transplantation therapy with allogeneic adipose tissue-derived multilineage progenitor cells in severe familial hypercholesterolemia patients undergoing LDL-apheresis	Masahiro Koseki, Ayami Saga, Takeshi Okada, Takuya Kobayashi, Masumi Asaji, Ryota Kawase, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	84th European Atherosclerosis Society (EAS) Congress	English Oral	2016.5.29-6.1
7	Efficacy and safety of long-term coadministration of fenofibrate and ezetimibe in patients with combined hyperlipidemia: Results of the EFECTL Trial	Shinichi Oikawa, <u>Shizuya Yamashita</u> , Noriaki Nakaya, Jun Sasaki, Suminori Kono, G. EFECTL Study	84th EAS CONGRESS	English Poster	2016.5.29-6.1
8	Translational research for improving the care of familial hypercholesterolaemia: The "Ten Countries Study" and beyond	Watts G F, George P, Hagger MS, Hu M, Lin J, Lin KK, Marais AD, Miida T, Nawawi HM, Pang J, Park JE, Gonzalez-Santos LB, Su TC, Truong TH, Santos RD, Soran H, <u>Yamashita S</u> , Tomlinson B	84th EAS CONGRESS	English Poster	2016.5.29-6.1
9	SPPARM α to address elevated TG/low HDL-C as residual risks	Shizuya Yamashita	The Symposium of International Atherosclerosis Society "Anitschkow Days" Industry Sponsored Symposium	English Oral	2016.6.2-4
10	Increased serum apolipoprotein B48 concentration in patients with impaired glucose tolerance	Daisaku Masuda, Manabu Okubo, Hiroyuki Hanada, Masahiko Matsui, Yoh Hidaka, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	76th American Diabetes Association	English Poster	2016.6.10-14

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
11	DPP-4 inhibitor, anagliptin, ameliorates fasting and postprandial hypertriglyceridemia	Masami Sairyō, Daisaku Masuda, Takuya Kobayashi, Hibiki Matsuda, Takeishi Okada, Ryota Kawase, Kazuhiro Nakatani, Masahiro Koseki, Tohru Ohama, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	76th American Diabetes Association	English Oral	2016.6.10 -14
12	Proteomic analysis and comparison of selectively-isolated apolipoprotein B48- and B100-containing lipoproteins in human serum	Takuya Kobayashi, Daisaku Masuda, Masami Sairyō, Takeshi Okada, Ryota Kawase, Kazuhiro Nakatani, Masahiro Koseki, Tohru Ohama, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	76th American Diabetes Association	English Poster	2016.6.10 -14
13	Effect of K877, a potent and selective PPAR alpha modulator (SPPARM alpha), on postprandial hyperlipidemia in dyslipidemic patients: a randomized crossover study	<u>Shizuya Yamashita</u> , Shun Ishibashi, Hidenori Arai, Eiichi Araki, Koutaro Yokote, Hideki Suganami, Tatsuhiko Kodama	European Society of Cardiology (ESC) Congress 2016	Moderated English Poster	2016.8.27 -31
14	Mechanisms of late lumen enlargement in coronary arteries after drugcoated balloon angioplasty serial volumetric intravascular ultrasound analysis	Yoshihiro Takeda, Tsutomu Kawai, Taku Kasahara, Shun Morishita, Keita Fujiwara, Yuichi Ozaki, Ryosuke Muraki, Tomonori Doue, Yoshiyuki Nagai, <u>Shizuya Yamashita</u>	European Society of Cardiology (ESC) Congress 2016	English Poster	2016.8.27 -31
15	Mechanisms of late lumen enlargement in coronary arteries after drug-coated balloon angioplasty - serial volumetric intravascular ultrasound analysis.	Y. Takeda, T. Kawai, T. Kasahara, S. Morishita, K. Fujiwara, Y. Ozaki, R. Muraki, T. Doue, Y. Nagai, S. Yamashita	ESC Congress 2016	Poster	2016.8.29
16	Recent progress in the diagnosis and treatment of familial hypercholesterolemia in Japan	Shizuya Yamashita	The 5th International Congress on Lipid Metabolism and Atherosclerosis (ICLA2016)	English Oral	2016.9.9 -10
17	A novel selective PPAR α modulator (SPPARM α), K-877, improves hepatic insulin sensitivity in dyslipidemia patients evaluated by the hyperinsulinemic-euglycemic clamp	Ikuro Matsuba, Ren Matsuba, Shun Ishibashi, <u>Shizuya Yamashita</u> , Hidenori Arai, Koutaro Yokote, Hideki Suganami, Eiichi Araki	52nd Annual Meeting of the European Association for the Study of Diabetes (EASD)	English Poster	2016.9.12 -16
18	Effects of K-877, a novel selective PPAR α modulator (SPPARM α), on lipid and glucose metabolism in fasting and postprandial states in type 2 diabetic patients with dyslipidemia	Eiichi Araki, <u>Shizuya Yamashita</u> , Hidenori Arai, Koutaro Yokote, Jo Satoh, Toyoshi Inoguchi, Jiro Nakamura, Hiroshi Maegawa, Naruhito Yoshioka, Yukio Tanizawa, Hirotaka Watada, Hideki Suganami, Shun Ishibashi	52nd Annual Meeting of the European Association for the Study of Diabetes (EASD)	English Poster	2016.9.12 -16
19	A DPP-4 inhibitor, anagliptin, attenuates both fasting and postprandial hypertriglyceridemia	Masami Sairyō, Daisaku Masuda, Takuya Kobayashi, Kotaro Kanno, Hibiki Matsuda, Takeshi Okada, Tohru Ohama, Masahiro Koseki, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	The American Heart Association (AHA) Scientific Sessions 2016 (AHA2016)	English Poster	2016.11.12 -16
20	Proteomic analysis of atherogenic chylomicron remnants isolated selectively from human serum	Daisaku Masuda, Takuya Kobayashi, Masami Sairyō, Takeshi Okada, Masahiro Koseki, Tohru Ohama, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	The American Heart Association (AHA) Scientific Sessions 2016 (AHA2016)	English Poster	2016.11.12 -16

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
21	Shotgun proteomics analysis of HDL in patients with cholesteryl ester transfer protein deficiency	Takeshi Okada, Tohru Ohama, Kotaro Kanno, Hibiki Matsuda, Masami Sairyu, Yinghong Zhu, Ayami Saga, Takuya Kobayashi, Daisaku Masuda, Masahiro Koseki, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	The American Heart Association (AHA) Scientific Sessions 2016 (AHA2016)	English Poster	2016.11.12 -16
22	Establishment of enzyme-linked immunosorbent assay for oxidized high density lipoprotein and its clinical application for cardiovascular risk assessment	Takeshi Okada, Tohru Ohama, Mizuki Sumida, Yuki Katayama, Kotaro Kanno, Hibiki Matsuda, Masami Sairyu, Yinghong Zhu, Ayami Saga, Takuya Kobayashi, Daisaku Masuda, Masahiro Koseki, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	The American Heart Association (AHA) Scientific Sessions 2016 (AHA2016)	English Poster	2016.11.12 -16
23	Experience from the first-in-human case--A phase I clinical trial evaluating the safety of allogeneic adipose tissue-derived multilineage progenitor cells-transplantation therapy in severe familial hypercholesterolemia patients	Masahiro Koseki, Ayami Saga, Takeshi Okada, Koutaro Kanno, Kouichi Tomita, Keigo Osuga, Sachiko Ezoe, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	The American Heart Association (AHA) Scientific Sessions 2016 (AHA2016)	English Poster	2016.11.12 -16
24	Ttc39b deficiency attenuates atherosclerosis and hepatic steatosis through LXRA dependent manner	Masahiro Koseki, Joanne Heish, Mattew M Molusky, Emi Yakushiji, Marit Westerterp, Ikuyo Ichi, Sandra Abramowicz, Liana Tascau, Carrie B Welch, Shunichi Takiguchi, Jahangir Iqbal, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	The American Heart Association (AHA) Scientific Sessions 2016 (AHA2016)	English Oral	2016.11.12 -16
25	Closing Remark	Shizuya Yamashita	The 9th Otsuka Asian Atherosclerosis Conference	English Oral	2016.12.4

(4) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	重症家族性高コレステロール血症に対する新しい細胞移植治療法の開発と臨床応用	小関正博 嵯峨礼美 岡田健志 川瀬良太 小林卓哉 朝治真澄 江副幸子 西田 誠 坂田泰史 <u>山下静也</u>	第113回日本内科学会総会・講演会	Poster	2016.4.15-17
2	脳心血管イベント抑制を目指した脂質異常症治療	山下静也	STROKE2016 ランチョンセミナー-27	口演	2016.4.16
3	選択的PPAR α モジュレーター (SPPARM α)・K-877による脂質異常症合併2型糖尿病患者の糖脂質代謝への影響(国内二重盲検)	荒木栄一 <u>山下静也</u> 荒井秀典 横手幸太郎 佐藤 譲 井口登興志 中村二郎 前川 聡 吉岡成人 谷澤幸生 綿田裕孝 菅波秀規 石橋 俊	第59回日本糖尿病学会年次学術集会	口演	2016.5.19-21
4	Efficacy and safety of one year of evolocumab in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus	<u>Shizuya Yamashita</u> , Atsushi Hirayama, Masayuki Yoshida, Arihiro Kiyosue, Hyoe Inomata, Christopher Kurtz, Chen Lu, Narimon Hanarpour, Ransi Somaratne, Scott M. Wasserman, Tamio Teramoto	第59回日本糖尿病学会年次学術集会	口演	2016.5.19-21

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
5	グルコースクランプ法による選択的PPAR α モジュレーター(SPPARM α)・K-877のインスリン感受性への効果の検討(50/60)	松葉育郎 松葉 伶 石橋 俊 山下静也 荒井秀典 横手幸太郎 菅波秀規 荒木栄一	第59回日本糖尿病学会年次学術集会	口演	2016.5.19-21
6	シンポジウム20「徹底討論!コレステロール」The lower, the berrerは正しいのか?	山下静也	第16回日本抗加齢医学会総会	口演	2016.6.10-12
7	Fireside Session:Proctorship Live (Commentator)	Yoshihiro Takeda	The 17th Seminar of Angioplasty of Chronic Total Occlusions	口演	2016.6.17
8	"Review of the today's cases and strategies for the tomorrow's" (Discussers)	Yoshihiro Takeda	The 17th Seminar of Angioplasty of Chronic Total Occlusions	口演	2016.6.17
9	戦略的PCI ~こういふときはこうした方が良い~ CVIT 編 CTO	武田吉弘	第25回日本心血管インターベンション治療学会	口演	2016.7.7
10	CTO ワイヤにおけるDeflection を評価するための新指標	武田吉弘	第25回日本心血管インターベンション治療学会	口演	2016.7.9
11	虚血性心筋症新規モデルマウスにおけるプロブコール投与による生存率改善効果とその機序の検討—心臓へのマクロファージ浸潤抑制	西田 誠 中岡 創 劉 静一 朱 穎広 西良雅己 岡田健志 増田大作 大濱 透 小関正博 長野千富美 小橋真之 野迫正則 吉川智博 坂田泰史 山下静也	第48回日本動脈硬化学会総会・学術集会	Poster	2016.7.14-15
12	High-Performance Gel Permeation Chromatography Analysis Demonstrates Atherogenic Properties of Lipoproteins in Patients with Cholesteryl Ester Transfer Protein Deficiency	Takeshi Okada, Tohru Ohama, Mitsuyo Okazaki, Hibiki Matsuda, Masami Sairyo, Yinghong Zhu, Takuya Kobayashi, Ryota Kawase, Daisaku Masuda, Masahiro Koseki, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, Shizuya Yamashita	第48回日本動脈硬化学会総会・学術集会	Poster	2016.7.14-15
13	A Novel Gene Identified In Genome wide Association Studies,Which Has the Anti-Steatohepatitis Effect	Masahiro Koseki, Joanne Hsieh, Ikuyo Ichi, Daniel Rader, Alan Tall, Yasushi Sakata, Shizuya Yamashita	第48回日本動脈硬化学会総会・学術集会	Oral	2016.7.14-15
14	Development of Cell-transplantstion Therapy in Severe Familial Hypercholesterolemia	Masahiro Koseki, Ayami Saga, Takeshi Okada, Ryota Kawase, Koichi Tomita, Keigo Osuga, Sachiko Ezoe, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, Shizuya Yamashita	第48回日本動脈硬化学会総会・学術集会	Oral	2016.7.14-15

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
15	A Novel Selective PPAR α ; Modulator (SPPARM α) K-877 Attenuates Postprandial Hypertriglyceridemia in Mice	Takuya Kobayashi, Daisaku Masuda, Masami Sairyo, Takeshi Okada, Ryota Kawase, Toru Ohama, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	第48回日本動脈硬化学会総会・学術集会	Poster	2016.7.14-15
16	DPP4阻害薬シタグリプチンによる糖尿病患者における動脈硬化惹起的なレムナント蓄積の改善	増田大作 小林卓哉 西良雅己 松田 響 岡田健志 大濱 透 小関正博 西田 誠 坂田泰史 <u>山下静也</u>	第48回日本動脈硬化学会総会・学術集会	Poster	2016.7.14-15
17	A DPP4 inhibitor, anagliptin, ameliorates both fasting and postprandial hypertriglyceridemia	Masami Sairyo, Daisaku Masuda, Takuya Kobayashi, Hibiki Matsuda, Takeshi Okada, Ryota Kawase, Kazuhiro Nakatani, Tooru Ohama, Masahiro Koseki, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	第48回日本動脈硬化学会総会・学術集会	Poster	2016.7.14-15
18	包括的リスク管理チャートとJASガイドライン 今後のガイドラインの方向性	山下静也	第48回日本動脈硬化学会総会・学術集会	Oral	2016.7.14-15
19	冠動脈疾患の既往を有する脂質異常症患者の脂質管理及び薬物療法の現状:日本の大規模診療データベースの後ろ向き解析	荒井秀典 宇野希世 Irfan Khan, Katherine Gorcyca, Robert J. Sanchez, 吉田重人 馬渡和宏 <u>山下静也</u> 寺本民生	第48回日本動脈硬化学会総会・学術集会	Oral	2016.7.14-15
20	複合型高脂血症におけるフェノフィブラート・エゼチミブ長期併用療法の有効性と安全性 —EFFECTL 研究—	及川眞一 <u>山下静也</u> 中谷 矩 佐々木 淳 古野純典 EFFECTL 研究グループ	第48回日本動脈硬化学会総会・学術集会	Oral	2016.7.14-15
21	Sponsored Symposium 1 Familial Hypercholesterolemia (FH) - High Risk: Current and future therapies for familial hypercholesterolemia	Shizuya Yamashita	10th Congress of the Asian-Pacific Society of Atherosclerosis and Vascular Diseases (10th APSAVD Congress)	Oral	2016.7.14-15
22	YIA Ceremony and Closing Remarks	Shizuya Yamashita	10th Congress of the Asian-Pacific Society of Atherosclerosis and Vascular Diseases (10th APSAVD Congress)	Chairperson and Oral	2016.7.14-15
23	高度石灰化病変においてUltimaster stent留置時に経験した、短縮・変形症例	村木良輔 武田吉弘 笠原 卓 森下 瞬 河合 努 中谷佳裕 永井義幸 山下静也	第121回日本循環器学会近畿地方会	口演	2016.7.16
24	コレステロール塞栓症に対するLDLアフェレーシスの効果を、SPP で経時的に確認できた1例	河合 努 武田吉弘 笠原 卓 森下 瞬 中谷佳裕 村木良輔 永井義幸 山下静也	第121回日本循環器学会近畿地方会	口演	2016.7.16
25	動脈硬化性疾患予防ガイドライン2012年版と今後の改訂の方向性	山下静也	第64回日本心臓病学会学術集会	Oral	2016.9.23-25
26	日本動脈硬化学会理事長挨拶	山下静也	第64回日本心臓病学会学術集会・日本動脈硬化学会EAS-FH Day市民公開講座	Oral	2016.9.25

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
27	パネルディスカッション 働き盛りを襲う怖～い病気を早期発見！早期治療！	山下静也 丸山千寿子 斯波真理子	第64回日本心臓病学会学術集会・日本動脈硬化学会EAS-FH Day市民公開講座	パネリスト	2016.9.25
28	FH(家族性高コレステロール血症)について	山下静也	EAS-FH Day プレスセミナー	Oral	2016.9.25
29	食後高脂血症条件下におけるレムナントリボ蛋白のProteomics解析	小林卓哉 西良雅己 増田大作 小関正博 大濱 透 坂田泰史 山下静也	第38回日本臨床栄養学会総会・第37回日本臨床栄養協会総会	Oral	2016.10.7-9
30	DPP4 阻害薬アナグリプチンによる空腹時及び食後高脂血症の改善効果について	西良雅己 増田大作 小林卓哉 冠野昂太郎 松田 響 岡田健志 大濱 透 小関正博 西田 誠 坂田泰史 山下静也	第38回日本臨床栄養学会総会・第37回日本臨床栄養協会総会	Oral	2016.10.7-9
31	糖尿病における心血管イベントの制圧を目指した脂質異常症の治療	山下静也	第31回日本糖尿病合併症学会・第22回糖尿病眼科学会総会	Oral	2016.10.7-8
32	糖尿病に合併する脂質異常症とその対策	山下静也	第31回日本糖尿病合併症学会・第22回糖尿病眼科学会総会	Oral	2016.10.7-8
33	CTO-PCIに関連し、術後2ヶ月でPost Cardiac Injury Syndrome(PCIS)を呈した1例	笠原 卓 武田吉弘 森下 瞬 河合 努 中谷佳裕 村木良輔 永井義幸 山下静也	第27回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会	口演	2016.10.8
34	一般口演:PCI 1(コメンテーター)	武田吉弘	第27回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会	口演	2016.10.8
35	Scientific Program,DCA data review:back to the future	Yoshihiro Takeda	Complex Cardiovascular Therapeutics 2016	口演	2016.10.20
36	PCI Live Case Transmission,Themed Live case Transmission(Operator)	Yoshihiro Takeda	Complex Cardiovascular Therapeutics 2016	口演	2016.10.21
37	Live case pre-discussion session (Discussers)	Yoshihiro Takeda	Complex Cardiovascular Therapeutics 2016	口演	2016.10.22
38	ETOSS demonstration with Gaia Next (Lectures)	Yoshihiro Takeda	Complex Cardiovascular Therapeutics 2016	口演	2016.10.22
39	最も高頻度な遺伝性疾患 家族性高コレステロール血症の病態と治療～早期発見・早期治療の重要性～	山下静也	第75回日本公衆衛生学会総会	Oral	2016.10.28
40	今後のFH治療はこう変わる！	山下静也	PCSK9 Summit-ATISへの新たな挑戦-	座長・演者	2016.11.5
41	急性心筋梗塞にて心房枝虚血解除後も遷延し、デバイスを要した洞不全症候群の1例	村木良輔 武田吉弘 笠原 卓 森下 瞬 河合 努 中谷佳裕 永井義幸 山下静也	第122回日本循環器学会近畿地方会	口演	2016.11.26
42	膝下動脈 ライブデモンストレーション(コメンテーター)	武田吉弘	COMPLEX PERIPHERAL ANGIOPLASTY CONFERENCE 2016	口演	2016.11.26
43	高レムナント血症の診断と治療の最前線	山下静也	第51回日本成人病(生活習慣病)学会学術集会 ランチョンセミナー I	演者	2017.1.14
44	シンポジウム3: 健診で診る家族性高コレステロール血症:早期診断・早期治療の重要性 日本動脈硬化学会からのメッセージ	山下静也	日本総合健診医学会第45回大会 「加齢性リスクに挑む総合健診-専門診療領域との架け橋を求めて-」	基調講演	2017.1.27
45	ランチョンセミナー2 高レムナント血症の診断と治療の最前線	山下静也	第14回日本病院総合診療医学会学術総会	演者	2017.3.3

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
46	一般口演3:CTO-2(コメンテーター)	武田吉弘	第28回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会	口演	2017.3.11
47	DCAによる外弾性板のDeep Cutに伴う血腫から内腔狭小化を呈した1例	村木良輔 武田吉弘 笠原 卓 森下 瞬 河合 努 中谷佳裕 永井義幸 山下静也	第28回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会	口演	2017.3.11
48	Development of an enzyme-linked immunosorbent assay for oxidized high density lipoprotein and its clinical application for cardiovascular risk assessment	Takeshi Okada, Tohru Ohama, Mizuki Sumida, Yuki Katayama, Kotaro Kanno, Hibiki Matsuda, Masami Sairyō, Yinghong Zhu, Ayami Saga, Takuya Kobayashi, Daisaku Masuda, Masahiro Koseki, Makoto Nishida, Norihiro Kayahara, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	第81回日本循環器学会学術集会	English Poster	2017.3.17
49	Vessel Response in Diabetic Patients Treated with Drug Coated Balloon Angioplasty: Serial Volumetric Intravascular Ultrasound Analysis	武田吉弘	The 81th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society	口演	2017.3.17
50	Shotgun proteomic analysis of HDL in patients with plasma cholesteryl ester transfer protein deficiency	Takeshi Okada, Tohru Ohama, Kotaro Kanno, Hibiki Matsuda, Masami Sairyō, Yinghong Zhu, Ayami Saga, Takuya Kobayashi, Daisaku Masuda, Masahiro Koseki, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	第81回日本循環器学会学術集会	English Poster	2017.3.18
51	シンポジウム 16 冠動脈疾患の残余リスクから新たな介入ポイントを考察するSY16-5 Evaluation, analysis and treatment of the residual risk of atherosclerotic cardiovascular diseases, the accumulation of chylomicron remnants	Daisaku Masuda, Kohtarō Kanno, Takuya Kobayashi, Masami Sairyō, Masahiro Koseki, Tohru Ohama, Makoto Nishida, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u>	第81回日本循環器学会学術集会	Oral	2017.3.19
52	The role of TTC39B in atherosclerosis and non-alcoholic steatohepatitis	Masahiro Koseki, Joanne Hsieh, Yasushi Sakata, <u>Shizuya Yamashita</u> , Alan Tall	第81回日本循環器学会学術集会	English Oral	2017.3.19

(5) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	Disease awareness of lipid management for Category III	山下静也	"Disease Awareness for Category III Advisory Board Meeting" sponsored by Sanofi	2016.4.3
2	第一部 基調講演2 日本人の心血管ハイリスク患者の現状とレパサーの国内臨床試験成績	山下静也	レパサー全国講演会 Hyperlipidemia Symposium 2016	2016.4.9

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日	
3	Lecture 2 最新の虚血性疾患における診断方法、治療戦略などについて	山下静也	Sanofi Web Conference “PCI施行患者のトータルマネージメントを考える”	2016.4.20	
4	インターベンショナリストのための心臓研究会@KCJL ～CTOだらけの19th CCTI～症例検討	武田吉弘	近畿心血管ジョイントライブ KCJL2016	2016.4.21	
5	メタボリックシンドローム③ メタボと生活習慣病②	山下静也	MBS毎日放送 医のココロ	2016.4.23	
6	エキスパートから学ぶComplex PCI ④ Multui-Vessel	武田吉弘	近畿心血管ジョイントライブ KCJL2016	2016.4.23	
7	特別講演 家族性高コレステロール血症の診断と治療の最前線	山下静也	Inba Hyperlipidemia Expert Meeting	2016.4.27	
8	総合討議	山下静也	Inba Hyperlipidemia Expert Meeting	2016.4.27	
9	元気で長生きするためのこれからの健康づくり	山下静也	泉佐野市 健康都市宣言記念式典・記念講演会	2016.5.11	
10	動脈硬化で命を落とさないためには？～怖い脂質異常症とメタボリックシンドローム～	山下静也	ベネッセ市民公開講座	2016.5.15	
11	特別講演 脂質異常症治療の新たな展開	山下静也	Hyperlipidemia Forum ～PCSK9阻害薬への期待～	2016.5.18	
12	特別講演 脂質異常症治療の新たな展開	山下静也	脂質異常症治療を考える会	2016.5.21	
13	DCAの使用に必要なIVUS A to Z ～安全、且つ有効な使用を目指して～	武田吉弘	第5回豊橋ライブデモンストレーションコース	2016.5.27	
14	DCAコース ライブデモンストレーション2 DCA過去と現在～国内の成績を見直す～	武田吉弘	第5回豊橋ライブデモンストレーションコース	2016.5.27	
15	特別講演 家族性高コレステロール血症の診断と治療の最前線	山下静也	Hyperlipidemiaカンファレンス in 島根	2016.6.4	
16	特別講演 脂質異常症治療の新たな展開	山下静也	PCSK9 Forum in Saitama	2016.6.21	
17	講演1 家族性高コレステロール血症の診断と治療の最前線	山下静也	Hyperlipidemia Symposium in Wakayama 2016	2016.6.23	
18	モーニングセッション IVUSコメンテータ	武田吉弘	DCA Club Workshop 東北Complex PCI Conference	2016.6.24	
19	特別講演 脂質異常症治療の新たな展開	山下静也	Dyslipidemia Symposium in Kumamoto	2016.6.30	
20	脂質異常症治療における ω 3系不飽和脂肪酸～心血管イベント抑制を目指して～	山下静也	2016年7月泉佐野泉南医師会学術講演会	2016.7.9	
21	講演2 家族性高コレステロール血症の診断と治療の最前線	山下静也	北多摩脂質異常症カンファレンス～心血管イベントの抑制を目指した新たな治療戦略～	2016.7.12	
22	講演2 家族性高コレステロール血症の診断と治療の最前線	山下静也	脂質異常症学術講演会～脂質異常症患者さんの治療におけるアンメットニーズとは？	2016.7.23	
23	講演② 脂質異常症治療の新たな展開	山下静也	Diabetes & Hyperlipidemia Forum	2016.7.30	
24	特別講演 家族性高コレステロール血症の診断と治療の最前線	山下静也	FHの診断と治療を考える会～PCSK9mAbをどう臨床に活かすか～	2016.8.5	
25	ディスカッション 脂質治療におけるアンメットメデイカルニーズについて	山下静也	FHの診断と治療を考える会～PCSK9mAbをどう臨床に活かすか～	2016.8.5	
26	Operator	武田吉弘	PCI Live Demonstration in HIMEJI	2016.8.5	
27	左室収縮能が保たれた心不全における、脈圧と予後との関連	武田吉弘	2016年度大阪循環器部会 症例・プロジェクト検討会	2016.8.20	
28	Demonstration III Operator	武田吉弘	Bay area Complex PCI & Imaging Conference 2016	2016.8.20	
29	特別講演 糖尿病に合併する脂質異常症の病態と治療戦略	山下静也	弘前動脈硬化セミナー	2016.8.24	
30	特別講演 家族性高コレステロール血症の診断と治療の最前線	山下静也	泉州 Hyperlipidemia Meeting	2016.9.8	
31	特別講演 高TG血症の病態・診断・治療の最前線	山下静也	東葛循環器カンファレンス	2016.9.16	
32	帝王切開後に卵巣静脈血栓症から肺塞栓を来し、経過中に腹壁内出血を合併した1症例	谷口 翠 武田吉弘 河合 努 村木良輔 山下静也	森下 瞬 笠原 卓 中谷佳裕 永井義幸	第22回中之島循環器・代謝フォーラム	2016.9.17

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
33	講演 動脈硬化惹起性食後高脂血症の病態と治療	山下静也	小樽市医師会学術講演会	2016.9.29
34	講演 I 家族性高コレステロール血症の診断と治療の最前線	山下静也	TOTAL VASCULAR MANAGEMENT FORUM	2016.9.30
35	Special Lecture 動脈硬化退縮を目指した脂質異常症治療の最前線	山下静也	7th Society of Cardiovascular Disease in Kanagawa	2016.10.6
36	特別講演 粥状動脈硬化の退縮を目指した脂質異常症治療の新しい潮流	山下静也	一般社団法人大阪府内科医会第19回推薦医部会講演会	2016.10.15
37	Opening Remarks 及び Discussion Chairs	山下静也	Hyperlipidemia Academy West Conference	2016.10.22
38	Route estimation by cardiac CT	Yoshihiro Takeda	International Cardiac CT conference for Complex Intervention	2016.10.22
39	Part1 Chair Lecture 1 Strategies to develop new drugs based on genomic studies 講演:鎌谷直之(東京女子医科大学膠原病リウマチ痛風センター)、Lecture 2 Discovery of potent new therapeutic monoclonal antibodies using Xenomouse 講演:Chadwick King (Amgen Inc, Therapeutic Discovery)	山下静也	Hyperlipidemia Academy National Conference	2016.10.23
40	Lecture II 善玉HDLと悪玉HDL～何が問題か?～	山下静也	第29回高血圧・循環器疾患カンファレンス	2016.10.26
41	Lecture 1 糖尿病に合併する脂質異常症の病態と治療戦略	山下静也	Osaka Metabolism Seminar～脂質代謝・糖代謝を考える会～	2016.10.28
42	特別講演 脂質異常症治療の新たな展開	山下静也	第35回りんくう循環器ネットワーク研究会	2016.10.29
43	パネルディスカッション PCSK9阻害薬の価値を創造する Room1:今後のFH治療はこう変わる! 座長&演者	山下静也	PCSK9 Summit 2016 - ATISへの新たな挑戦 -	2016.11.5
44	特別講演 冠動脈疾患を見据えた高TG血症の病態と治療	山下静也	第3回実地医家のための生活習慣病フォーラム	2016.11.8
45	特別講演 HDLをターゲットとした薬物療法の光と影	山下静也	第57回函館臨床動脈硬化診断フォーラム	2016.11.10
46	特別講演 糖尿病における脂質異常症管理の重要性と治療方針	山下静也	第8回泉佐野・泉南糖尿病メディカルスタッフセミナー	2016.11.19
47	特別講演 冠動脈疾患を見据えた高TG血症の病態と治療	山下静也	第15回苫小牧循環器セミナー	2016.11.22
48	講演II 糖尿病に合併する脂質異常症の成因、病態と治療	山下静也	第28回糖尿病・腎・血管に関する研究会	2016.11.30
49	特別教育講演 冠動脈疾患を見据えた高TG血症の病態と治療	山下静也	第11回南大阪心血管病治療フォーラム	2017.1.14
50	FAME研究の現況	山下静也	原発性高脂血症調査研究班2016年度第2回研究班会議	2017.1.15
51	Special Lecture 冠動脈疾患を見据えた高TG血症の病態と治療	山下静也	糖尿病・循環器 Joint Festa in 愛知	2017.1.26
52	シンポジウム3: 健診で診る家族性高コレステロール血症:早期診断・早期治療の重要性 司会	山下静也	日本総合健診医学会第45回大会 「加齢性リスクに挑む総合健診-専門診療領域との架け橋を求めて-」	2017.1.27
53	動脈硬化のリスクと闘う!～脂質異常症のタイプ別対処法とは～	山下静也	熊取町2016年度 健康講座	2017.1.30
54	特別講演 冠動脈疾患を見据えた高TG血症の病態と治療	山下静也	第4回鹿児島DCD Joint Meeting	2017.2.2
55	特別講演 冠動脈疾患を見据えた高TG血症の病態と治療	山下静也	第15回肥満症カンファレンス	2017.2.3
56	①断すれば動脈硬化	山下静也	NHK きょうの健康 「コレステロールと中性脂肪 隠れたリスクを見逃すな!」	2017.2.6
57	②家族性高コレステロール血症	山下静也	NHK きょうの健康 「コレステロールと中性脂肪 隠れたリスクを見逃すな!」	2017.2.7
58	③食後高脂血症	山下静也	NHK きょうの健康 「コレステロールと中性脂肪 隠れたリスクを見逃すな!」	2017.2.8
59	④食事・運動・薬で治療	山下静也	NHK きょうの健康 「コレステロールと中性脂肪 隠れたリスクを見逃すな!」	2017.2.9

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
60	LDL-Cをターゲットとする治療戦略の現状と展望～JASガイドライン改訂を機に再考する～	山下静也	TV Symposium Maestro's recipe for Total Vascular Control (Web配信TVシンポジウム)	2017.2.9
61	講演2 高TG血症の成因・診断・治療の最前線	山下静也	第59回東京脂質代謝研究会	2017.2.24
62	特別講演 粥状動脈硬化の退縮を目指したコレステロール低下療法の最前線	山下静也	第26回南大阪臨床栄養研究会	2017.3.11
63	特別講演 HDLをターゲットとした薬物療法の光と影	山下静也	第8回阪南成人病フォーラム	2017.3.25
64	38歳 川崎病の関与が疑われたRCA-CTO&LAD-CTOの一例	武田吉弘	第21回Complex PCI Circle 勉強会	2017.3.25
65	急性心筋梗塞と冠攣縮性狭心症を合併したNoonan症候群の一例	河合 努	41st Meeting of Gruentzig Club 症例検討会(第41回大阪冠インターベンション研究会)	2017.3.30

(6) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	非動脈硬化性急性冠症候群の自験例	笠原 卓	りんくうカンファレンス	2016.5.19
2	循環器病診療連携における最新の話	武田吉弘	りんくうカンファレンス	2016.5.19
3	動脈硬化で命を落とさないためには？～怖い脂質異常症とメタボリックシンドローム～	山下静也	市民健康講座	2016.6.18
4	急性冠症候群について	笠原 卓	第199回臨床集談会	2017.1.26

(7) 座長、司会等

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	PCSK9阻害薬の登場と今後の展望 司会	山下静也	Total Vascular Management Issue 3 座談会	2016.4.3
2	第一部 基調講演2 日本人の心血管ハイリスク患者の現状とレパリーサの国内臨床試験成績 座長	山下静也	レパリーサ全国講演会 Hyperlipidemia Symposium 2016	2016.4.10
3	特別講演1 大阪大学大学院医学系研究科医療情報学 松村泰志教授「ICTによる多施設の診療情報の共有とデータ収集」座長	山下静也	第8回泉州地域医療フォーラム	2016.5.28
4	EVT (SFA) 座長	武田吉弘	第25回日本心血管インターベンション治療学会	2016.7.9
5	脂質異常症治療の最近の動向 講演: 寺本民生(帝京大学臨床研究センター センター長、寺本内科・歯科クリニック 院長) 座長	山下静也	第48回日本動脈硬化学会総会・学術集会	2016.7.14-15
6	シンポジウム4 HDLの機能評価とHDLを標的とした薬剤開発の将来展望 座長	山下静也	第48回日本動脈硬化学会総会・学術集会	2016.7.14-15
7	第11回五島雄一賞受賞講演 演者: 山下智也(神戸大学医学部附属病院循環器内科) 座長	山下静也	第48回日本動脈硬化学会総会・学術集会	2016.7.14-15
8	原発性高脂血症に関する調査研究班報告 原発性高脂血症最新情報ー指定難病とレジストリー調査PROLIPID登録のお願いー 座長	山下静也 石橋 俊	第48回日本動脈硬化学会総会・学術集会	2016.7.14-15
9	Plenary Lecture 2 Looking back over fifty years of clinico-epidemiological studies of HDL-cholesterol: from prevention of atherosclerosis to longevity (Akira Yamamoto) Chairperson	Yasufumi Sato, Shizuya Yamashita	10th Congress of the Asian-Pacific Society of Atherosclerosis and Vascular Diseases (10th APSAVD Congress)	2016.7.14-15
10	YIA Ceremony and Closing Remarks Chairperson and oral	Shizuya Yamashita	10th Congress of the Asian-Pacific Society of Atherosclerosis and Vascular Diseases (10th APSAVD Congress)	2016.7.14-15
11	疾患とシステムバイオロジー 演者: 北野宏明(特定非営利活動法人システム・バイオロジー研究機構) 司会	山下静也	第17回Atherosclerosis and Biolipid Conference	2016.8.6
12	セッション2 脂質異常症診療の現状と今後の展望 演者: 斯波真理子(国立循環器病研究センター研究所病態代謝部) 座長	山下静也	Primary Care Dr. Summit 2016	2016.8.20

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
13	総合討論 司会 心血管イベントハイリスク症例におけるPCSK9抗体の患者像を探る	山下静也	循環器内科 Expert Meeting ～Hyperlipidemia Workshop～	2016.8.25
14	講演2 脂肪酸の機能と腸内細菌から見た動脈硬化予防 演者:平田健一(神戸大学大学院医学研究科内科学講座 循環器内科学分野) 座長	山下静也	第25回南大阪循環器懇話会学術講演会	2016.9.10
15	閉会の辞	山下静也	第22回中之島循環器・代謝フォーラム	2016.9.17
16	教育講演6 HDL-Cの意義を再考する-量から質へのパラダイムシフト- 演者:池脇克則(防衛医科大学校神経・抗加齢血管内科) 座長	山下静也	第64回日本心臓病学会学術集会	2016.9.23-25
17	家族性高コレステロール血症最前線-早期診断にて救える命があります- 演者:斯波真理子(国立循環器病研究センター研究所病態代謝部) 座長	山下静也	EAS-FH day 家族性高コレステロール血症 医師向けセミナー	2016.9.25
18	特別講演 日本人2型糖尿病の現状と今後の展望～糖尿病治療の課題と戦略を考える～ 演者:前川 聡(滋賀医科大学糖尿病内分泌・腎臓内科) 座長	山下静也	泉州地区糖尿病治療戦略	2016.10.1
19	Themed Live Case Transmission 8 座長	Yoshihiro Takeda	Complex Cardiovascular Therapeutics 2016	2016.10.22
20	ランチョンセミナー15 血中EPAおよびEPA摂取測定の意味 講演:足達 寿(久留米大学医学部地域医療連携講座) 座長	山下静也	第75回日本公衆衛生学会総会	2016.10.27
21	基調講演 演者:柴田真吾(市立大村市民病院麻酔科・NPO法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会) この時代に求められる地域連携 座長	山下静也	第5回りんくう地域医療懇話会～地域包括ケアシステムの構築に向けて～	2016.10.27
22	閉会の辞	山下静也	第5回りんくう地域医療懇話会～地域包括ケアシステムの構築に向けて～	2016.10.27
23	今後のFH治療はこう変わる! 座長・演者	山下静也	PCSK9 Summit-ATISへの新たな挑戦-	2016.11.5
24	パネルディスカッション PCSK9阻害薬の価値を創造する Room1:今後のFH治療はこう変わる! 座長&演者	山下静也	PCSK9 Summit 2016 -ATISへの新たな挑戦-	2016.11.5
25	特別講演1 毒劇物中毒と危機管理:救急現場で正しく疑うために 演者:嶋津岳士(大阪大学大学院医学研究科救急医学) 座長	山下静也	第9回泉州地域医療フォーラム	2016.11.26
26	研究発表会 開会の挨拶	山下静也	糖転移ヘスベリジン・ビタミンP研究会 第8回研究発表会	2016.12.9
27	Live Demonstration Session 4 座長	武田吉弘	THE SPIRIT(Spirit of PCI with Rational Treatment) LIVE DEMONSTRATION 2017	2017.1.14
28	理事長挨拶	山下静也	第17回動脈硬化教育フォーラム	2017.1.29
29	①心筋梗塞を防ぐために 演者:石原正治(兵庫医科大学内科学講座冠疾患科)、②脳卒中を防ぐために 演者:北川一夫(東京女子医科大学神経内科学)、③女性の動脈硬化とその予防 演者:江草玄士(江草玄士クリニック)、④小児期からの動脈硬化予防 演者:土橋一重(昭和大学医学部小児科学講座) 司会	山下静也 北 徹	第17回動脈硬化教育フォーラム市民公開講座 「正しく知ろう、動脈硬化とその予防」	2017.1.29
30	総合討論 「心血管イベントハイリスク症例における抗PCSK9抗体の患者像を探る」 司会	山下静也	循環器内科 Expert Meeting ～Hyperlipidemia Workshop～	2017.2.23
31	開会の辞	山下静也	第9回関西動脈硬化懇話会	2017.2.25
32	ミート・ザ・エキスパート2 世界的視野からオールジャパン体制で臨む家族性高コレステロール血症の臨床 座長	山下静也	第81回日本循環器学会学術集会	2017.3.18
33	Fireside Seminar 27 いまさら聞けない脂質検査のコツ～ACSから外来患者まで～ 座長	山下静也	第81回日本循環器学会学術集会	2017.3.18

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
34	症例検討会2 座長	武田吉弘	41st Meeting of Gruentzig Club 症例検討会(第41回大阪冠インターベンション研究会)	2017.3.30

研究業績：診療局 消化器内科

(1) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年月日
1	慢性C型肝炎治療	大西 亨	臨床集談会	2016.5.26
2	慢性ウイルス性肝炎治療	大西 亨	泉佐野・泉南薬剤師会192回合同勉強会	2016.7.14
3	C型肝炎最前線	大西 亨	市民健康講座	2016.9.17

研究業績：診療局 小児科

(1) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年月日
1	1)大阪大学大学院医学系研究科 チアノーゼ性先天性心疾患の経過中に 腫瘍を合併した3症例	三原聖子 小垣滋豊1) 高橋邦彦1) 成田 淳1) 石田秀和1) 鳥越史子1) 髭野亮太1) 廣瀬将樹1) 那波伸敏1) 大菌恵一1)	第52回日本小児循環器学会 (東京都)	ポスター	2016.7.6
2	肥厚性幽門狭窄症を発症した在胎34 週、1,524g出生の1男児症例	寺村崇哉 今西洋介 山本昌周 和田芳郎 住田 裕	第21回大阪小児科医会 救急・ 新生児研修会(大阪市)	口演	2016.10.1
3	歩行障害と嘔吐を訴え受診した脳腫瘍 の一例	三原聖子 立石美穂 磯浦喜晴 木村幸嗣 山本真也 山本昌周 和田芳郎 住田裕	第22回泉州小児科症例勉強会 (泉大津市)	口演	2017.2.16
4	小児科診療とお薬の実際	和田芳郎	泉佐野・泉南薬剤師会 第197 回合同勉強会(泉佐野市)	口演	2017.3.9

研究業績：診療局 外科

(1) 和文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	乳房ソナゾイド造影超音波診断ガイドブ ック	位藤俊一 編	南江堂出版	1	1-260	2016
2	甲状舌管嚢胞からの発がん	飯干泰彦 中村杏子 谷本和紀 山村憲幸 出村公一 今里光伸 金 浩敏 畠野尚典 梶原 淳 宇治公美子 高橋亜由美 位藤俊一 伊豆蔵正明	小児外科	48(10)	1101-1104	2016
3	胃癌術後大動脈周囲リンパ節再発に対 して2度の郭清を行い長期無再発生存 が得られた1例	出村公一 奥村 哲 豊田 翔 水村直人 今川敦夫 大場一輝 小川雅生 川崎誠康 亀山雅男	日本外科系連合学会誌	41(4)	579-584	2016
4	胃がんに対する腹腔鏡手術	出村公一	ニュースせんなん			2016
5	内視鏡整復後に腹腔鏡下腸切除術を 施行した成人腸重積の1例	今里光伸、金浩敏、位藤 俊一	日本消化器内視鏡学会 雑誌	58(10)	2199-2200	2016
6	進化し続ける超音波診断装置 ～乳腺超音波における現在の到達点～	何森亜由美、 <u>位藤俊一</u>	インナービジョン	31(8)	84-86	2016
7	乳房超音波の最新動向 ― 造影超音 波を中心に	位藤俊一	インナービジョン	32(3)	14-16	2017

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
8	腫瘍形成性虫垂炎に対するinterval appendectomy: 施行する	飯干泰彦 中村杏子 出村公一 谷本和紀 山村憲幸 今里光伸 金 浩敏 梶野尚典 梶原 淳 高橋亜由美 位藤俊一 伊豆蔵正明	小児外科	49(2)	158-162	2017

(2) 国際学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Visualization of barrier line in the liquid phase of intestinal lumen	Iiboshi Y, Nakamura K, Tanimoto K, Yamamura N, Nishitani A, Demura K, Imasato M, Ho Min Kim, Ito T, Izukura M	PAPS2016, The 49th Annual Meeting of the Pacific Association of Pediatric Surgeons	ポスター	2016.4.24-28
2	Do We Need a Prophylactic Removal of Urachal Sinus to Prevent Infection and Carcinoma? Findings from a Retrospective Analysis of 24 Consecutive Patients	Tanimoto K, Iiboshi Y, Nakamura K, Yamamura N, Nishitani A, Imasato M, Ho Min Kim, Okubo K, Ito T, Izukura M	PAPS2016, The 49th Annual Meeting of the Pacific Association of Pediatric Surgeons	一般口演	2016.4.24-28
3	Mesenteric Lymphadenitis: an Essential Diagnosis in Patients Suspected of Appendicitis	Nakamura K, Iiboshi Y, Tanimoto K, Yamamura N, Nishitani A, Demura K, Imasato M, Ho Min Kim, Uji K, Okubo K, Shintani H, Kawasumi R, Ito T, Izukura M	PAPS2016, The 49th Annual Meeting of the Pacific Association of Pediatric Surgeons	一般口演	2016.4.24-28
4	Ultrasonographic Diagnosis and Conservative Treatment of Pediatric Cecal Diverticulitis: A Case Report	Tanimoto K, Iiboshi Y, Nakamura K, Yamamura N, Nishitani A, Imasato M, Ho Min Kim, Okubo K, Ito T, Izukura M	AAPS2016, The 24th Congress of the Asian Association of Pediatric Surgeons	ポスター	2016.5.24-26
5	Five-Year Follow-up of Thyroglossal Duct Cyst with Papillary Carcinoma in a 13-Year-Old Boy	Nakamura K, Iiboshi Y, Tanimoto K, Yamamura N, Nishitani A, Demura K, Uji K, Okubo K, Ito T, Izukura M	AAPS2016, The 24th Congress of the Asian Association of Pediatric Surgeons	ポスター	2016.5.24-26
6	Sigmoid colon as a rare cause of inguinal hernia complicated with abdominal distention in an infant	Sakakibara S, Iiboshi Y, Tanimoto K, Nakamura K, Kawasumi R, Yamamura N, Nishitani A, Demura K, Ito T, Izukura M	AAPS2016, The 24th Congress of the Asian Association of Pediatric Surgeons	ポスター	2016.5.24-26
7	Contrast-enhanced ultrasound of the breast	Ito T	ACUCI2016	口演	2016.5.27-29
8	乳がん診療における超音波新技術の応用 (超声在乳腺癌诊治中的新进展)	Ito T	2016年中大哈佛乳腺癌学术研讨会	口演	2016.6.24-26
9	Radiofrequency ablation of breast carcinoma using contrast enhanced ultrasound	Ito T	第4回日本乳房オンコプラステイクサージャリー学会総会	口演	2016.10.6-7
10	Contrast-enhanced ultrasound in Breast	Ito T	ISCU2016	口演	2016.11.12-13

(3) 国内学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	術中還納困難であった超低出生体重児の両側巨大外鼠径ヘルニアの1例	河住 亮 飯干泰彦 新谷紘史 山村憲幸 西谷暁子 出村公一 今里光伸 金 浩敏 宇治公美子 大久保恵太 位藤俊一 伊豆蔵正明	第53回日本小児外科学会 学術集会	ポスター	2016.5.26
2	超音波検査にて空腸病変の評価可能であった多発節外性悪性リンパ腫の1例	中村雅美 金 浩敏 位藤俊一 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 今里光伸 新谷紘史 伊豆蔵正明 今北正美	第89回日本超音波医学会 学術集会	ポスター	2016.5.27
3	内視鏡整復後に腹腔鏡下腸切除術を施行した成人特発性腸重積症の1例	金 浩敏 今里光伸 河住 亮 新谷紘史 大久保恵太 宇治公美子 出村公一 西谷暁子 山村憲幸 飯干泰彦 今北正美 位藤俊一 伊豆蔵正明	日本消化器内視鏡学会近畿支部 第96回支部例会	ポスター	2016.6.11
4	切除不能進行胃癌に対するConversion therapy の効果と予後について	山村憲幸 位藤俊一 宇治公美子 金 浩敏 今里光伸 出村公一 西谷暁子 飯干泰彦 伊豆蔵正明	第71回日本消化器外科学会 総会	ポスター	2016.7.14-16
5	保存的治療を施行した膿瘍形成性虫垂炎小児例の超音波像	飯干泰彦 中村杏子 出村公一 山村憲幸 今里光伸 金 浩敏 畠野尚典 梶原 淳 高橋亜由美 位藤俊一 伊豆蔵正明	第52回日本小児外科学会 近畿地方会	シンポジウム	2016.8.27
6	乳がんにおける造影超音波併用ラジオ波焼灼療法	位藤俊一 宇治公美子 高橋亜由美 飯干泰彦 山村憲幸 出村公一 伊豆蔵正明	第4回日本乳房オンコプラ スティックサージャリー学会 総会	シンポジウム	2016.10.7
7	乳癌広がり診断にSMI造影超音波を試みた1例	高橋亜由美 飯干泰彦 山村憲幸 出村公一 今里光伸 金 浩敏 中村雅美 今北正美 位藤俊一 伊豆蔵正明	日本超音波医学会 第43 回関西地方会学術集会	一般演題	2016.10.29
8	KRAS野生型の進行・再発大腸癌に対するCetuximabを併用した1次治療の検討	金 浩敏 植村 守 酒田和也 藤井 仁 福永 睦 藤井亮知 武元浩新 福崎孝幸 西村潤一 畑 泰司 松田 宙 佐藤太郎 水島恒和 山本浩文 関本貢嗣 根津理一郎 土岐祐一郎 森 正樹	第71回日本大腸肛門病学会 学術集会	要望演題	2016.11.18-19
9	当院における大腸癌手術のSSI対策としての取り組み	今里光伸 金 浩敏 高橋亜由美 宇治公美子 梶原 淳 畠野尚典 出村公一 山村憲幸 飯干泰彦 位藤俊一 伊豆蔵正明	第29回日本外科感染症学 会総会	口演	2016.11.30-12.1
10	乳がんフォローアップにおける造影超音波の役割	位藤俊一	第26回日本乳癌画像研究 会	教育講演	2017.2.5

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
11	ERASに基づく栄養管理(下部消化管)	金 浩敏 飯干泰彦 今里光伸 出村公一 坂口俊文 若林里絵 酒井拓人 北庄司敦久 住井諭美 宇野妙子 北村奈津美 中村美穂 富田直美 位藤俊一	第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会	シンポジウム	2017.2.23
12	NST回診対象患者における血清亜鉛値と褥瘡	飯干泰彦 坂口俊文 金 浩敏 位藤俊一 酒井拓人 若林里絵 北庄司敦久 住井諭美 宇野妙子 中村美穂 北村奈津美 出村公一 富田直美	第32回日本静脈経腸栄養学会学術集会	要望演題	2017.2.24

(4) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	胃癌切除術	出村公一	Laparoscopic surgery web conference	2016.6.9
2	消化管吻合におけるリンフォースカートリッジの使用経験	出村公一	第12回近畿腹腔鏡下胃切除セミナー	2016.6.25
3	進行食道胃接合部癌に対してCiplatin/S-1(trastuzumab)療法による術前化学療法が著効した2例	山村憲幸	第27回りんくう消化器病研究会	2016.7.2
4	超音波新技術を応用した乳がん診療	位藤俊一	第35回兵庫乳腺画像診断研究会	2016.7.23
5	当科におけるアービタックス使用経験	今里光伸 金 浩敏	泉州大腸手技研究会	2016.8.27
6	乳がん診療における造影超音波の位置付け	位藤俊一	第17回文京乳腺研究会	2016.11.10
7	りんくう総合医療センターにおける胃がん治療戦略ー胃切除後の逆流性食道炎予防も含めてー	出村公一	りんくう外科連携セミナー	2016.11.16
8	乳がん治療における造影超音波の実際	位藤俊一	宮城乳癌画像研究会「第17回画像セミナー」	2016.11.19
9	(超音波検査の最新動向)	位藤俊一	Breast Imaging Boot Camp in Kobe	2017.1.28

(5) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	看護にいかす疾病論Ⅱ(急性)	飯干泰彦	関西医療大学特別講義	2016.6.10
2	看護にいかす疾病論Ⅱ(急性)	飯干泰彦	関西医療大学特別講義	2016.6.24
3	外科治療を伴う肝臓・膵臓疾患	位藤俊一	関西医療大学特別講義	2016.7.8
4	腫瘍の鑑別診断と総合判定	位藤俊一	第7回乳房超音波技術講習会	2016.10.9-10
5	造影乳房超音波診断	位藤俊一	日本超音波医学会主催「超音波診断講習会」	2017.1.14

(6) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	画像診断セミナー① 乳房超音波 開会の挨拶	位藤俊一	緩和ケア研修会	2016.6.11
2	第2回 ラパロ集中講座 -LAG編-	出村公一	腹腔鏡手術 勉強会	2016.7.6
3	がん治療と緩和ケアに活かす心のケア 開会の挨拶	位藤俊一	第13回りんくう緩和ケア講演会	2016.9.28
4	胃癌の化学療法	出村公一	がん看護エキスパート講義	2016.10.14
5	胆嚢疾患に対する当院での治療戦略	梶原 淳	りんくうカンファレンス	2016.11.17
6	腹腔鏡下縫合の基本	出村公一	第1回りんくう総合医療センター腹腔鏡下縫合・結紮・吻合手技講習会	2016.11.26

(7) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	ケースカンファレンス	位藤俊一	第8回泉州消化器フォーラム	2016.4.6
2	乳腺における造影超音波の位置づけ	位藤俊一	日本超音波医学会第89回学術集会	2016.5.28
3	「進化し続ける超音波診断」～乳腺超音波における現在の到達点～	位藤俊一	日本超音波医学会第89回学術集会	2016.5.29
4	乳房造影超音波のプロトコルとレポートの標準化に向けて	位藤俊一	第36回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会	2016.5.29
5	画像診断セミナー① 乳房超音波	位藤俊一	第24回日本乳癌学会学術総会	2016.6.18
6	膈上縁郭清 Video Conference 腹腔鏡下幽門側胃切除における膈上縁D2郭清～D1+からD2へのステップアップ～	出村公一	究極の一手 ～第二章～	2016.7.9

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
7	セッション3 HER2転移・再発乳癌の治療経験	位藤俊一	第五期乳がんTV講座 第2回	2016.7.22
8	第一部	飯干泰彦	第76回小児外科わからん会	2016.9.24
9	進行再発大腸癌におけるSOX+Bv療法の意義	金 浩敏	泉州がん医療ネットワーク学術講演会 がん治療の標準化シリーズ ～大腸癌～	2016.9.24
10	一般演題	今里光伸	Oncology Meeting for Next Generation	2016.10.1
11	ランチョンセミナー 「新しいLOGOQE9の乳腺領域での活用」	位藤俊一	JSS関西第26回地方会学術集会	2016.10.2
12	テクニカルセッション2	出村公一	第14回関西腹腔鏡下胃切除同好会	2016.10.8
13	パネルディスカッション 乳癌診療における超音波検査の役割一検診から精密検査まで	位藤俊一	日本超音波医学会第43回関西地方会ならびに第20回関西地方会講習会	2016.10.29
14	講習会2「乳腺」	位藤俊一	日本超音波医学会第43回関西地方会ならびに第20回関西地方会講習会	2016.10.29
15	一般口演「新技術」	位藤俊一	第26回日本乳癌検診学会学術総会	2016.11.4-5
16	レクチャー2	出村公一	胃がんチーム医療ワークショップ	2016.11.12
17	一般演題41 RPS	出村公一	第29回日本内視鏡外科学会総会	2016.12.8-10
18	ミニレクチャー	位藤俊一	第20回阪神エコーレベルアップミーティング	2016.12.10
19	究極の腹腔鏡下胃癌手術を語ろう	出村公一	究極の一手 ～第三章～	2016.12.17
20	一般演題	飯干泰彦	第24回泉州地区NST研究会	2017.3.4

研究業績：診療局 整形外科

(1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Orthopaedic Proceedings	Yabuno K, Sawada N, Kanazawa M	EFFECT OF FEMORAL OFFSET ON SOFT TISSUE TENSIONING IN TOTAL HIP ARTHROPLASTY: INTRA-OPERATIVE MEASURE WITH CT-BASED NAVIGATION	98 B	137-137	2016
2	Orthopaedic Proceedings	Sawada N, Yabuno K, Kanazawa M	SHORT-TERM RESULTS OF TKA BY THE HYBRID NAVIGATION TECHNIQUE (COMBINATION OF NAVIGATION AND GAP TECHNIQUE)	98 B	17-17	2016
3	Orthopaedic Proceedings	Sawada N, Yabuno K, Kanazawa M	TEN-YEAR RESULTS OF ALUMINA-ON-ALUMINA THA WITH CEMENTED POLYETHYLENE-BACKED ACETABULAR COMPONENT	98 B	148-148	2016

(2) 和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	スペシャルテーブルを使用したDAAによるナビゲーションTHAの習熟曲線	藪野互平 澤田典与司 金澤元宣	Hip Joint	42(1)	442-445	2016
2	デザインの異なる2種類のtaper-wedge型システムの短期成績～J-TaperシステムとAccoladeTMZFシステムの比較～	澤田典与司 藪野互平 金澤元宣	Hip Joint	42(1)	630-633	2016

(3) 国際学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Effect of Femoral Offset on Hip instability in Total Hip Arthroplasty	Yabuno K, Sawada N, Etani Y, Kanazawa M	EORS	poster	2016.9.1
2	Risk factors of the deep flexion instability in mobile bearing unicompartmental knee arthroplasty (UKA)	Etani Y, Yabuno K, Sawada N, Kanazawa M	EORS	poster	2016.9.1
3	Accuracy of tibial component implantation in unicompartmental knee arthroplasty (UKA) using a navigation system	Sawada N, Yabuno K, Etani Y, Kanazawa M	EORS	oral	2016.9.1
4	Comparison Of Implant Alignment Between Conventional Method Patient Specific Instrument Method in Unicompartmental Knee Arthroplasty	Goshima Atsushi, Yabuno K, Sawada N, Kanazawa M	ORS2017	poster	2017.3.1
5	Intraoperative Comparison of Patient Specific Instrument Position between two Different Designs using Navigation System	Yabuno K, Sawada N, Kanazawa M	ORS2017	poster	2017.3.1

(4) 国内学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	TKA後の大腿骨顆上骨折に対し、テリパチド製剤を使用した2例	五島篤史 中川 滋 塩見俊行 高橋信太郎 鈴鹿智章 山村在慶	第126回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	ポスター	2016.4.8

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
2	外傷性後脛骨筋腱脱臼の一例	五島篤史 田中美成 天野 大 北 圭介	第127回中部日本整形外科 災害外科学会・学術集会	口演	2016.10.1
3	牽引ベットを使用した前方approachのpifall	澤田典与司 藪野互平 金澤元宣	第42回関西股関節研究会	口演	2016.12.10
4	UKAでのPSI使用による大腿骨インプラント の設置の正確性	五島篤史 澤田典与司 藪野互平 金澤元宣	第47回日本人工関節学会	ポスター	2017.2.24
5	Oxford UKAの術中 bearing の動態解析	澤田典与司 藪野互平 金澤元宣	第47回日本人工関節学会	口演	2017.2.24
6	人工膝関節全置換術におけるデザインの 異なるPSIの術中精度比較	藪野互平 澤田典与司 金澤元宣	第47回日本人工関節学会	ポスター	2017.2.25

(5) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	痛みのない膝・股関節もう一度	藪野互平	市民講座(岸和田波切ホール)	2017.3.25
2	痛みのない膝・股関節もう一度	澤田典与司	市民講座(岸和田波切ホール)	2017.3.25

(6) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	急性期病態学	金澤元宣	関西医療大学	2016.7
2	運動器疾患	金澤元宣	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2016.10-11

研究業績：診療局 心臓血管外科

(1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	28 Corrected TGA-VSD-LVOTO: Rastelli + Atrial Switch + Damus-Kaye-Stansel Operation	Takaya Hoashi , Koji Kagisaki , Toshikatsu Yagihara , and Hajime Ichikawa	Surgery of Conotruncal Anomalies Francois Lacour-Gayet · Edward L. BoveViktor Hraška · Victor O. MorellThomas L. Spray Editors Springer		479-494	2016
2	Early clinical outcomes of right ventricular outflow tract reconstruction with small caliber bovine jugular vein conduit (Contegra®) in small children.	Kido T1,2, Hoashi T3, Kagisaki K1, Fujiyoshi T1,4, Kitano M5, Kurosaki K5, Shiraishi I5, Yagihara T1, Sawa Y2, Ichikawa H1.	J. Artif. Organs	19(4)	364-371	2016

(2) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	EVAR 後Type2 エンドリークに対する 当院の治療成績:追加治療の必要性の 検討	鎌田創吉 松江 一 伊藤仁人 白川幸俊 井戸口孝二	第44回日本血管外科学会学術 総会	会長要望 演題	2016.5.25
2	弓部大動脈に対するOpen Stent Graft を用いた弓部置換術の検討: Open Stent Graft の形態評価	伊藤仁人 鎌田創吉 松江 一	第44回日本血管外科学会学術 総会	ポスター	2016.5.25
3	急性心不全で入院し、術前診断が困難 であった大動脈基部解離を発症した Marfan症候群の1 例	伊藤仁人 鎌田創吉 松江 一	第59回関西胸部外科学会学術 集会	口演	2016.6.17
4	維持透析を要する末期腎不全患者に 対する冠動脈バイパス手術の成績	船津俊宏 横田武典 前田修作 今岡秀輔 谷口和博	第21回日本冠動脈外科学会学 術大会	口演	2016.7.14
5	遠位上行大動脈からのlong elephant trunk内挿による上行弓部置換術の遠 隔成績	船津俊宏 横田武典 前田修作 今岡秀輔 近藤晴彦 谷口和博	第69回日本胸部外科学会定期 学術集会	口演	2016.9.30

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
6	虚血性心筋症に対する冠動脈バイパス術—糖尿病重症度が予後、左室機能変動に与える影響—	甲斐沼尚 谷口和博 戸田宏一 船津俊宏 仲村輝也 宮川 繁 吉川泰司 福嶋五月 斎藤俊輔 吉岡大輔 西 宏之 高橋俊樹 榊 雅之 坂口太一 吉鷹秀範 上野高義 倉谷 徹 正井崇史 澤 芳樹	第69回日本胸部外科学会定期学術集会	ポスター	2016.9.30
7	大動脈弁閉鎖不全症に対する早期の手術介入の妥当性に関する検討	前田修作 船津俊宏 横田武典 今岡秀輔 白川幸俊 門田 治 正井崇史 戸田宏一 谷口和博 澤 芳樹	第69回日本胸部外科学会定期学術集会	ポスター	2016.9.30
8	非弁膜症性疾患に合併した持続性心房細動に対する外科治療—メイズ手術 versus 肺静脈隔離術—	甲斐沼尚 光野正孝 戸田宏一 仲村輝也 宮川 繁 吉川泰司 福嶋五月 斎藤俊輔 船津俊宏 谷口和博 西 宏之 高橋俊樹 坂口太一 吉鷹秀範 大門貴志 正井崇史 宮本裕治 澤 芳樹	第69回日本胸部外科学会定期学術集会	ポスター	2016.10.1

(3) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	心臓弁膜症手術に関する話題提供	船津俊宏	堺心臓勉強会	2016.5.14
2	心臓弁膜症手術における最近の話題	船津俊宏	第35回りんくう循環器ネットワーク研究会	2016.10.29
3	低心機能患者に対する冠動脈バイパス術における術前糖尿病重症度と遠隔予後	船津俊宏	第2回CARDSサミット	2017.1.14

(4) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	「循環器・先天性心疾患」	八木原俊克	関西医療大学講義	2016.6.9
2	循環器系疾患 成人心臓・大動脈疾患と外科治療	船津俊宏	泉佐野泉南医師会看護学校講義	2016.9.27
3	修正大血管転位の遠隔期成績	八木原俊克	第9回 大阪先天性心血管懇話会	2016.10.29
4	循環器疾患 -心臓の構造・機能と外科治療(1)	八木原俊克	泉佐野泉南医師会看護専門学校講義	2016.10.31
5	循環器疾患 -心臓の構造・機能と外科治療(2)	八木原俊克	泉佐野泉南医師会看護専門学校講義	2016.10.31
6	小児循環器疾患の克服戦略	八木原俊克	大阪医専スペシャルゼミ	2016.12.9
7	心臓大血管手術のトレンドと術後投薬管理	船津俊宏	第195回泉佐野・泉南薬剤師会合同勉強会	2017.1.12

(5) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	心臓・大動脈を手術で治す	船津俊宏	市民健康講座	2016.11.19

(6) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	ポスターセッション 「心筋症」	船津俊宏	第69回日本胸部外科学会定期学術集会	2016.9.28
2	教育講演1 刺激伝導系	八木原俊克	第47回日本心臓血管外科学会学術集会	2017.2.27

研究業績：診療局 脳神経外科

(1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Magnetic Resonance Angiography Source Images of Vertebral-artery Dissection	Takao Soda, Msato Kawai, Makoto Dehara, Yasushi Hagihara	INTERNAL MEDICINE	Intern Med 56	123-124	2017

(2) 国際学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	Difficult CAS (stenting at an origin of common carotid artery)	Masato Kawai, Makoto Dehara, Daisuke Nakatsu, Hiroyuki Ima, Takao Soda, Yasushi Hagihara	ESMINT 8th Congress 2016 (Nice France)	poster	2016.9.8

(3) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	回復期脳卒中患者の神経リハビリテーションに対するrTMSの効果、及びDTI解析による予測	井間博之 細見晃一 Shyane Morris 後藤 哲 田口潤智 圓尾知之 影山 悠 後藤雄子 齋藤洋一 吉峰俊樹	第41回日本脳卒中学会総会	口演	2016.4.15
2	ステント型血栓回収デバイスを用いて治療した急性期脳梗塞の治療結果	川井正統 出原 誠 中津大輔 井間博之 宗田高穂 萩原 靖	第41回日本脳卒中学会総会	口演	2016.4.16
3	頭部外傷手術の基本と注意点	萩原 靖	第36回日本脳神経外科コン グレス総会	口演	2016.5.20
4	頭部外傷の穿頭VS大開頭	萩原 靖	第30回日本外傷学会総会・ 学術集会	パネル ディスカ ッション	2016.5.31
5	破裂脳動脈瘤による非外傷性急性硬膜下血腫の1例	川井正統 石田城丸 下岡 直 出原 誠 萩原 靖	脳血管内治療ブラッシュアッ プセミナー2016	ポスター	2016.7.2
6	急性硬膜下血腫をきたした fibrous meningiomaの1例	伊藤 弘 井間博之 榊田宏輔 出原 誠 萩原 靖	第75回日本脳神経外科学会 学術総会	ポスター	2016.9.29
7	脳卒中後運動機能回復を目指した反復経頭蓋磁気刺激	井間博之 細見晃一 Morris shayne Jason 坂本知三郎 田口潤智 小山哲男 圓尾知之 影山 悠 木下雄介 後藤雄子 清水豪士 眞野智生 押野 悟 貴島晴彦 吉峰俊樹 齋藤洋一	第75回日本脳神経外科学会 学術総会	シンポジ スト	2016.9.30
8	総頸動脈起始部病変に対して頸動脈ステント留置術を施行した一例	川井正統 石田城丸 下岡 直 出原 誠 萩原 靖	第75回日本脳神経外科学会 学術総会	ポスター	2016.9.30
9	Y コネクター固定板による、新しいマイクロカテーテル及びワイヤー操作のテクニック	出原 誠 伊藤 弘 井間博之 菱川恭子 宗田高穂 萩原 靖	第32回日本脳神経血管内治 療学会	ポスター	2016.11.24
10	破裂脳動脈瘤による非外傷性急性硬膜下血腫の1例	川井正統 石田城丸 下岡 直 出原 誠 萩原 靖	第32回日本脳神経血管内治 療学会	ポスター	2016.11.24
11	脳卒中後リハビリテーションにおける反復経頭蓋磁気刺激とDiffusion Tensor Imaging	井間博之 細見晃一 Morris Shayne Jason 坂本知三郎 田口潤智 小山哲男 圓尾知之 影山 悠 木下雄介 後藤雄子 清水豪士 眞野智生 押野 悟 貴島晴彦 吉峰俊樹 齋藤洋一	第56回日本定位・機能脳神 経学会	口演	2017.1.27
12	正中偏位の少ない急性硬膜下血腫は手術すべきかーてんかん重責リスクの観点からー	萩原 靖	第22回日本脳神経外科救急 学会	シンポジ スト	2017.2.3
13	多発脳神経炎で発症したギランバレー症候群の1例	宗田高穂	第107回日本神経学会近畿 地方会	口演	2017.3.5
14	外傷性凝固障害を伴う重症頭部外傷の病態と対処法:臨床的考察と治療戦略について	萩原 靖 松岡哲也	第44回日本集中治療医学会 学術集会	シンポジ スト	2017.3.9

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
15	急性期以降の脳主幹動脈閉塞・高度狭窄に対する治療戦略	井間博之 出原 誠 伊藤 弘 菱川恭子 榊田宏輔 宗田高穂 萩原 靖	第42回日本脳卒中学会学術集会	口演	2017.3.16
16	MRA 元画像によって確認された椎骨動脈解離の画像所見	宗田高穂 伊藤 弘 井間博之 菱川恭子 榊田宏輔 出原 誠 萩原 靖	第42回日本脳卒中学会学術集会	ポスター	2017.3.17
17	アシストステントを用いコイル塞栓術で治療した紡錘状動脈瘤の2例	伊藤 弘 井間博之 出原 誠 菱川恭子 萩原 靖 榊田宏輔	第42回日本脳卒中学会学術集会	ポスター	2017.3.18
18	後期高齢者くも膜下出血患者の治療選択と成績:前期高齢者との比較	萩原 靖 伊藤 弘 菱川恭子 井間博之 榊田宏輔 出原 誠	第42回日本脳卒中学会学術集会	口演	2017.3.18
19	核下性顔面麻痺様の症状が出現した後大動脈穿通枝梗塞の1例	小野 恵 宗田高穂 伊藤 弘 井間博之 菱川恭子 榊田宏輔 出原 誠 萩原 靖	第215回日本内科学会近畿地方会	口演	2017.3.25

(4) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	脳血管内治療～最近の話題～	萩原 靖	第8回泉州地域医療フォーラム	2016.5.28
2	後下小脳動脈の解離性脳動脈瘤破裂に対しOA-PICA吻合術が有効であった症例	伊藤 弘 井間博之 榊田宏輔 出原 誠 萩原 靖	第81回大阪大学脳神経外科関連施設臨床懇話会	2016.7.9
3	ITB療法ポンプ植え込み手術手技、リフィル手技	出原 誠	ITB療法ハンズオン大阪	2016.9.3
4	椎骨動脈損傷を伴う頸椎骨折の治療	萩原 靖	日本整形外傷セミナー JOTS Spine Basicセミナー	2016.9.4
5	ICPモニタリングによる脳圧管理の実際ー脳卒中から頭部外傷までー	萩原 靖	脳神経外科救急医による ケースディスカッション in 関西	2016.9.21
6	当院における進行期パーキンソン病の診療状況	宗田高穂	ハッピーフェイスセミナー in 南大阪	2016.11.24

(5) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	脳神経外科総論と脳疾患	井間博之	関西医療大学講義 看護に生かす疾病論	2016.4.28
2	脳血管障害	出原 誠	関西医療大学講義 看護に生かす疾病論	2016.5.11
3	脳神経外科・頭部外傷	萩原 靖	関西医療大学講義 看護に生かす疾病論	2016.6.16
4	頭部外傷 脳脊髄液(髄液)の異常	萩原 靖	泉佐野泉南医師会看護専門学校 脳神経系疾病講義	2016.9.7
5	脳・神経系感染症 末梢神経障害	宗田高穂	泉佐野泉南医師会看護専門学校 脳神経系疾病講義	2016.9.14
6	神経・筋疾患 脱髄・変性疾患	宗田高穂	泉佐野泉南医師会看護専門学校 脳神経系疾病講義	2016.9.21
7	脳血管障害	出原 誠	泉佐野泉南医師会看護専門学校 脳神経系疾病講義	2016.10.12
8	脳腫瘍脊髄疾患	井間博之	泉佐野泉南医師会看護専門学校 脳神経系疾病講義	2016.10.19
9	てんかん夜話	萩原 靖	泉佐野泉南薬局薬剤師会勉強会	2016.11.10
10	脳神経外科医と救命救急医のかかわり	萩原 靖	大阪市立大学救命救急センター勉強会	2016.12.14

(6) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	外傷	萩原 靖	第71回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会	2016.4.2
2	慢性硬膜下血腫:治療戦略	萩原 靖	日本脳神経外科学会第75回学術総会	2016.10.1
3	特別講演II	出原 誠	抗凝固療法 Total Management	2016.12.1

研究業績：診療局 形成外科

(1) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	脂腺母斑を発生母地として有棘細胞癌、基底細胞癌を併発した1例	石原崇圭 服部 亮	第111回関西形成外科学会学術集会		2016.10.29

研究業績：診療局 呼吸器外科

(1) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	胸腺原発神経内分泌腫瘍治療成績に関する後ろ向きコホート他施設共同研究	大瀬尚子 前田 元 井上匡美 新谷 康 森井英一 松村晃秀 松井浩史 多田弘人 太田三徳 門田嘉久 東山聖彦 岡見次郎 竹内幸康 岩崎輝夫 坂巻 靖 福原謙二郎 桂 浩 楠本英則 奥村明之進	第116回日本外科学会総会	口演	2016.4.16
2	術後急速に進行した骨格筋転移を伴った限局性悪性胸膜中皮腫の1例	桂 浩 森山あづさ 今北正美	第57回日本肺癌学会総会	ポスター	2016.12.19

(2) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	看護に生かす疾病論-外科治療を伴う呼吸器疾患その1	桂 浩	関西医療大学	2016.6.15
2	看護に生かす疾病論-外科治療を伴う呼吸器疾患その2	桂 浩	関西医療大学	2016.6.29

(3) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	周術期管理について	桂 浩	8 海病棟研修会	2016.9.21
2	周術期管理について	桂 浩	9 海病棟研修会	2016.9.28

研究業績：診療局 泌尿器科

(1) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	難治性前立腺炎を合併した前立腺炎の1例	萩野恵三 藤井令央奈 小池宏幸	第66回日本泌尿器科学会中部総会	ポスター	2016.10.28
2	りんくう総合医療センターにおける男子尿道炎の検討	萩野恵三 藤井令央奈 小池宏幸	第29回日本性感染症学会	口演	2016.12.3

(2) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	「看護に生かす疾病論Ⅱ(急性)」腎・泌尿器疾患	萩野恵三	関西医療大学保健看護学部2年生	2016.7.7
2	「看護に生かす疾病論Ⅱ(急性)」腎・泌尿器疾患	萩野恵三	関西医療大学保健看護学部2年生	2016.7.14
3	「前立腺肥大症の病態と治療」	萩野恵三	泉佐野・泉南医師会講演会	2016.10.1

研究業績：診療局 耳鼻咽喉科

(1) 国際学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	WISK-4 results of CI children in Japanese Mainstreaming School	Hazama, M., Sasaki, M., Nakahara, K., Nomura, N., Hojo, T., Sakoda, T., Enomoto, T., Kawano, A.	CI 2016: 14th International conference on cochlear implants (Tront, Canada)	Poster	2016.5.11-14
2	Japanese auditory test results of CI children in mainstreaming school	Nomura, N., Hazama, M., Sasaki, M., Nakahara, K., Hojo, T., Sakoda, T., Kawano, A., Enomoto, T.	CI 2016: 14th International conference on cochlear implants (Tront, Canada)	Poster	2016.5.11-14
3	Influence of Setting Threshold Levels on Speech Discrimination for the MED-EL Audio Processor	Sasaki, M., Hazama, M., Nakahara, K., Nomura, N., Hojo, T., Sakoda, T., Enomoto, T., Kawano, A.	CI 2016: 14th International conference on cochlear implants (Tront, Canada)	Poster	2016.5.11-14

(2) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	真珠腫セカンドルック前後に聴力に変動があった症例の検討	裕田猛真 野村直孝 宝上竜也 中原 啓 榎本雅夫	第117回日本耳鼻咽喉科学会総会(名古屋市)	ポスター	2016.5.19-21

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
2	ニボルマブの使用経験	野村直孝 宝上竜也 中原 啓 碓田猛真 榎本雅夫	第117回日本耳鼻咽喉科学会 総会(名古屋市)	ポスター	2016.5.19-21
3	覚醒下ABRの有用性と課題	中原 啓 碓田猛真 宝上竜也 野村直孝 河野 淳 榎本雅夫	第117回日本耳鼻咽喉科学会 総会(名古屋市)	ポスター	2016.5.19-21
4	甲状腺癌の転移が疑われた反回神経 鞘腫の1例	中原 啓 野村直孝 宝上竜也 碓田猛真 榎本雅夫	第337回日耳鼻大阪地方連合 会(大阪市)	口演	2016.6.4
5	MED-ELの新しいスピーチプロセッサー の聴取成績-Sonnetとopusの聴取成績 の比較検討	間三千夫 佐々木美奈 中原 啓 河野 淳	第11回日本小児耳鼻咽喉科 学会(徳島市)	口演	2016.6.30-7.1
6	人工内耳装用児の発達検査 (WISC-IV)の結果	佐々木美奈 間三千夫 中原 啓 河野 淳	第11回日本小児耳鼻咽喉科 学会(徳島市)	口演	2016.6.30-7.1
7	覚醒下ABRの有用性と課題	中原 啓 間三千夫 佐々木美奈 河野 淳	第11回日本小児耳鼻咽喉科 学会(徳島市)	口演	2016.6.30-7.1
8	覚醒下ABRの有用性と課題	中原 啓 碓田猛真 宝上竜也 野村直孝 河野 淳 榎本雅夫	第78回耳鼻咽喉科臨床学会 (鹿児島市)	ポスター	2016.6.23-24
9	放射線併用MTX-5FU-CDGP療法の喉 頭癌に対する効果	碓田猛真 野村直孝 宝上竜也 中原 啓 榎本雅夫	第14回日本臨床腫瘍学会(神 戸市)	口演	2016.7.28-30
10	プロボックス抜去に至った2例	宝上竜也 野村直孝 中原 啓 碓田猛真 榎本雅夫	第338回日耳鼻大阪地方連合 会(大阪市)	口演	2016.9.3
11	人工内耳術後翌日の音入れ	碓田猛真 間三千夫 佐々木美奈 宝上竜也 野村直孝 中原 啓 榎本雅夫	第26回日本耳科学会(長野 市)	口演	2016.10.6-8
12	人工内耳装用児保護者の進学・就労に 関する不安感	佐々木美奈 間三千夫 中原 啓 野村直孝 宝上竜也 碓田猛真 河野 淳	第61回日本聴覚医学会(盛岡 市)	口演	2016.10.19-21
13	成人に対する覚醒下ABRの応用	中原 啓 間三千夫 佐々木美奈 碓田猛真 宝上竜也 野村直孝 河野 淳 榎本雅夫	第61回日本聴覚医学会(盛岡 市)	口演	2016.10.19-21
14	補聴器装用児における聴覚補償状態と WISC-IVの結果検討	間三千夫 佐々木美奈 中原 啓 野村直孝 宝上竜也 碓田猛真 河野 淳	第61回日本聴覚医学会(盛岡 市)	口演	2016.10.19-21
15	聴覚補償を行っている難聴児の知能検 査について	中原 啓 間三千夫 佐々木美奈 野村直孝 宝上竜也 碓田猛真 河野 淳 榎本雅夫	第61回日本音声言語医学会 (横浜市)	口演	2016.11.3-4
16	自閉スペクトラム症を示した児童に対 する早期介入の行動学的変化	佐々木美奈 間三千夫 中原 啓 碓田猛真 河野 淳	第61回日本音声言語医学会 (横浜市)	口演	2016.11.3-4
17	ASDと知的能力障害の重複障害児に対 するABA療法(言語療法中心)の効果	間三千夫 佐々木美奈 中原 啓 碓田猛真 河野 淳	第61回日本音声言語医学会 (横浜市)	口演	2016.11.3-4
18	人工内耳術後翌日の音入れ	碓田猛真 宝上竜也 野村直孝 中原 啓 榎本雅夫	第339回日耳鼻大阪地方連合 会(大阪市)	口演	2016.12.3
19	甲状腺adenolipomaの1例	宝上竜也 中原 啓 碓田猛真 榎本雅夫	第340回日耳鼻大阪地方連合 会(大阪市)	口演	2017.3.4

(3) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	看護に生かす疾病論Ⅱ「耳鼻咽喉疾患」	碓田猛真	関西医療大学講義	2016.6.1
2	音声言語聴覚医学Ⅱ	碓田猛真 中原 啓	大阪河崎リハビリテーション学院大学講義	2016.4月-8月 計15回

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
3	耳鼻咽喉科学	碓田猛真 中原 啓	大阪河崎リハビリテーション学院大学講義	2016.10月 -2017.1月 計7回

(4) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	慢性扁桃炎・アデノイド肥大	宝上竜也	7階海側病棟勉強会	2016.5月
2	慢性副鼻腔炎	中原 啓	7階海側病棟勉強会	2016.6月
3	声帯ポリープ・甲状腺の手術	宝上竜也	7階海側病棟勉強会	2016.7月
4	中耳炎・鼓室形成	碓田猛真	7階海側病棟勉強会	2016.8月
5	人工内耳	宝上竜也	7階海側病棟勉強会	2016.9月
6	喉頭全摘術	碓田猛真	7階海側病棟勉強会	2016.10月
7	顔面神経麻痺	碓田猛真	7階海側病棟勉強会	2016.11月
8	頸部郭清	中原 啓	7階海側病棟勉強会	2017.1月
9	耳鼻咽喉科領域の救急疾患	宝上竜也	クリニカルレベルアップセミナー(第200回臨床集談会)	2017.2.23
10	気管切開・気管カニューレについて	宝上竜也	7階海側病棟勉強会	2017.3月

(5) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	難聴者聞き取りの現状	間 三千夫	ACIC年次フォーラムIX ～日本の難聴児教育を考える～(東京)	2016.6.11
2	補聴器の現状と展望	間 三千夫	ACIC年次フォーラムIX ～日本の難聴児教育を考える～(東京)	2016.6.11

研究業績：診療局 口腔外科

(1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Immunogenic cell death by oncolytic herpes simplex virus type 1 in squamous cell carcinoma cells	Takasu, A., Masui, A., Hamada, M., Iwai, S., Yura, Y.	Cancer Gene Therapy doi:10.1038/cgt2016.8	23	107-113	2016
2	Autophagy as a Survival Mechanism for Squamous Cell Carcinoma in Endonuclease G-Mediated Apoptosis	Masui, A., Hamada, M., Kameyama, H., Wakabayashi, K., Takasu, A., Imai, T., Iwai, S., Yura, Y.	PLOS ONE doi:10.1371/journal. Pone.0162786	22	e0162786	2016

(2) 和文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	舌下神経麻痺を契機に発見された転移性脳腫瘍の1例	濱田正和 高須彩子 亀山裕泰 奥長秀介 由良義明	日本口腔科学会雑誌	65	287-290	2016

(3) 国際学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	Boron neutron capture therapy in non-SCC patients with intractable head and neck malignancies who have no other treatment options	I. Kato, Y. Fujita, N. Yamamoto, M. Ohmae, Y. Sakurai, M. Suzuki, S. Masunaga, I. Murata, M. Nakazawa, K. Ono	The 17 th International Congress on Neutron Capture/ Columbia, Missouri, USA	Oral	2016.10.2-7

(4) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	治療のない再発口腔がん患者に対するホウ素中性子捕捉療法	加藤逸郎 岩上隆起 山本直典 藤田祐生 大前政利 墨 哲郎 中澤光博 村田 勲 櫻井良憲 増永慎一郎 丸橋 晃 小野公二 鈴木 実	大阪大学歯学会 第122回例会	口演	2016.7.14

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
2	治療のない難治性頭頸部非扁平上皮がん患者に対するホウ素中性子捕捉療法	加藤逸郎 岩上隆起 山本直典 藤田祐生 大前政利 墨 哲郎 中澤光博 村田 勲 櫻井良憲 増永慎一郎 丸橋 晃 小野公二 鈴木 実	第54回日本癌治療学会学術集会 ミニシンポジウム28 頭頸・口腔1:頭頸部がんに対する新規放射線治療の展望	口演	2016.10.20-22
3	自然排出した顎下腺導管移行部唾石症の1例	加戸聖也 濱田正和 高須彩子 岸本聡子 古川禎伸	第28回口腔科学会近畿地方会	口演	2016.12.10

(5) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	講演セッション『一般演題』	大前政利	第12回口腔外科栄養フォーラム	2016.9.10
2	一般演題(ポスター18)『悪性腫瘍 症例2』	大前政利	第61回日本口腔外科学会総会・学術大会	2016.11.25

研究業績：診療局 麻酔科

(1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Usefulness of Transesophageal Echocardiography in Guiding Acute Aortic Dissection Management During Open Repair of an Abdominal Aortic Aneurysm	Atsushi Kainuma, MD, Masayuki Ihara MD, Ikuko Miyawaki MD, PhD, Hiroyuki Mima MD, Tadaaki Koyama MD, PhD, Kazuo Yamazaki MD	Journal of Cardiothoracic and Vascular Anesthesia	Vo30, No3 (June)	725-728	2016

(2) 和文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	新生児期手術適応の先天性心疾患患児の消化管穿孔の3症例 -開腹人工肛門造設手術と開心術とのタイミング-	増江達彦 飯田美紀 中村好美 位田 優 柚木一馬 伊原正幸	日本心臓血管麻酔学会誌	20	69-73	2016
2	持続動注療法にて軽快した門脈ガス血症を伴う非典型像を呈した非閉塞性腸管虚血症の1例	伊原正幸 下藺崇宏 植田浩司 美馬浩之	日本腹部救急医学会雑誌	36(7)	1211 -1214	2016
3	持続投与されたロクロニウムの総体内残存量を予測する簡易式	小林俊司 石井菜々子 丸山直子 石山 諭 鶴野廣大 森本正昭 伊原正幸 神移 佳 井戸和己 米本紀子 長尾典尚 足立匡司	麻酔	65	976-981	2016

(3) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	平行法用ニードルガイドによる、膝窩部坐骨神経ブロック時間の短縮効果	小林俊司 井戸和己	第3回日本区域麻酔学会 学術集会	ポスター	2016.4.15-16
2	当院ペインクリニック外来における超音波ガイド肋骨神経ブロックの検討	鶴野廣大 米本紀子 神移 佳 森本正昭 米本紀子 小林俊司	日本麻酔科学会 第63回学術集会	ポスター	2016.5.25-28
3	TKA術後の持続大腿神経ブロックにおける、低濃度塩酸レボピバカインの鎮痛効果と大腿四頭筋力低下の後ろ向き比較検討	石山 諭 森本正昭 井戸和己 足立匡司 小林俊司	日本麻酔科学会 第63回学術集会	ポスター	2016.5.25-28
4	身体表現性障害(疼痛性障害)と紹介された患者はペインクリニックでの治療効果が得られるか	米本紀子 神移 佳 小林俊司 井戸和己 森本正昭 米本重夫	日本ペインクリニック学会 第50回大会	口演	2016.7.6-9
5	トラマドール100mg/日で鎮痛されていた左臀部痛が馬尾腫瘍であった1症例	森本正昭 米本紀子 神移 佳 井戸和己 小林俊司	日本ペインクリニック学会 第50回大会	ポスター	2016.7.6-9
6	当院において内腸骨動脈バルーンを留置し行った前置胎盤合併帝王切開の検討	長尾典尚 西村俊輝 荻田秀和 小林俊司	日本麻酔科学会 第62回関西支部学術集会	ポスター	2016.9.3

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
7	当院における挿管困難症例に対する、挿管器具選択の変遷と器具別挿管試行回数の分析	小林俊司 西村俊輝 石井菜々子 鶴野広大 森本正昭 長尾典尚 井戸和己	日本臨床麻酔科学会 第36回	ポスター	2016.11.3-5
8	全身麻酔での生理食塩液灌流経尿道的膀胱腫瘍切除術中に閉鎖神経反射が惹起された1症例	西村俊輝 鶴野広大 石井菜々子 森本正昭 井戸和己 長尾典尚 小林俊司	日本臨床麻酔科学会 第36回	ポスター	2016.11.3-5
9	人工心肺離脱後に生じた肺水腫に対して一酸化窒素(NO)吸入療法を術中から導入した成人開心術4症例の検討	鶴野広大 神移 佳 井戸和己 伊原正幸 丸山直子 石山 諭 小林俊司	日本集中治療医学会 第44回	ポスター	2016.3.9-11
10	冠動脈バイパス術後に生じた心嚢・縦隔乳糜漏の一例	伊原正幸 下菌崇宏 植田浩司 美馬裕之 山崎和夫	第61回 日本集中治療医学会 近畿地方会	ポスター	2016.7.9

(4) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	看護にいかず疾病論Ⅱ(急性) 麻酔について	小林俊司	(関西医療大学)	2016.5.19
2	『麻酔の基礎知識』	伊原正幸	医療通訳養成コース研修 (大阪大学中之島センター)	2016.6.18
3	『ペインクリニック外来における使用薬剤とその使用方法～痛み生理学と臨床症例に基づいて』	森本正昭	泉佐野泉南薬剤師会第196回合同勉強会 (りんくう総合医療センター研修棟)	2017.2.9

研究業績：診療局 国際診療科

(1) 和文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	国内における国際診療・看護の立場から ①国際診療の現状と課題	南谷かおり	国際看護 (Basic & Practice 一看護学テキスト 統合と実践)、 一戸真子編、学研メディカル秀潤社		132-141	2016
2	国内における国際診療・看護の立場から ②国際看護の現状と課題	新垣智子	国際看護 (Basic & Practice 一看護学テキスト 統合と実践)、 一戸真子編、学研メディカル秀潤社		143-149	2016
3	医療通訳の現状について	南谷かおり	大阪大学医学部学友会誌		91-94	2016
4	第1章 Fever	入交重雄 川越栄子	医学・医療系学生のための総合 医学英語テキスト Step1		2-13	2016
5	外国人患者に優しい病院:りんくう総合 医療センターの現状	入交重雄	日本医学英語教育学会 会誌	Vol15 No.1	51-54	2016

(2) 国際学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	Foreign Patients in Japan: Current situation, Concerns	Kaori Minamitani	First International Joint Conference Hospital Santa Cruz - Osaka University Sao Paulo, Brazil	口演	2016.8

(3) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	シンポジウムⅣ「救急看護の国際化」	新垣智子	第18回日本救急看護学会学術集会	パネリスト	2016.10.30
2	医療通訳の認証にむけて 「医療通訳の認証のあり方に関する研究」	南谷かおり	国際臨床医学会 第1回学術大会	口演	2016.12.14

(4) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	医療現場の取り組み	南谷かおり	国際医療通訳シンポジウム&ワークショップ 名古屋外国語大学7号館701教室	2016.5.14
2	パネルディスカッション 「病院の国際化フォーラム」	南谷かおり	Hospital Management Japan Summit 2016	2016.9.9
3	医療通訳について	南谷かおり	第4回 国際医療研究会(首都圏) 東京大学本郷キャンパス伊藤国際学術研究センター	2016.9.9

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
4	医療通訳者の現状と未来	南谷かおり	第2回 Medical Excellence JAPAN セミナー	2016.10.21
5	英語ロールプレイ	入交重雄	大阪大学医療通訳養成コース	2016.11.12
6	外国人患者受け入れの取り組み	南谷かおり	2016年度外国人患者受け入れ医療機関認証制度(JMIP) 地域別セミナーin大阪	2016.11.15
7	医療機関における外国人患者対応	南谷かおり	東京都 福祉保健局 医療政策部 2016年度医療従事者に対する外国人対応力向上研修 第1回	2016.12.6
8	医療におけるイスラム教とハラール事情に関する考察	LEW KING FOONG	第34回びわ湖国際医療フォーラム	2017.1.28
9	英語ロールプレイ	入交重雄	大阪大学医療通訳養成コース	2017.2.4
10	医療機関における外国人患者対応	南谷かおり	東京都 福祉保健局 医療政策部 2016年度医療従事者に対する外国人対応力向上研修 第2回	2017.2.9
11	外国人医療ー最近の動向ー	南谷かおり	医療機関における外国人対応整備セミナーin Okinawa	2017.3.3
12	JMIPを受審する意義とはーパネルディスカッションー	南谷かおり	国際医療交流シンポジウム	2017.3.9

(5) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	医療英語	入交重雄	関西医療大学保健看護学部	2016年前期
2	地域中核病院における国際医療の現状と課題	南谷かおり	大阪大学 2016年度前期 全学共通教育先端教養科目「健康・医療イノベーション学Ⅰ」	2016.4.13
3	国際保健活動論	新垣智子	大阪市立大学大学院看護学研究科	2016.5.19～ 2016.6.23
4	国際保健	新垣智子	大阪府立大学看護学部	2016.5.21
5	病院で治療を受ける外国籍患者・家族への対応	新垣智子	日本看護協会2016研修	2016.6.3
6	多文化看護概論	新垣智子	奈良県立医科大学看護学部	2016.7.21
7	医療のしくみについて	新垣智子	大阪大学医療通訳実践コース2016	2016.7.30
8	医療通訳について必要な知識(病院編)	南谷かおり	大阪大学大学院高度副プログラム(医療通訳実践論)	2016.10.20
9	外国人にやさしい病院をどう創るか ～りんくう総合医療センター10年の取り組み～	南谷かおり	愛知県立大学「医療分野ポルトガル語スペイン語講座」開講10周年記念シンポジウム「外国人にやさしい医療現場をつくる」	2016.11.6
10	医療通訳コーディネーター入門 外国人医療の現状:ナースとして	新垣智子	UNITY神戸(大学単位互換講座)	2016.11.9
11	Inbound Medicine and Health Care for non-Japanese residents	Kaori Minamitani	Introduction to Global Health Osaka Univ. Nakanoshima Center & Tokyo Branch	2016.11.26
12	国際看護学概論Ⅱ	新垣智子	京都医療センター附属京都看護助産学校	2016.12.8
13	国際看護比較論	新垣智子	大分県立看護科学大学	2016.12.15
14	国際看護学	新垣智子	奈良市立看護専門学校	2016.12.19
15	大阪大学大学院高度副プログラム医療通訳コース	新垣智子	大阪大学医学部	2016.12.22
16	日本の医療機関における外国人患者対応	南谷かおり	大阪大学大学院高度副プログラム健康・医療特論	2017.2.8

(6) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	国際保健・その他	入交重雄	第33回びわ湖国際医療フォーラム	2016.7.9

研究業績：診療局 救命診療科

(1) 英文原著、総説、著書

番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Development of a prehospital vital signs chart sharing system	Taka-aki Nakada, MD, PhD, Naohisa Masunaga, MD, Shota Nakao, MD, Maiko Narita, MD, Takashi Fuse, MD, Hiroaki Watanabe, MD, PhD, Yasuaki Mizushima, MD, PhD, Tetsuya Matsuoka, MD, PhD	American Journal of Emergency Medicine	34	88-92	2016
2	Association between increased blood interleukin-6 levels on emergency department arrival and prolonged length of intensive care unit stay for blunt trauma	<u>Masashi Taniguchi</u> , <u>Taka-aki nakada</u> , Koichiro shinozaki, <u>Yasuaki Mizushima</u> and <u>Tetsuya Matsuoka</u>	World Journal of Emergency Surgery		7-2~ 7-7	2016
3	CAN EARLY AGGRESSIVE ADMINISTRATION OF FRESH FROZEN PLASMA IMPROVE OUTCOMES IN PATIENTS WITH SEVERE BLUNT TRAUMA?—A REPORT BY THE JAPANESE ASSOCIATION FOR THE SURGERY OF TRAUMA	Akiyoshi Hagiwara, Shigeki Kushimoto, Hiroshi Kato, Junichi Sasaki, Hiroshi Ogura, <u>Tetsuya Matsuoka</u> , Toshifumi Uejima, Mineji Hayakawa, Munekazu Takeda, Naoyuki Kaneko, Daizoh Saitoh, Yasuhiro Otomo, Hiroyuki Yokota, Teruo Sakamoto, Hiroshi Tanaka, Atsushi Shiraishi, Naoto Morimura, and Hiroyasu Ishikura	SHOCK	45(5)	495-501	2016
4	Fibrinogen level on admission is a predictor for massive transfusion in patients with severe blunt trauma:Analyses of a retrospective multicentre observational study	Yoshiko Nakamura, Hiroyasu Ishikura, Shigeki Kushimoto, Fumiaki Kiyomi, Hiroshi kato, Junichi Sasaki, Hiroshi Ogura, <u>Tetsuya Matsuoka</u> , Toshifumi Uejima, Naoto Morimura, Mineji Hayakawa, Akiyoshi Hagiwara, Munekazu Takeda, Naoyuki Kaneko, Daizoh Saitoh, Daisuke Kudo, Kunihiko Maekawa, Takashi Kanemura, Takayuki Shibusawa, Yasushi Hagihara, Shintaro Furugori, Atsushi Shiraishi, Kiyoshi Murata, Gou Mayama, Arino Yaguchi, Shiei Kim, Osamu Takasu, Kazutaka Nishiyama	Injury			2016

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
5	Development of Novel Criteria of the "Lethal Triad" as an Indicator of Decision Making in Current Trauma Care: A Retrospective Multicenter Observational Study in Japan	Akira Endo, MD; Atsushi Shiraishi, MD, PhD; Yasuhiro Otomo, MD, PhD; Shigeki Kushimoto, MD, PhD; Daizoh Saitoh, MD, PhD; Mineji Hayakawa, MD, PhD; Hiroshi Ogura, MD, PhD; Kiyoshi Murata, MD, PhD; Akiyoshi Hagiwara, MD, PhD; Junichi Sasaki, MD, PhD; Tetsuya Matsuoka, MD, PhD; Toshifumi Uejima, MD, PhD; Naoto Morimura, MD, PhD; Hiroyasu Ishikura, MD, PhD; Munekazu Takeda, MD, PhD; Naoyuki Kaneko, MD, PhD; Hiroshi Kato, MD, PhD; Daisuke Kudo, MD, PhD; Takashi Kanemura, MD, PhD; Takayuki Shibusawa, MD, PhD; Yasushi Hagiwara, MD, PhD; SHintaro Furugori, MD, PhD; Yoshihiko Nakamura, MD, PhD; Kunihiko Maekawa, MD, PhD; Gou Mayama, MD, PhD; Arino Yaguchi, MD, PhD; Shiei Kim, MD, PhD; Osamu Takasu, MD, PhD; Kazutaka Nishiyama, MD, PhD	Critical Care Medicine			2016

(2) 和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	各論 I ; 外傷 血管 IVR 骨盤外傷のIVR	臼井亮介 井戸口孝二 水島靖明	救急医学	40	171-177	2016
2	各論 疾病 Disaster related disease	松岡哲也	救急医学	40	339-344	2016
3	超入門人工呼吸患者の胸部画像の見かた	坂下恵治 松岡哲也	呼吸器ケア	14	36-37	2016
4	当院における成人鈍的腹部外傷の止血戦略 ~開腹術とIVRどちらを優先するか~	中尾彰太 井戸口孝二 比良英司 水島靖明 松岡哲也 渡部広明	Japanese Journal of Acute Care Surgery	6	14-19	2016
5	IIIb型肝損傷に合併した複雑肝門部胆管損傷に対して、非縫合性圧着式胆管空腸吻合により再建し救命し得た1例	成田麻衣子 渡部広明 中尾彰太 比良英司 井戸口孝二 水島靖明 松岡哲也	Japanese Journal of Acute Care Surgery	6	67-71	2016
6	病院前外傷診療における覚知時ドクターカー出動要請システムの現状と課題	松浦治人 渡部広明 中尾彰太 木村信広 松岡哲也	日本臨床救急医学会雑誌 別冊 日臨救急医学会誌 (JJSEM)	19(4)	559-565	2016
7	救急画像診断の工夫と可能性 造影CT検査、特にプロトコルについて	坂下恵坂 西池成章 藤村一郎 相良健司 松岡哲也	救急医学 2016年9月臨時増刊号	40(10)	1268 -1276	2016
8	重傷外傷患者における輸液療法の実際	水島靖明 石井健太	救急医学	40(13)	1665 -1672	2016
9	救急医療体制整備における救命救急センターの役割 MCの枠組みを超えた体制整備の必要性	中尾彰太 松岡哲也	救急医学	41(3)	319	2017

(3) 国際学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Mobile ICU in Japan	Y. Mizushima	4th Pan-Pacific Trauma Congress	招待講演	2016.6.10
2	Selective endovascular embolization of pulmonary artery in blunt polytrauma: a report of 2 cases	K. Idoguchi	CIRSE 2016	一般演題 ポスター	2016.9.10-14

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
3	Balloon-assisted double-barrel catheter technique for glue embolization of a ruptured traumatic anterior tibial artery pseudoaneurysm	K. Idoguchi	CIRSE 2016	一般演題 ポスター	2016.9.10-14
4	Successful endovascular treatment for severe multiple arteriovenous thrombosis caused by heparin-induced thrombocytopenia	R. usui	CIRSE 2016	一般演題 ポスター	2016.9.10-14
5	Safety and efficacy of resuscitative endovascular balloon occlusion of the aorta using a 7-Fr sheath	M. narita	CIRSE 2016	一般演題 ポスター	2016.9.10-14
6	Prehospital and transfer REBOA in Japan— preliminary experience—	K. idoguchi	EVTM Symposium	一般演題 口演	2017.2.3

(4) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	出血性ショック患者に対する初期輸血療法の目的 ～治療方針を決定する羅針盤としての、重要性の再確認～	水島靖明	第19回日本臨床救急医学会	シンポジウム	2016.5.13
2	出血性ショック患者に対する初期輸液療法の目的 ～治療方針を決定する羅針盤としての、重要性の再確認～	水島靖明	第19回日本臨床救急医学会	シンポジウム	2016.5.13
3	地域医療構想の策定は、適正な救急医療体制の構築に通ずる	松岡哲也	第19回日本臨床救急医学会	パネルディス カッション	2016.5.13
4	二次医療圏規模の救急搬送患者登録システムより判明した小児救急搬送の現状と課題	安達晋吾	第19回日本臨床救急医学会	パネルディス カッション	2016.5.13
5	Trauma Pan-scanの適応を考える-当院におけるCT撮影方法の検証-	成田麻衣子	第19回日本臨床救急医学会	パネルディス カッション	2016.5.13
6	地域網羅的なデータによる傷病者の搬送および受入れの実施基準の検証	中尾彰太	第19回日本臨床救急医学会	一般演題 口演	2016.5.13
7	ブタ肝後面下大動脈損傷モデルを用いたステントグラフトによる止血効果の検討	井戸口孝二	日本IVR学会総会	一般演題 口演	2016.5.27
8	NOMを施行した肝損傷に伴う胆道系損傷への対応～DIC-CTによる早期診断の有用性～	中尾彰太	第30回日本外傷学会	フォーラムセ ッション	2016.5.30
9	病院前診療における乳酸値測定の意義	福間 博	第30回日本外傷学会	フォーラムセ ッション	2016.5.30
10	外傷におけるクリオプレシペート製剤の適応と投与開始基準の検討	石井健太	第30回日本外傷学会	パネルディス カッション	2016.5.31
11	アンギオ室における外傷ハイブリッド治療の現状-迅速かつ安全なIVRを目指して-	井戸口孝二	第61回関西IVR研究会	一般演題 口演	2016.6.25
12	下横隔動脈損傷が原因で遅発性に大量血胸を来し、TAEで止血した1例	中尾彰太	第61回関西IVR研究会	一般演題 口演	2016.6.25
13	大阪府泉州二医療圏における小児重症外傷診療の現況と課題、今後の展望	安達晋吾	第30回日本小児救急医学会	特別企画	2016.7.1
14	大阪府実施基準における小児の呼吸数・脈拍数の基準値改訂についての提言	安達晋吾	第30回日本小児救急医学会	一般演題 口演	2016.7.2
15	Mission:早期経腸栄養に挑戦する	泉野浩生	第61回日本集中治療医学会 近畿地方会	共催教育講 演	2016.7.9
16	IVRの実際	井戸口孝二	第8回日本Acute Care Surgery学会	教育講演	2016.9.24
17	Damage Control Resuscitation	水島靖明	第8回日本Acute Care Surgery学会	教育講演	2016.9.24
18	皮膚所見が軽微であった壊死性筋膜炎を伴う劇症型A群レンサ球菌感染症の1例	鄭 賢樹	第8回日本Acute Care Surgery学会	パネルディス カッション	2016.9.24
19	26分間の開胸心マッサージを経て、良好な神経学的予後を得た鈍的多発外傷の1例	成田麻衣子	第8回日本Acute Care Surgery学会	パネルディス カッション	2016.9.24
20	救急科専門医がMCにおいて果たすべき役割とは何か?	中尾彰太	第44回日本救急医学会総会	シンポジウム	2016.11.17
21	初心者のための経腸栄養セミナー ～病態別経腸栄養導入のコツ～	泉野浩生	第44回日本救急医学会総会	イブニングセ ミナー	2016.11.18
22	救急医療体制の充実には、救命救急センターを中心としたMCの枠組みを超えた体制整備が必要である	中尾彰太	第44回日本救急医学会総会	シンポジウム	2016.11.18
23	頭部外傷緊急開頭術における緊急大量輸血プロトコル	石井健太	第44回日本救急医学会総会	パネルディス カッション	2016.11.18

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
24	救命救急センターにおけるインシデント報告のフレームワーク分析	小野秀文	第44回日本救急医学会総会	一般演題口演	2016.11.18
25	外傷症例におけるドクターカー運用の在り方	福間 博	第11回日本病院前救急診療医学	ポスター	2016.12.9
26	重症外傷患者救命のための道標 ～外傷外科手術治療戦略(Surgical Strategy and Treatment for Trauma:SSTT)コース	松岡哲也	第22回日本脳神経外科救急学会	特別講演	2017.2.3
27	災害における病院職員招集システム ～Disaster Control System～の開発	山田菜美	第22回日本集団災害医学会	一般演題口演	2017.2.15
28	当院での腹部外傷における止血戦略の検証	林 伸洋	第53回日本腹部救急医学会総会	シンポジウム	2017.3.2
29	骨盤骨折に対するIVRの実際 ～外傷IVRを理解する～	井戸口孝二	第53回日本腹部救急医学会総会	特別企画	2017.3.2
30	救命救急センターと周産期センターのコラボレーションとチームワーク	成田麻衣子	第53回日本腹部救急医学会総会	ワークショップ	2017.3.3
31	救命センターにおける重篤小児集中治療の質	安達晋吾	第44回日本集中治療医学会	シンポジウム	2017.3.10
32	ICUに必要な栄養プロトコールを作成するために	泉野浩生	第44回日本集中治療医学会	ポスター	2017.3.10

(5) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	「急性期の栄養療法の始め方」	泉野浩生	第23回泉州地区NST研究会	2016.11.5

(6) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	CPRの質を上げるために何をすべきか? ～戦略的な視点で見るCPR～	中尾彰太	2nd RUN Meeting	2016.11.26
2	ORION(大阪府救急搬送支援・情報取組・集計分析システム)とは ～その意義と運用状況～	松岡哲也	「ORIONの意義と運用状況について」説明会及び意見交換会	2017.3.9
3	「在宅医療の後方支援体制の整備について」～地域医療構想(ビジョン)の策定を踏まえて～	松岡哲也	第5回泉佐野泉南医師会 在宅医療研修会 ～在宅医療と後方支援病院～	2017.3.11

(7) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	一般演題「病院前外傷診療」	水島靖明	第30回日本外傷学会	2016.5.30
2	一般口演12 四肢外傷④ その他2	松岡哲也	第30回日本外傷学会	2016.5.30
3	感染症・呼吸不全	中尾彰太	第114回近畿救急医学研究会	2016.7.16
4	「急性期医療における心房細動の関わり」	中尾彰太	第17回泉州急性期医療フォーラム	2016.9.24
5	「急性期医療における心房細動の関わり」	中尾彰太	第17回泉州急性期医療フォーラム	2016.9.24
6	重症度・予後評価	松岡哲也 荒川裕貴	第44回日本救急医学会総会	2016.11.17
7	外傷病態	中尾 彰太	第44回日本救急医学会総会	2016.11.17
8	消化管2	水島靖明 跡部かおり	日本救急医学会総会	2016.11.19
9	パネルディスカッション 「地域で創る後方支援体制」～見せましょう!多職種でつなげる連携体制を～	小笠原秀則 松岡哲也	第5回泉佐野泉南医師会 在宅医療研修会 ～在宅医療と後方支援病院～	2017.3.11

研究業績：診療局 薬剤科

(1) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	薬薬連携における残薬調整による医療費削減効果	森朝紀文	第2回日本医薬品安全性学会学術集会(シンポジウム)	口演	2016.7.24
2	救命救急病棟での薬剤師による情報提供の有用性についての検討～注射薬配合変化に関して～	中川貴弘 島田弘子 森朝紀文 萩原文子 河野純子	第26回日本医療薬学会年会	ポスター	2016.9.18
3	大腸癌術後XELOX療法における薬剤師の診察前面談・外来服薬指導がRelative dose intensityに与える効果の検討	西井拓人 中川直樹 中川貴弘 森朝紀文	日本臨床腫瘍薬学会学術大会2017	ポスター	2017.3.18

(2) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	薬薬連携における残薬調整による医療費削減効果～調剤薬局との比較～	森朝紀文	第38回南大阪呼吸器レクチャー	2017.2.9

(3) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	薬に関する基礎知識	森朝紀文	大阪大学医療通訳養成コース	2016.6.25
2	化学療法 きほんの「き」	西井拓人	大阪府済生会富田林病院講演会	2016.8.15
3	薬薬連携における残薬調整による医療費削減効果	森朝紀文	大阪府病院薬剤師会 2016年度第2回 チーム医療推進研修会	2016.11.30
4	薬薬連携における残薬調整による医療費削減効果 ～調剤薬局との比較検討～	森朝紀文	大阪府病院薬剤師会第1支部 2016年 度第2回研修会	2017.3.13

(4) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	治験について	伊藤健二	多職種カンファレンス	2016.9.7
2	がん化学療法概論	西村重希子	多職種カンファレンス	2017.2.1
3	医薬品による事故をなくすために～過去の事例から学ぶ～	森朝紀文	医療安全講習会	2017.3.23

(5) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	集中治療室におけるチーム医療の実践	森朝紀文	2016年度 第1回チーム医療推進研修会 (大阪府病院薬剤師会)	2016.7.22
2	2025年へのカウントダウン～薬剤師の新たな役割 ～(ランチョンセミナー)	森朝紀文	第38回日本病院薬剤師会近畿学術大会	2017.2.27
3	治験チーム(研究倫理を中心に)	森朝紀文	2016年度 第3回チーム医療推進研修会 (大阪府病院薬剤師会)	2017.3.29

研究業績：診療局 放射線技術科

(1) 和文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	放射線画像の保管管理における外部 保存の利用状況の調査と問題点の検討	上杉正人 小西康彦 池田龍二 藤井友広 加藤雅士 伊藤暢宏 加藤伸一 続橋順市	日本診療放射線技師会誌	7	56-60	2016
2	システムトラブルシューティングの知識 (画像とディスクに関するトラブルシュー ティング)	小西康彦	日本診療放射線技師会誌	10	66-70	2016
3	周波数強調処理	西池成章	CR 超基礎講座 改訂 医 療科学社			2016
4	救急画像診断の工夫と可能性 造影CT検査, とくにプロトコルについて	坂下恵治 西池成章 藤村一郎 相良健司 松岡哲也	救急医学 へるす出版	第40巻 第10号	1268 -1276	2016
5	II章 救急撮影 3.外傷診療における 撮影の実際 1)救急撮影の基礎 7 外傷全身CT 3)胸部・心外傷患者撮影の基本	藤村一郎 横田順一朗 中島康雄 田中善啓 長岡 学 上野登喜生 米田 靖 船曳知弘 坂下恵治 他	改訂第2版 救急撮影ガイド ライン 日本救急撮影技師 認定機構監修		129-134 154-160	2016
6	第10章 救急領域	藤村一郎 市川勝弘 辻岡勝美 西村英治 山口 功 石田智一 小林隆幸 松原孝祐 庄司友和 他	X線CT認定技師講習会テキ スト第4版 日本X線CT専門 技師認定機構監修		244-263	2016

(2) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	外傷のCT撮影における画像再構成法と 溢血描出能に関する検討	藤村一郎	第19回日本臨床救急医学会	ポスター	2016.5.14
2	医療画像情報精度管理士分科会の役割	小西康彦	第32回日本診療放射線技師学術大会	口演	2016.9.17
3	外国人受け入れ施設における取り組み	池本達彦	第32回日本診療放射線技師学術大会	口演	2016.9.17
4	教育委員会企画② 救急撮影セミナー	西池成章	第44回日本放射線技術学会秋季学術大会	口演	2016.10.13
5	エビデンスから考える外傷全身CT撮影	西池成章	第44回日本放射線技術学会秋季学術大会	口演& ポスター	2016.10.14
6	4ch小型フレキシブルコイルを用いた 3D-FSEシーケンスでの折り返しアーチフ ェクト低減による画像改善について	常玄大輔	大阪府診療放射線技師会 第26回学術大 会	口演	2016.11.20

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
7	上肢3Dシーケンス撮像における折り返しアーチファクト軽減についての取り組み	常玄大輔	2016年度近畿地域診療放射線技師会学術大会	口演	2017.2.17
8	一類感染症病室X線撮影におけるFPDシステムの有用性	飯塚明寿	第32回日本環境感染学会総会・学術集会	口演	2017.2.25
9	放射線レポートの依頼医による確認システムについて	小西康彦	第10回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口演	2017.3.4
10	検査内容の簡素化を目的とした心電同期大動脈CT-Angioの造影条件の検証	中平修司	第28回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会	口演	2017.3.11

(3) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	腹部・骨盤部出血における CT画像診断	藤村一郎	第44回CT画像研究会	2016.6.11
2	院内におけるUSBの取り扱い	小西康彦	医用画像管理セミナー in 福岡	2016.6.12
3	「急性腹症を撮る ～依頼に合わせた撮影技術と画像処理でのアピールポイント～」	中平修司	はりまCT研究会	2016.7.16
4	造影検査同意書・問診票の英語対応	池本達彦	診療放射線技師のための英会話研究会	2016.12.3
5	可搬媒体の運用と問題	小西康彦	医用画像管理セミナー in 倉敷	2017.1.29

(4) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	救命救急医療論 救急医療の歴史, 法令, 救急患者に対する対応の基本	藤村一郎	大阪物療大学講義	2016.4.8
2	救命救命対応検査学 救急医学と救急医療システム	相良健司	大阪行岡医療専門学校長柄校講義	2016.4.22
3	救命救急医療論 外傷初期診療と一般撮影の役割	西池成章	大阪物療大学講義	2016.4.22
4	救命救急医療論 外傷の一般撮影(胸腹部, 骨盤)	西池成章	大阪物療大学講義	2016.4.29
5	救命救命対応検査学 画像診断の適応と順序	相良健司	大阪行岡医療専門学校長柄校講義	2016.5.6
6	救命救命対応検査学 各種画像診断の特性	相良健司	大阪行岡医療専門学校長柄校講義	2016.5.18
7	救命救命対応検査学 外傷各論(胸部・腹部)	相良健司	大阪行岡医療専門学校長柄校	2016.5.20
8	救命救急医療論 外傷の一般撮影(頭頸部)	西池成章	大阪物療大学講義	2016.5.20
9	救命救命対応検査学 外傷各論(骨盤・頭部)	相良健司	大阪行岡医療専門学校長柄校講義	2016.5.24
10	救命救命対応検査学 内因性疾患	相良健司	大阪行岡医療専門学校長柄校講義	2016.5.27
11	救命救急医療論 外傷の一般撮影(四肢・感染対策)	西池成章	大阪物療大学講義	2016.5.27
12	救命救急医療論 外傷のCT撮影(胸腹部, 骨盤)	藤村一郎	大阪物療大学講義	2016.6.3
13	救命救急医療論 外傷のCT撮影(頭頸部, 全身)	藤村一郎	大阪物療大学講義	2016.6.10
14	救急CT撮影と画像構築の実際	西池成章	第2回救急撮影セミナー	2016.6.12
15	救命救急医療論 脳卒中と急性疾患のCT撮影	藤村一郎	大阪物療大学講義	2016.6.17
16	救急	藤村一郎	第20回X線CT認定技師講習会	2016.6.19
17	救命救急医療論 重傷患者管理の基礎	相良健司	大阪物療大学講義	2016.6.24
18	救命救急医療論 救命救急医療における血管撮影検査の目的・意義について	相良健司	大阪物療大学講義	2016.7.1
19	救命救急医療論 血管撮影装置, 周辺機器やデバイスについて 血管の解剖について	相良健司	大阪物療大学講義	2016.7.8
20	救命救急医療論 血管性病変について IVRについて	相良健司	大阪物療大学講義	2016.7.15
21	救命救急医療論 災害医療の原則とトリアージの概念について	相良健司	大阪物療大学講義	2016.7.22
22	医用画像情報とその管理について	小西康彦	診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会(西地区)	2016.9.23
23	基礎原理	常玄大輔	診療放射線技師基礎技術講座「MRI検査」	2016.10.23
24	放射線技術学実習Ⅲ X線撮影技術学実習(3):X線CT検査	藤村一郎	大阪物療大学講義	2016.11.5
25	放射線技術学実習Ⅲ X線撮影技術学実習(3):X線CT検査	藤村一郎	大阪物療大学講義	2016.11.19
26	放射線技術学実習Ⅲ X線撮影技術学実習(3):X線CT検査	藤村一郎	大阪物療大学講義	2016.12.3
27	救急CT撮影と画像構築の実際	西池成章	第3回救急撮影セミナー	2016.12.4
28	治療につなげる救急撮影技術	西池成章	日本放射線技術学会 関東部会 CTGUMセミナー 基調講演	2016.12.11
29	放射線技術学実習Ⅲ X線撮影技術学実習(3):X線CT検査	藤村一郎	大阪物療大学講義	2017.1.14
30	「乳がん! 診療放射線技師の果たす役割」	株崎律子	2016年度大臨技・大放技合同フォーラム	2017.1.21

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
31	救急CT撮影における基礎理論－撮影技術と臨床技術－	藤村一郎	日本放射線技術学会近畿支部第60回学術大会	2017.1.28
32	胸部、整形、救急 撮影の基本から解剖、読影にいたるまで「救命救急診療の現状」	相良健司	大阪府診療放射線技師会 明日から役立つセミナー 講演	2017.3.4

(5) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	当院における被ばくの管理について	安永桂介	放射線教育訓練(新規採用者対象)	2016.4.1
2	業務調整員って何?DMAT活動って何?	相良健司	教育研修委員会 多職種カンファレンス	2016.4.6
3	他部門との連携(放射線部門)患者の安全を守るために	小西康彦	新規採用者研修	2016.4.7
4	脳卒中のCT画像診断	藤村一郎	教育研修委員会 多職種カンファレンス	2016.7.6
5	サルでもわかる放射線被ばくのい・ろ・は	相良健司	第3回IVR勉強会	2016.7.26
6	心臓CTについて	中平修司	教育研修委員会 多職種カンファレンス	2016.10.19
7	急性期脳梗塞の検査および画像について	伊東大佑	教育研修委員会 多職種カンファレンス	2016.11.21
8	低線量被ばくについて	安永桂介	第1回放射線教育訓練(放射線業務従事者対象)	2016.12.20
9	低線量被ばくについて	安永桂介	第2回放射線教育訓練(放射線業務従事者対象)	2017.2.10
10	放射線治療について	前田直子	教育研修委員会 多職種カンファレンス	2017.2.15

(6) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	第66回撮影部会 テーマB CT	西池成章	日本放射線技術学会 第72回総会学術大会	2016.4.17
2	日韓合同シンポジウム「医療安全」	小西康彦 Chang Kwanghyun	日本医用画像管理学会 2016年度第1回学術大会(東京)	2016.4.23
3	救急初療における画像診断の進歩	西池成章	第19回日本臨床救急医学会	2016.5.13
4	韓日合同シンポジウム「医療安全」	Lee Jinwook 小西康彦	大韓医療映像情報管理学会 第14回春季学術大会(釜山)	2016.5.28
5	口演セッション「実践英会話」	池本達彦	診療放射線技師のための英会話研究会	2016.6.4
6	講演「必須CTをC(死)のT(トンネル)にしない～患者を救命できる技師になる4つの心得～」	中平修司	第44回CT画像研究会	2016.6.11
7	診療放射線技師による医用画像情報システム管理	小西康彦	日本医用画像管理学会 2016年度第2回学術大会(岐阜)	2016.9.17
8	医療安全②	西池成章	第32回日本診療放射線技師会	2016.9.17
9	特別講演「世界のカテ室を訪問して～他国でのコメディカルの役割」	中平修司	第2回Osaka Heart Conference	2016.10.1
10	第67回撮影部会A ワークショップ 画像を見る！見極める！	西池成章	第44回日本放射線技術学会秋季学術大会	2016.10.15
11	一般撮影装置におけるトモシンセシスのご紹介	増田慎吾	第73回関西地区CR研究会	2016.11.22
12	FPDの画像品質管理について	増田慎吾	第73回関西地区CR研究会	2016.11.22
13	口演セッション「実践英会話」	池本達彦	診療放射線技師のための英会話研究会	2016.12.3

研究業績：診療局 臨床工学科

(1) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	リード穿孔を来たした際のSTモニタリングデータが得られた1症例【優秀演題表彰】	中谷暁洋	第16回日本心臓植込みデバイスフォローアップ研究会	口頭	2016.6.25
2	南泉州地域における透析施設の連携とこれから	奥田重之	南大阪 Dialysis Meeting	口頭	2016.7.13
3	当院の呼吸デバイスの選択について	岩本匡史	第3回泉州呼吸ケアセミナー	口頭	2016.9.24
4	支援透析を見据えた施設連携～南泉州エリア～	奥田重之	災害対策後援会	口頭	2016.10.20
5	災害時支援透析を見据えた施設間連携の取り組み	奥田重之	第23回近畿臨床工学会	口頭	2016.11.12
6	透析施設による災害対策を中心とした地域連携	奥田重之	第10回日本医療マネジメント学会	口頭	2017.3.4
7	地域連携による災害対策の構築～南泉州地域の取り組み～	奥田重之	第88回大阪透析研究会	口頭	2017.3.5

(2) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	多様化するデバイス業務とデータベースの役割	中谷暁洋	第6回近畿CEデバイスカンファレンス	2016.9.10

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
2	心肺停止症例に対する体外循環式心肺蘇生法 (ECPR)	中谷暁洋	第23回近畿臨床工学会	2016.11.12
3	臨床におけるECMOの実際	中谷暁洋	TERUMO・ECMOセミナー	2017.1.28

(3) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	新入職員輸液ポンプ研修	河野栄治	新入職員研修	2016.4.8
2	呼吸器装着中の患者の看護	岩本匡史	ラダー I 研修	2016.7.15
3	呼吸器装着中の患者の看護	岩本匡史	ラダー II 研修	2016.8.23
4	<医療機器>NPPV	岩本匡史	院内エキスパートコース	2016.8.24
5	<医療機器>酸素器具取扱い	岩本匡史	院内エキスパートコース	2016.9.14
6	ペースメーカーの基礎知識	中谷暁洋	ICU/CCU新人看護師勉強会	2016.9.21
7	脳卒中症例の呼吸管理	岩本匡史	多職種カンファレンス 定例会	2016.11.21
8	心臓植込みデバイス	中谷暁洋	院内エキスパートコース	2016.12.6
9	条件付きMRI対応デバイス	中谷暁洋	放射線部看護師勉強会	2016.12.9
10	<医療機器>人工呼吸器	岩本匡史	院内エキスパートコース	2016.12.14
11	ネーザルハイフローについて	岩本匡史	多職種カンファレンス	2017.3.2

(4) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	Reactive ATPを始めよう	中谷暁洋	Medtronic座談会	2016.6.4
2	第8回PUSCAR定例会・大会長	中谷暁洋	第8回大阪大学心臓血管外科関連施設体外循環技士懇話会 (PUSCAR) 定例会	2016.12.18

研究業績：共同運営部門 感染症センター

(1) 国際学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	The Infectious Disease Emergency Response System in Japan	倭 正也	Gyeonggi Province June 2, 2016 International Conference on Response to Infectious Disease	シンポジウム	2016.6.1-4
2	Dealing with serious contagious viral infection	倭 正也	19th APCCCM 2016 combine with the 2nd Joint Meeting of JSICM & TSCCM 7th Critical Care Conference in Thailand 24th TSCCM Annual Meeting 2016	シンポジウム	2016.10.12-15

(2) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	一類感染症病室X線撮影におけるFPDシステムの有用性	飯塚明寿 山内真澄 深川敬子 倭 正也	第32回日本環境感染学会総会・学術集会 感染制御学の基本と革新ー感染症拡大を防ぐー	口演	2017.2.25

(3) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	特別講演 「救急分野における感染対策の重要性と課題」～特定感染症指定医療機関としての当院の取り組みも含めて～	倭 正也	第4回おいでまっし感染対策研究会～救急分野における感染対策～	2016.6.17
2	新興感染症に備える	倭 正也	G7神戸保健大臣会合関連 市民フォーラム「感染症との闘い」	2016.9.3
3	救急分野における感染対策の重要性と今後の課題 ～特定感染症指定医療機関としての新興感染症への備えを含めて～	倭 正也	和歌山院内感染対策セミナー 済生会和歌山病院	2016.11.30

(4) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	EVD集中治療 血液浄化療法	倭 正也	一類感染症対策ワークショップ「一類感染症受け入れ態勢整備研修会」 国立国際医療研究センター病院	2016.11.14
2	EVD集中治療 血液浄化療法	倭 正也	一類感染症対策ワークショップ「一類感染症受け入れ態勢整備研修会」 りんくう総合医療センター	2016.11.29
3	新興・再興感染症	倭 正也	大阪医科大学医学部 講義	2017.2.20

(5) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	感染アドバンス「感染症の基礎知識」	倭 正也	感染エキスパートコース	2016.9.1
2	感染アドバンス「感染症センター」	倭 正也	感染エキスパートコース	2016.11.17

研究業績：共同運営部門 中央検査部

(1) 和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	チーム医療における臨床検査技師の付加価値とは 救急医療を中心に	福岡京子	医学書院 検査と技術 オピニオン	1	72-73	2017

(2) 国内学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	超音波検査にて空腸病変が評価可能であった 多発性節外性悪性リンパ腫の一例	中村雅美	日本超音波医学会 第89回学術集会	ポスター	2016.5.27
2	外傷性脾仮性動脈瘤の超音波検査により 詳細な経過観察が可能であった1例	中村雅美	日本超音波医学会 第43回関西地方 学術集会	口演	2016.10.26
3	迅速簡便な血中アルコール濃度推定子規の検討	福岡京子	第19回臨床救急医学会総会・学術集会	口演	2016.5.14

(3) 研究会・講演会

番号整理	演題	発表者	研究会名	年月日
1	PH+ALLの1症例	米本隆浩	血液標本検討会	2016.7.21
2	1up 細菌・グラム染色対策	福岡京子	第2回 緊急検査部門定期講演会	2016.9.10
3	CMLの1症例	井上早紀	血液形態学シニア	2016.10.6
4	非浸潤性乳管癌	中村雅美	東芝メディカル The best image2016	2016.12.18
5	末梢血液像・骨髄像の見方・考え方	米本隆浩	近畿臨床検査技師会 血液研修会	2017.2.4
6	第1回 関西Aplio club	中村雅美	非浸潤性乳管癌	2017.2.11

(4) 学術講演・講義

番号整理	演題	発表者	学術講演会名	年月日
1	骨髄像の見方	米本隆浩	大阪府臨床検査技師会 検鏡講義	2016.6.24
2	臨床検査総論	三ノ浦保彦	泉佐野泉南医師会看護学校 講義	2016.11.16
3	一般検査	田川次郎	泉佐野泉南医師会看護学校 講義	2016.11.30
4	血液学的検査	米本隆浩	泉佐野泉南医師会看護学校 講義	2016.12.21
5	化学・免疫学的検査	坂本秀行	泉佐野泉南医師会看護学校 講義	2017.1.11
6	生理機能検査	中村雅美	泉佐野泉南医師会看護学校 講義	2017.1.18
7	微生物学的検査	福岡京子	泉佐野泉南医師会看護学校 講義	2017.1.25
8	病理学的検査	小島義忠	泉佐野泉南医師会看護学校 講義	2017.2.1

(5) 院内研究活動

番号整理	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	マリアについて	米本隆浩	多職種カンファレンス	2016.6.15
2	微生物の基礎知識	須合恵美	エキスパートコース講義(感染)	2016.7.21
3	クリニカルレベルアップセミナー 第194回臨床集談会	栄川智子 中村雅美 藤原理恵 玉野志麻	腹部超音波検査のABC 講義・実技担当	2016.7.28
4	外傷性脾仮性動脈瘤の1症例	中村雅美	中央検査部内研修会	2016.9.16
5	CML移行期の1症例	井上早紀	中央検査部内研修会	2016.9.23
6	病理検査部門における臨床検査技師の役割	伊藤歌奈己	多職種カンファレンス	2016.10.5
7	心エコー 勉強会	栄川智子 中村雅美	研修医のための心エコー講義 実技	2016.10.6
8	「クリオプレシテート」について	宮本志保	中央検査部内研修会	2016.10.14
9	原発性副甲状腺機能亢進症の1例	今濱麻美	中央検査部内研修会	2016.10.28
10	心エコー 勉強会	栄川智子 中村雅美	研修医のための心エコー講義 実技	2016.11.10
11	「NT-Pro-BNP」について	坂本秀行	中央検査部内研修会	2016.11.11
12	多職種カンファレンス 定例会 第三回	中村雅美	脳卒中多職種による急性期脳梗塞患者 診療への関わり	2016.11.21
13	移植患者への輸血手順	原 克則	中央検査部内研修会	2016.11.25
14	血液貧血症候群がみられた1症例	川崎昌彦	中央検査部内研修会	2016.12.16
15	クリニカルレベルアップセミナー 第198回臨床集談会	栄川智子 中村雅美	心臓超音波検査のABC 講義・実技担当	2016.12.22
16	心エコー 勉強会	栄川智子 中村雅美	7階山側病棟看護師への心エコー講義	2016.12.27
17	DCISが疑われた1症例	三ノ浦保彦	中央検査部内研修会	2017.1.13
18	内耳炎を伴った急性中耳炎の1症例	雛元良枝	中央検査部内研修会	2017.1.27
19	胸水材料で診断されたリンパ節腫脹を伴わな い悪性リンパ腫の1症例	三ノ浦保彦	中央検査部内研修会	2017.2.10
20	「エンドバット2000」について	大重友紀	中央検査部内研修会	2017.2.24

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
21	耐性菌報告までの道のり こんな風に検査しています	福岡京子	多職種カンファレンス	2017.3.15
22	「経食道心臓エコー検査」について	栄川智子	中央検査部内研修会	2017.3.17

(6) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	血液シンポジウム	米本隆浩	近畿臨床衛生検査技師学会	2016.5.15

研究業績：共同運営部門 救急診療部

(1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Can Early Aggressive Administration of Fresh Frozen Plasma Improve Outcomes in Patients with Severe Blunt Trauma?-A Report by the Japanese Association for the Surgery of Trauma	Akiyoshi Hagiwara, Shigeaki Kushimoto, Tetsuya Matsuoka and et al.	SHOCK	45(5)	495-501	2016
2	Development of a Prehospital Vital Signs Chart Sharing System	Taka-aki Nakada, Naohisa Masunaga, Tetsuya Matsuoka and et al.	Am J Emergency Medicine	34	88-92	2016
3	Fibrinogen Level on Admission is a Predictor for Massive Transfusion in Patients with Severe Blunt Trauma: Analyses of a retrospective Multicenter Observational Study	Yoshihiko Nakamura, Shigeaki Kushimoto, Tetsuya Matsuoka and et al.	Injury	48(3)	674-679	2017

(2) 和文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	地域医療と救急医療	松岡哲也	救急医学	40(13)	1601-1603	2016
2	病院前外傷診療における覚知時ドクターカー出動要請システムの現状と課題	松浦治人 渡部広明 中尾彰太 木村信広 松岡哲也	日臨救急医学会誌	19	559-565	2016
3	当院における成人鈍的腹部外傷の止血戦略—開腹術とIVRどちらを優先するか—	中尾彰太 井戸口孝二 比良英司 水島靖明 松岡哲也 渡部広明	JJACS	6	14-19	2016

(3) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会名	発表形式	年 月 日
1	地域医療構想の策定は、適正な救急医療体制の構築に通ずる	松岡哲也 中尾彰太 水島靖明	第19回日本臨床救急医学会総会	パネルディスカッション	2016.5.13
2	重症外傷患者救命のための道標—外傷外科手術治療戦略(Surgical Strategy and Treatment for Trauma:SSTT)コース—	松岡哲也	第22回日本脳神経外科救急学会	特別講演	2017.2.3

(4) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	在宅医療の後方支援体制の整備について～地域医療構想(ビジョン)の策定を踏まえて～	松岡哲也	第5回泉佐野泉南医師会 在宅医療研修会 ～在宅医療と後方支援病院～	2017.3.11

(5) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	口演:四肢外傷④ その他2	松岡哲也	第30回日本外傷学会総会	2016.5.30
2	口演:重症度・予後評価	松岡哲也	第44回日本救急医学会総会	2016.11.17
3	<パネルディスカッション>『地域で創る後方支援体制』～見せましょう!多職種でつなげる連携体制を～	松岡哲也 小笠原秀則	第5回泉佐野泉南医師会 在宅医療研修会 ～在宅医療と後方支援病院～	2017.3.11

研究業績：共同運営部門 ICU/CCU 部

(1) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会名	発表形式	年 月 日
1	当センターの看護師教育の質向上への取り組みと今後の課題	川島孝太	第10回医療マネジメント学会大阪支部 学術集会	口演	2017.3.4

(2) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	心臓血管外科術後のICU入室患者における術後せん妄の発症要因	○田村亜希子 上田平美月 松裏 豊	2016年度院内看護研究発表会	2017.2.11

研究業績：共同運営部門 <周産期センター>産科医療センター

(1) 英文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	long-term survival in small-cell carcinoma of the endometrium with liver and brain metastases.	Masaaki Sawada, Shinya Matsuzaki, Kiyoshi Yoshino, Yutaka Ueda, <u>Susumu Yoshida</u> , Tadashi Kimura, <u>Kazuhide Ogita</u>	Anti-cancer drugs.	27(2)	138-143	2016 Feb
2	Notching in the Umbilical Artery Doppler Waveform in the Absence of Cord and Placental Structural Abnormalities: A Case of Massive Fetomaternal Hemorrhage	Mai Nishimura, Ayaka Nakashima, <u>Kayoko Shikado</u> , <u>Kazuhide Ogita</u>	J Clin Gynecol Obstet. 2016	5(1)	50-52 doi: http:// dx.doi.o rg/10.1 4740/jc go386w	
3	A phase II study of postoperative concurrent carboplatin and paclitaxel combined with intensity-modulated pelvic radiotherapy followed by consolidation chemotherapy in surgically treated cervical cancer patients with positive pelvic lymph nodes.	Seiji Mabuchi, Fumiaki Isohashi, Takeshi Yokoi, Masahiko Takemura, Kiyoshi Yoshino, Yasuhiko Shiki, Kimihiro Ito, Takayuki Enomoto, <u>Kazuhiko Ogawa</u> , Tadashi Kimura	Gynecologic Oncology	141(2)	240-246	
4	Rare hydrosalpinx in a sexually inactive adolescent successfully treated with laparoscopy	Masumi Takeda, Takashi Miyatake, Asuka Tanaka, Serika Kanao, Ai Miyoshi, Mayuko Mimura, Masaaki Nagamatsu, Takeshi Yokoi	Gynecology and Minimally Invasive Therapy		doi.org/ 10.1016 /j.gmit. 2016.08 .005	
5	Gemella morbillorum bacteremia following total laparoscopic hysterectomy for uterine corpus cancer	Ai Miyoshi, Takashi Miyatake, Mai Nishimura, Asuka Tanaka, Serika Kanao, Masumi Takeda, Mayuko Mimura, Masaaki Nagamatsu, Takeshi Yokoi	Gynecology and Minimally Invasive Therapy		doi.org/ 10.1016 /j.gmit. 2016.10 .001	
6	Perimenopausal invasive hydatidiform mole treated by total abdominal hysterectomy followed by chemotherapy	Ayaka Nakashima, Ai Miyoshi, Takashi Miyatake, <u>Kazuhide Ogita</u> , Takeshi Yokoi	Journal of Surgical Case Reports	9	1-4	

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
7	Delayed Ureteral Insufficiency After Ureteral Obstruction During Total Laparoscopic Hysterectomy : Utility of Cystoscopy for the Intraoperative Detection of Obstruction, and for the Avoidance of Postoperative Surgical Intervention	Takashi Miyatake, Takeya Hara, Shinnosuke Komiya, Naoko Komura, Asuka Tanaka, Serika Kanao, Masumi Takeda, Ai Miyoshi, Mayuko Mimura, Masaaki Nagamatsu, Kazuhide Ogita, Takeshi Yokoi	J Clin Gynecol Obstet	5(1)	41-44	
8	Rare Primary Adenocarcinoma of the Broad Ligament : Report of Two Cases and a Literature Review	Ai Miyoshi, Takashi Miyatake, Takeya Hara, Shinnosuke Komiya, Naoko Komura, Asuka Tanaka, Serika Kanao, Masumi Takeda, Mayuko Mimura, Masaaki Nagamatsu, Masaru Yamasaki, Takeshi Yokoi	International Journal of Surgical Pathology	24(5)	436-442	

(2) 和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	卵巣原発を疑われた大網成熟嚢胞性奇形腫の1例	橋村茉莉子 澤田真明 竹田満寿美 三好 愛 宮武 崇 三村真由子 長松正章 横井 猛	産婦の進歩	68(1)	29-35	
2	セレンディップの3人の王子	荻田和秀	香川大学医学部医学科同窓会 讀樹會	第51号	20-21	2016
3	寄稿特集 漫画で探す、あなたのキャリア 『コウノドリ』	荻田和秀	週刊医学会新聞	第3161号	3	2016
4	死戦期帝王切開	後藤摩耶子 荻田和秀 渡部広明 松岡哲也	周産期医学 母体・胎児蘇生:分娩時の急変にどう対応するか	46(4)	475-481	2016
5	胎盤早期剥離後の緊急帝王切開	中島文香 荻田和秀	臨床助産テキスト 第2巻 分娩		126-132	2016
6	産褥期のフィジカルサイン	串本卓哉 荻田和秀	臨床助産テキスト 第3巻 産褥		22-30	2016

(3) 国際学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	A report of laparoscopic surgery for early stage endometrial cancer in our hospital.	Takeya Hara, Ai Miyoshi, Nao Wakui, Asuka Tanaka, Serika Kanao, Hirokazu Naoi, Masumi Takeda, Mayuko Mimura, Masaaki Nagamatsu, Takeshi Yokoi	2016 APAGE & TAMIG Annual Congress	ポスター	2016.11.4
2	Full-term delivery in the Herlyn-Werner-Wunderlich syndrome after laparoscopic surgery.	Ai Miyoshi, Nao Wakui, Takeya Hara, Serika Kanao, Hirokazu Naoi, Masumi Takeda, Mayuko Mimura, Masaaki Nagamatsu, Takeshi Yokoi	2016 APAGE & TAMIG Annual Congress	ポスター	2016.11.4

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
3	The treatment of GnRH agonist before TLH can decrease the postoperative complications.	Nao Wakui, Ai Miyoshi, Takeya Hara, Asuka Tanaka, Serika Kanao, Hirokazu Naoi, Masumi Takeda, Mayuko Mimura, Masaaki Nagamatsu, Takeshi Yokoi	2016 APAGE & TAMIG Annual Congress	ポスター	2016.11.4
4	Case report of a rare pure uterine lipoma treated by laparoscopic hysterectomy.	Sseika Kanao, Hirokazu Naoi, Masumi Takeda, Ai Miyoshi, Mayuko Mimura, Masaaki Naganatsu, Takeshi Yokoi	2016 APAGE & TAMIG Annual Congress	ポスター	2016.11.4

(4) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	Clinical Examinations on a delivery of placenta and its outcomes	Ayaka Nakashima, Eri Fujikawa, Mai Nishimura, Takuya Kushimoto, Takahide Maenaka, Toshihiro Kitai, Mayako Goto, Susumu Yoshida, Osamu Sato, Kayako Shikado, Takeshi Yokoi, Kazuhide Ogita	第68回日本産科婦人科学会学術講演会	ポスター	2016.4.22
2	胎盤内巨大絨毛膜下血腫(Breus' mole)に伴った重度胎児発育不全の2症例	北井俊大 藤川恵理 中島文香 西村真唯 串本卓哉 前中隆秀 後藤摩耶子 吉田 晋 佐藤 敦 鹿戸佳代子 横井 猛 荻田和秀	第68回日本産科婦人科学会学術講演会	ポスター	2016.4.23
3	当院における子宮内膜増殖症症例の後方視的 検討	宮武 崇 原 武也 甲村奈緒子 田中あすか 小宮慎之介 金尾世里加 竹田満寿美 三好 愛 三村真由子 長松正章 荻田和秀 横井 猛	第68回日本産科婦人科学会学術講演会	ポスター	2016.4.24
4	当院で経験した卵巢癌肉腫の1例	三村真由子 原 武也 田中あすか 甲村奈緒子 小宮慎之介 金尾世里加 竹田満寿美 三好 愛 宮武 崇 長松正章 荻田和秀 横井 猛	第68回日本産科婦人科学会学術講演会	ポスター	2016.4.24
5	閉経期前後の円錐切除後の頸管狭窄に関する後方視的検討	竹田満寿美 原 武也 甲村奈緒子 田中あすか 小宮慎之介 金尾世里加 三好 愛 宮武 崇 三村真由子 長松正章 荻田和秀 横井 猛	第68回日本産科婦人科学会学術講演会	ポスター	2016.4.23
6	当院における子宮内膜癌205例についての検討	金尾世里加 原 武也 甲村奈緒子 田中あすか 小宮慎之介 竹田満寿美 三好 愛 宮武 崇 三村真由子 長松正章 荻田和秀 横井 猛	第68回日本産科婦人科学会学術講演会	ポスター	2016.4.24

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
7	当科におけるSSPCと進行漿液性卵巣癌の予後比較	三好 愛 原 武也 甲村奈緒子 田中あすか 小宮慎之介 竹田満寿美 宮武 崇 三村真由子 荻田和秀 長松正章 横井 猛	第68回日本産科婦人科学会 学術講演会	ポスター	2016.4.24
8	当院における子宮平滑筋肉腫6例の検討	田中あすか 原 武也 甲村奈緒子 小宮慎之介 金尾世里加 竹田満寿美 三好 愛 宮武 崇 三村真由子 長松正章 荻田和秀 横井 猛	第68回日本産科婦人科学会 学術講演会	ポスター	2016.4.24
9	当科での手術部位感染 (SSI: Surgical Site Infection) に対する検討と対策	原 武也 甲村奈緒子 田中あすか 小宮慎之介 金尾世里加 竹田満寿美 三好 愛 三村真由子 宮武 崇 長松正章 荻田和秀 横井 猛	第68回日本産科婦人科学会 学術講演会	ポスター	2016.4.24
10	子宮内避妊器具の長期留置による骨盤放線菌感染症の1例	甲村奈緒子 原 武也 田中あすか 小宮慎之介 竹田満寿美 三好 愛 宮武 崇 三村真由子 長松正章 荻田和秀 横井 猛	第68回日本産科婦人科学会 学術講演会	ポスター	2016.4.24
11	CT検査でFitz-Hugh-Curtis症候群が疑われ診断に至った産褥1か月の右上腹痛症例	小宮慎之介 宮武 崇 原 武也 田中あすか 甲村奈緒子 金尾世里加 竹田満寿美 三好 愛 三村真由子 長松正章 荻田和秀 横井 猛	第68回日本産科婦人科学会 学術講演会	ポスター	2016.4.23
12	帝王切開癒痕部妊娠5症例の検討	河田真由子 中島文香 串本卓哉 前中隆秀 北井俊大 後藤摩耶子 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 鹿戸佳代子 横井 猛 荻田和秀	第68回日本産科婦人科学会 学術講演会	ポスター	2016.4.24
13	当院における子癇発作をきたした4症例とP/C比の検討	藤川恵理 西村真唯 中島文香 串本卓哉 前中隆秀 北井俊大 後藤摩耶子 吉田 晋 佐藤 敦 鹿戸佳代子 横井 猛 荻田和秀	第68回日本産科婦人科学会 学術講演会	ポスター	2016.4.24
14	2014年当センターにおける最重症妊婦症例22例の検討	串本卓哉 河田真由子 中島文香 西村真唯 前中隆秀 北井俊大 後藤摩耶子 吉田 晋 佐藤 敦 鹿戸佳代子 横井 猛 荻田和秀	第68回日本産科婦人科学会 学術講演会	ポスター	2016.4.23
15	当施設における周産期重症敗血症および敗血症性ショック症例の検討	前中隆秀 後藤摩耶子 河田真由子 中島文香 西村真唯 串本卓哉 北井俊大 吉田 晋 佐藤 敦 鹿戸佳代子 横井 猛 荻田和秀	第68回日本産科婦人科学会 学術講演会	ポスター	2016.4.24
16	当院における出生前の胎児推定体重の精度と現状	張 良実 中井祐一郎 小宮慎之介 甲村奈緒子 串本卓哉 後藤摩耶子 吉田 晋 佐藤 敦 鹿戸佳代子 荻田和秀	日本超音波医学会 第89回 学術集会	口演	2016.5.29

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
17	高度肥満症例に対する腹腔鏡下子宮体癌手術後に臍断端出血を来した1例	河田真由子 三好 愛 藤川恵理 西村真唯 中島文香 田中あすか 金尾世里加 竹田満寿美 三村真由子 宮武 崇 長松正章 荻田和秀 横井 猛	第134回近畿産科婦人科学会総会・学術集会	口演	2016.6.4
18	腹腔鏡下子宮体癌術後に胸腹水貯留を伴うGemella morbillorumによる菌血症を認めた1例	藤川恵理 三好 愛 河田真由子 中島文香 西村真唯 田中あすか 金尾世里加 竹田満寿美 宮武 崇 三村真由子 長松正章 荻田和秀 横井 猛	第134回近畿産科婦人科学会総会・学術集会	口演	2016.6.5
19	TLH+BSO後にイレウスを発症した重症子宮内膜症の一例	涌井菜央 三好 愛 原 武也 田中あすか 金尾世里加 直居裕和 竹田満寿美 三村真由子 長松正章 横井 猛	第39回大阪大学産婦人科オープンクリニカルカンファレンス	口演	2016.7.2
20	当科におけるSSPCと進行卵巣漿液性腺癌の予後比較	三好 愛 金尾世里加 竹田満寿美 宮武 崇 三村真由子 長松正章 横井 猛	第58回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	口演	2016.7.8
21	当院における子宮内膜増殖症症例の後方視的検討	宮武 崇 三村真由子 田中あすか 金尾世里加 竹田満寿美 三好 愛 長松正章 横井 猛	第58回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	ポスター	2016.7.8
22	当院における子宮内膜癌205例についての検討	金尾世里加 竹田満寿美 三好 愛 三村真由子 長松正章 横井 猛	第58回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	ポスター	2016.7.8
23	円錐切除後の頸管狭窄に関する後方視的検討	竹田満寿美 金尾世里加 三好 愛 宮武 崇 三村真由子 長松正章 横井 猛	第58回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	ポスター	2016.7.9
24	当院でのITP合併妊娠9例についての検討	河田真由子 中島文香 串本卓哉 前中隆秀 北井俊大 後藤摩耶子 吉田 晋 佐藤 敦 鹿戸佳代子 荻田和秀	第52回日本周産期・新生児医学会学術集会	ポスター	2016.7.17
25	当院での40歳以上の妊婦における周産期リスクに関する検討	原 武也 北井俊大 甲村菜緒子 串本卓哉 前中隆秀 後藤摩耶子 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 瀬戸佳代子 横井 猛 荻田和秀	第52回日本周産期・新生児医学会学術集会	口演	2016.7.17
26	当院における産科大量出血症例の検討 -産科における至適なFFP/RCC比とは-	後藤摩耶子 原 武也 甲村奈緒子 串本卓哉 前中隆秀 北井俊大 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 鹿戸佳代子 荻田和秀	第52回日本周産期・新生児医学会学術集会	口演	2016.7.17
27	当施設における周産期重症敗血症および敗血症性ショック症例の検討	前中隆秀 後藤摩耶子 原 武也 甲村奈緒子 小宮慎之介 串本卓哉 北井俊大 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 鹿戸佳代子 横井 猛 荻田和秀	第52回日本周産期・新生児医学会学術集会	口演	2016.7.18

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
28	当院での若年妊娠(分娩時年齢20歳未満)に関する後方視的検討	北井俊大 原 武也 甲村奈緒子 小宮慎之介 串本卓哉 前中隆秀 後藤摩耶子 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 鹿戸佳代子 横井 猛 荻田和秀	第52回日本周産期・新生児 医学会学術集会	口演	2016.7.18
29	2年半の経過観察中に悪性転化を認めた両側内膜症性嚢胞の1例	涌井菜央	第27回近畿エンドメトリオー シス研究会	口演	2016.8.20
30	性交未経験の女性に発生した卵管留水腫の一例	竹田満寿美 藤川恵理 河田真由子 中島文香 西村真唯 田中あすか 金尾世里加 三好 愛 宮武 崇 三村真由子 長松正章 横井 猛	第56回日本産科婦人科内視 鏡学会学術講演会	口演	2016.9.3
31	腹腔鏡下子宮体癌術後に胸腹水貯留を伴うGemella morbillorum による菌血症を認めた一例	三好 愛 河田真由子 藤川恵理 田中あすか 金尾世里加 竹田満寿美 三村真由子 宮武 崇 長松正章 横井 猛	第56回日本産科婦人科内視 鏡学会学術講演会	口演	2016.9.2
32	腹腔鏡下手術で治療した子宮脂肪腫の一例	金尾世里加 竹田満寿美 三好 愛 三村真由子 宮武 崇 長松正章 横井 猛	第56回日本産科婦人科内視 鏡学会学術講演会	ポスター	2016.9.1-3
33	高度肥満症例に対する腹腔鏡下子宮体癌手術後に膈断端出血を来した1例	田中あすか 涌井菜央 原 武也 金尾世里加 直居裕和 竹田満寿美 三好 愛 三村真由子 長松正章 横井 猛	第56回日本産科婦人科内視 鏡学会学術講演会	ポスター	2016.9.1-3
34	長期間の経過観察中に悪性転化を認めた両側チョコレート嚢胞の一例	涌井菜央	第15回泉州広域母子医療セ ンター症例検討会	口演	2016.9.24
35	当院における癒着症例に対する腹腔鏡治療	原 武也	第15回泉州広域母子医療セ ンター症例検討会	口演	2016.9.24
36	脳梗塞合併妊娠の一例	栗谷佳宏	第15回泉州広域母子医療セ ンター症例検討会	口演	2016.9.24
37	肝機能障害を契機に診断されたサイトメガロウィルス感染合併妊娠の一例	藤城亜貴子	第15回泉州広域母子医療セ ンター症例検討会	口演	2016.9.24
38	婦人科術後リンパ浮腫に対するリンパ浮腫外来の役割について	原 武也 三好 愛 涌井菜央 田中あすか 金尾世里加 直居裕和 竹田満寿美 三村真由子 長松正章 横井 猛	第135回近畿産科婦人科学 会学術集会	口演	2016.10.23
39	当院における早期子宮体癌に対する腹腔鏡下手術に関する検討	直居裕和 涌井菜央 原 武也 田中あすか 金尾世里加 竹田満寿美 三好 愛 三村真由子 長松正章 横井 猛	第39回日本産婦人科手術学 会	口演	2016.11.13
40	新しい帝王切開時子宮切開創縫合方法(Trapezoidal and 3 square縫合)の検討	佐藤 敦	第39回日本産婦人科手術学 会	口演	2016.11.13
41	術前診断が困難であった正常卵巣捻転の1例	涌井菜央 三好 愛 原 武也 田中あすか 金尾世里加 直居裕和 竹田満寿美 三村真由子 長松正章 横井 猛	第28回平地会臨床懇話会 第40回大阪大学産婦人科オ ープクリニカルカンファレンス	口演	2016.11.19
42	死戦期帝王切開術 ～外傷初期診療プロトコル導入および高連携の重要性～	前中隆秀	第120回日本産科麻酔学会 学術集会	シンポ ジウム	2016.11.26
43	当科における婦人科腫瘍手術の現状	横井 猛	第9回泉州地域医療フォー ラム	口演	2016.11.26

(5) 研究会・講演会

番号 整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	東京オベグループ ナースセミナー2016 講演	荻田和秀	東京オベグループ	2016.4.6
2	子育ての奇跡のホルモン	荻田和秀	守口市子育て支援センター	2016.4.13
3	”コウノドリ”から学ぶ 母子保健・地域医療啓発講演会 「コウノドリに見る ここは押さえておこう妊娠・出産～家族・かかりつけ医と共に歩む280日～」	荻田和秀	高松市	2016.5.29
4	周産期における救急疾患の理解と対応	荻田和秀	日総研グループ (株)日総研出版/(財)日本総合研究所	2016.6.19
5	帝王切開手術の基本理解と術後ケアのポイント	荻田和秀	日総研グループ (株)日総研出版/(財)日本総合研究所	2016.9.11
6	帝王切開手術の基本理解と術後ケアのポイント	荻田和秀	日総研グループ (株)日総研出版/(財)日本総合研究所	2016.9.17
7	奇跡のすぐそばにということ ～周産期医療を喋り倒す～	荻田和秀	東北大学医学祭	2016.10.10
8	大阪における最重症妊婦受け入れシステム ～2例の死戦期帝王切開を経験して～	荻田和秀	第10回さいたま赤十字病院 周産期セミナー	2016.10.13
9	製品説明および手技指導	荻田和秀	新潟県若手産婦人科医周産期 内視鏡縫合研究会	2016.11.22-23
10	大阪における最重症妊婦受け入れシステム ～2例の死戦期帝王切開を経験して～	荻田和秀	第12回香川周産期カンファレンス	2016.11.25
11	大阪における最重症妊婦受け入れシステム ～2例の死戦期帝王切開を経験して～	荻田和秀	京都周産期医療懇話会	2016.11.26
12	社会的経済的リスクのある妊婦の包括支援 ～大阪の7年間の調査報告から～	荻田和秀	那賀市町村保健師会	2016.12.21

(6) 学術講演・講義

番号 整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	ドラマ『コウノドリ』を通じて周産期医療の現場を考える	荻田和秀	大阪府医師会	2016.5.21
2	看護にいかす疾病論Ⅱ	吉田 晋	関西医療大学 特別講義	2016.5.26
3	奇跡のすぐそばにということ ～周産期医療を喋り倒す～	荻田和秀	香川大学医学部医学科同窓会	2016.5.28
4	看護にいかす疾病論Ⅱ	吉田 晋	関西医療大学 特別講義	2016.6.2
5	大阪における最重症妊婦受け入れシステム ～2例の死戦期帝王切開を経験して～	荻田和秀	三重大学医学部産科婦人科学	2016.6.23
6	社会的経済的リスクのある妊婦の包括支援 ～大阪の7年間の調査報告から～	荻田和秀	神奈川県産科婦人科医会	2016.7.2
7	compression suture の臨床	荻田和秀	国立循環器病研究センター	2016.8.20

(7) 院内研究活動

番号 整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	講演<出産・妊娠から在宅医療まで> 「コウノドリの実情を知る。妊娠～出産、その後。」	荻田和秀	市民講座	2016.4.2

(8) 座長

番号 整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	障害研修プログラム6P 児童虐待	荻田和秀	日本産科婦人科学会 第68回学術講演会	2016.4.23
2	産科6	荻田和秀	第134回近畿産科婦人科学会学術集会	2016.6.4
3	一般演題(ポスター)口頭発表「胎盤・羊水3」	荻田和秀	第52回日本周産期・新生児医学会学術集会	2016.7.18
4	産科症例	吉田 晋	第15回泉州広域の市医療センター症例検討会	2016.9.24
5	周産期医療と医療安全	荻田和秀	2016年第2回「周産期医療研修会」	2016.9.24

研究業績：共同運営部門 <周産期センター>新生児医療センター

(1) 英文原著、総説、著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Trans fatty acid accumulation in the human placenta.	Wada Y, Yoshida-Yamamoto S, Wada Y, Nakayama M, Mitsuda N, Kitajima H	Journal of Mass Spectrometry	52(3)	139-143	2017

(2) 和文原著、総説、著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	超低出生体重児のモデルケースで学ぶNICUの検査と管理 安定期管理 循環管理と検査(晩期循環不全)	和田芳郎	Neonatal Care	29(6)	523	2016

研究業績：共同運営部門 リハビリテーションセンター

(1) 和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	鈍的外傷患者の重症度は早期離床の開始時期を予測できるか？	大野直紀 藤野文崇 岡田仁志 前山啓介 榎谷昭一	第56回近畿理学療法学会誌	第46号		2016

(2) 国内学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	心不全におけるClinical frailty scaleの入院期使用の有用性	宮本誠一郎	第22回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	ポスター	2016.7.17
2	荷重量変化に対する神経-筋腱の応答	大野直紀 佐野加奈絵 国正陽子 久野峻幸 牧野晃宗 石川昌紀	日本体育学会第67回大会in大阪体育大学	ポスター	2016.8.24-26
3	集中治療領域における理学療法士と作業療法士の介入時期の検討	大野直紀 藤野文崇 岡田仁志 前山啓介 藤本忠寛 榎谷昭一	リハビリテーション・ケア合同研究大会 茨城2016	ポスター	2016.10.27-29
4	人工膝関節置換術後におけるCPMの満足度と必要性の検討	大野直紀 藤野文崇 山川雅史 津野光昭 貴志悠矢 田中 涼 馬部良美 榎谷昭一	リハビリテーション・ケア合同研究大会 茨城2016	ポスター	2016.10.27-29
5	急性期病院でプランター水やりを行うことで笑顔が戻った症例	藤田将敬	第36回近畿作業療法学会	ポスター	2016.11.13
6	目標の共有ができない急性期から、生活行為向上マネジメントを用いた介入経験	○坂口宏彰 安江優美 前山啓介	第36回近畿作業療法学会	ポスター	2016.11.13
7	鈍的外傷患者の重症度は早期離床の開始時期を予測できるか？	大野直紀 藤野文崇 岡田仁志 前山啓介 榎谷昭一	第56回近畿理学療法学会	ポスター	2016.11.26-27
8	鈍的外傷における早期離床遅延の予測因子	大野直紀 石井健太 福岡 博 鄭 賢樹 泉野浩生 水島靖明	第44回日本集中治療医学会	口述	2017.3.8-11

(3) 研究会・講演会

番号整理	演題	発表者	研究会名	年月日
1	新人看護師向け移乗ポジショニング講習会	藤田将敬 瀧口 薫		2016.4.22
2	整腸体操	藤野文崇 黒木真生	生活習慣病予防教室	2016.10.13
3	ウォーキングで健康増進	栗山泰典	シーサイドウォーキング	2016.12.11

(4) 院内研究活動

番号整理	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	作業療法について	安江優美	多職種カンファレンス	2016.5.18
2	DVTの予防と対策	大野直紀	救命診療科勉強会	2016.6.30 2016.7.11
3	高次脳機能障害と日常生活動作	藤田将敬 黒木真生	脳エキスパート	2016.8.15
4	救命救急センターにおけるリハビリテーションの実際	大野直紀 石井健太 切詰和孝	多職種カンファレンス	2016.11.2
5	サルコペニアと嚥下障害	宮本誠一郎 高田晃宏 中口郁夫	NST勉強会	2017.2.16
6	適切なポジショニングについて	藤本忠寛	多職種カンファレンス	2017.3.24

研究業績：共同運営部門 相談支援室・がん相談支援センター

(1) 学術講演・講義

番号整理	演題	発表者	学術講演会名	年月日
1	療養場所の選択と地域連携「緩和ケアの地域リソース」、「在宅医療を支える制度」	下村恭子	第8回りんくう緩和ケア研修会	2016.6.12

(2) 院内研究活動

番号整理	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	(1)がん患者と家族が使用できる社会資源と制度 (2)がん患者の在宅療養への支援	下村恭子	がん性疼痛緩和ケア・がん化学療法看護エキスパートコース 保健医療システム	2016.9.15

研究業績：共同運営部門 泉州南部卒後臨床シミュレーションセンター（サザンウィズ）

（1）和文原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	II章 5. その他の救急疾患撮影 1)中毒	坂下恵治	救急撮影ガイドライン	改訂2版	189-190	2016
2	II章 5. その他の救急疾患撮影 2)ガス壊疽	坂下恵治	救急撮影ガイドライン	改訂2版	191-193	2016
3	II章 5. その他の救急疾患撮影 3)異物	坂下恵治	救急撮影ガイドライン	改訂2版	194-198	2016
4	II章 5. その他の救急疾患撮影 4)熱傷・電撃傷	坂下恵治	救急撮影ガイドライン	改訂2版	199-201	2016
5	7. 確認目的撮影に関する情報	坂下恵治	救急撮影ガイドライン	改訂2版	213-218	2016
6	III章 5. 感染対策	坂下恵治	救急撮影ガイドライン	改訂2版	270-278	2016
7	IV章 2. 救急撮影に関する基礎的知識	坂下恵治	救急撮影ガイドライン	改訂2版	288-293	2016
8	【Theme 6】超入門 人工呼吸患者の胸部画像の見かた	坂下恵治 松岡哲也	呼吸器ケア	14(8)	724-728	2016
9	造影CT検査、とくにプロトコルについて	坂下恵治 相良健司 西池成章 藤村一郎 松岡哲也	救急医学別冊 救急画像診断	40(10)	1268-1276	2016
10	日本救急撮影技師認定機構創立後、全国で充足した救急放射線技術関連研究会への感謝	坂下恵治	Joint	第7号	7	2016
11	VI. 救急撮影法	坂下恵治	診療放射線技術(上)	改訂14版		2017
12	次世代の救急医学と救急医療 トップに聞く 日本救急撮影技師認定機構	坂下恵治	救急医学	41(1)	100-103	2017
13	アンケート調査からみた救命救急医が求める診療放射線技師による読影補助	加藤京一 宇内太佑 安富蔵人 黒住 晃 稲垣直之 中澤靖夫 坂下恵治	日本診療放射線技師会雑誌	64(2)	14-23	2017

（2）国際学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	Activity Report And Future View Of Japan Organization For Emergency Radiological Technologists And Japan Committee To Spread CPR Ability Course For Medical Radiographers	Keiji SAKASHITA, Yuri ASHIHARA	the International Society of Radiographers and Radiological Technologists (ISRRT)2016	Poster	2016.10.22

（3）国内学会報告

番号整理	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	パネルディスカッション7 救急初療における画像診断の進歩	坂下恵治 西池成章 藤村一郎 相良健司 松岡哲也	第19回日本臨床救急医学会 総会・学術集会	口演	2016.5.13
2	パネルディスカッション7 Trauma pan-scanの適応を考える -当院におけるCT撮影方法の検証-	成田麻衣子 白井亮介 中尾彰太 井戸口孝二 水島康明 藤村一郎 西池成章 相良健司 坂下恵治 松岡哲也	第19回日本臨床救急医学会 総会・学術集会	口演	2016.5.14
3	パネルディスカッション19 「救急認定ソーシャルワーカー」 認定資格創設に向けて	坂下恵治 松岡哲也	第19回日本臨床救急医学会 総会・学術集会	口演	2016.5.14
4	外傷のCT撮影における画像再構成法と溢血描出能に関する検討	藤村一郎 西池成章 相良健司 坂下恵治	第19回日本臨床救急医学会 総会・学術集会	ポスター	2016.5.14
5	外傷全身CTにおける頭頸部動脈相撮影の有用性に関する検討	鈴木淳平 平野 透 長谷川雅一 澤 悟史 笹木 工 藤村一郎 岡田裕貴 小倉圭史 坂下恵治	第19回日本臨床救急医学会 総会・学術集会	ポスター	2016.5.14

（4）研究会・講演会

番号整理	演題	発表者	研究会名	年月日
1	今日の救急放射線撮影とその課題 特別講演	坂下恵治	呉西地区撮影技術勉強会(富山)	2016.5.27
2	救急患者への放射線技術と画像所見	坂下恵治	熊本CT研究会(熊本)	2016.11.19
3	今日の救急撮影と今後の展開 特別講演	坂下恵治	山形ERイメージング(山形)	2016.11.26
4	救急診療における救急撮影認定技師の役割と活動の実際 特別講演	坂下恵治	第57回造影研究会(愛媛)	2016.12.1
5	救急撮影における撮影技術と安全管理 特別講演	坂下恵治	東芝CTユーザー会in四国(愛媛)	2016.12.17

(5) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学 術 講 演 会 名	年 月 日
1	造影剤の血管内投与 安全な検査の実施と患者急変時対応	坂下恵治	公益社団法人日本診療放射線技師会 「業務拡大に伴う統一講習会」追加指導 者講習会(東京)	2016.4.9
2	私が『救急』を選んだ理由 そして、これからの『救急』	坂下恵治	日本救急撮影技師認定機構 創立5周年記念講演会(横浜)	2016.4.16
3	外傷診断に求められる診療放射線技師による読影補助	坂下恵治	日本救急撮影技師認定機構 救急撮影講演会(沖縄)	2016.5.7
4	経過観察のための病棟撮影と確認画像実習	坂下恵治	第2回救急撮影セミナー(実践編) 九州大学病院	2016.6.12
5	チーム医療の推進と診療放射線技師の役割	坂下恵治	公益財団法人医療研修推進財団 2016年度診療放射線技師新人研修会 (大阪)	2016.6.25
6	救急撮影概論とJERTの今後の動向	坂下恵治	日本救急撮影技師認定機構 救急撮影講習会(名古屋) 名古屋第二赤十字病院	2016.8.20
7	救急診療に生かす読影補助のあり方について 特別講演	坂下恵治	九州国立病院診療所放射線技師会 第5回 臨床画像セミナー(熊本)	2016.9.3
8	患者急変時(特にアナフィラキシーショック)の適切な対処	坂下恵治	公益財団法人医療研修推進財団 2016年度診療放射線技師実習施設指導 者等養成講習会(神戸)	2016.9.25
9	読影補助とは、救急診療における我々の役割	坂下恵治	日本救急撮影技師認定機構 救急撮影講演会(新潟) 新潟大学病院	2016.11.5
10	経過観察のための病棟撮影と確認画像実習	坂下恵治	第3回救急撮影セミナー(実践編) りんくう総合医療センター(大阪)	2016.12.4
11	今日の救急撮影とそれを構成する撮影技術	坂下恵治	公益社団法人愛知県診療放射線技師会 第4回研修会(愛知) 名古屋市立大学病院	2017.2.4
12	救急撮影概論とJERTの今後の動向	坂下恵治	日本救急撮影技師認定機構 救急撮影講演会(熊本) 済生会熊本病院	2017.2.26
13	今日の救急医療と放射線技術 特別講演	坂下恵治	秋田県診療放射線技師会 県南支部総会・学術大会	2017.3.4

(6) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	パネルディスカッション5 地域医療構想と救急医療体制	坂下恵治	第19回日本臨床救急医学会 総会・学術集会(福島)	2016.5.13
2	講演1-2	坂下恵治	公益社団法人日本診療放射線技師会 第9回読影セミナー(東京)	2016.7.3
3	講演1-3	坂下恵治	公益社団法人日本診療放射線技師会 第10回読影セミナー(大阪)	2016.12.11
4	講演1-3	坂下恵治	公益社団法人日本診療放射線技師会 第11回読影セミナー(福岡)	2017.2.12
5	シンポジウム 救急放射線診療を取り巻く各施設の運用や問題点	坂下恵治	第14回近畿救急撮影セミナー(大阪)	2017.2.18
6	読影分科会企画 シンポジウム	坂下恵治	近畿地域診療放射線技師会学術大会 読影分科会企画(和歌山)	2017.2.19

研究業績：看護局

(1) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	クリティカルケアにおける医療者の緩和ケアに対する認識の実態調査	清水みちる	日本緩和医療学会	ポスター	2016.6.17-18
2	災害発生時に病院看護部が外部支援看護師を受け入れる要因	藤原由子	第18回日本災害看護学会	口頭	2016.8.26-27
3	A病院におけるPNS導入後の実態調査	高島麻由美	全国自治体学会	口頭	2016.10.20-21
4	入院決定時に行うクリニカルパス説明の取り組み	清田智子	第17回日本クリニカルパス学会	ポスター	2016.11.25-26
5	三次救命センターICUにおける経腸栄養(EN)プロトコル改訂での有用性	藤田智也	第32回日本静脈経腸栄養学会	口頭	2017.2.23-24

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
6	造血幹細胞移植の再開にむけた病棟での取り組み	辻 香奈子	第39回日本造血細胞移植学会	口頭	2017.3.2-4
7	地域支援病院として院外BLS研修設立の取り組みと今後の課題	山田友子	第10回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口頭	2017.3.4
8	当センターのクリティカルケア看護の質向上への取り組みと今後の課題	川島孝太	第10回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口頭	2017.3.4
9	当センターの看護師教育の質向上への取り組みと今後の課題	川島孝太	第10回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	口頭	2017.3.4
10	心不全看護外来を受診する患者の実態調査	壽慶奈津子	第81回日本循環器学会	口頭	2017.3.17-19
11	人工呼吸器装着管理となった高齢患者に対する苦痛緩和への関わり	小治愛理	第115回近畿救急医学研究会	口頭	2017.3.18

(2) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	医療安全・感染Ⅰ 一般公演	鈴木千晶	第10回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	2017.3.4
2	患者サービス 一般公演	井出由起子	第10回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会	2017.3.4
3	教育講演	小城千絵	第42回日本脳卒中学会学術集会	2017.3.16

(3) 講師

番号整理	講 義 内 容	講 師	所属部署	学 校	講義回数 講義日
1	ICU看護	井畑美穂	ICU/CCU	泉佐野泉南医師会看護専門学校	4時間
2	脳神経系疾患看護	萩野亨子	5海	泉佐野泉南医師会看護専門学校	10時間
3	脳神経系疾患看護	小城千絵	5海	泉佐野泉南医師会看護専門学校	8時間
4	糖尿病・内分泌疾患看護	西村直美	8山	泉佐野泉南医師会看護専門学校	8時間
5	循環器疾患看護	小稲美穂	7山	泉佐野泉南医師会看護専門学校	8時間
6	消化器外科疾患看護	兒嶋洋巳	8海	泉佐野泉南医師会看護専門学校	8時間
7	腎・泌尿器疾患看護	田守杏子	6海	泉佐野泉南医師会看護専門学校	4時間
8	血液・造血器疾患看護	岸本節子	8山	泉佐野泉南医師会看護専門学校	6時間
9	運動器疾患看護	榊原由紀	7海	泉佐野泉南医師会看護専門学校	8時間
10	呼吸器疾患看護	兒嶋洋巳	8海	泉佐野泉南医師会看護専門学校	4時間
11	感染看護	山内真澄	感染対策室	泉佐野泉南医師会看護専門学校	6時間
12	化学療法看護	森 沙苗	外来	泉佐野泉南医師会看護専門学校	4時間
13	術中看護	桑原深雪	OP	泉佐野泉南医師会看護専門学校	4時間
14	マタニティ異常	乾 理絵	6山	泉佐野泉南医師会看護専門学校	8時間
15	創傷のケア	高橋敏枝	地域医療連携室	泉佐野泉南医師会看護専門学校	4時間
16	救急看護	山田友子	E-ICU	泉佐野泉南医師会看護専門学校	12時間
17	リスクマネジメントの実際	河野純子	安全管理室	泉佐野泉南医師会看護専門学校	4時間
18	国家試験対策 化学療法	森 沙苗	外来	泉佐野泉南医師会看護専門学校	90分
19	国家試験対策 創傷管理・褥瘡	高橋敏枝	地域医療連携室	泉佐野泉南医師会看護専門学校	90分
20	国家試験対策 糖尿病	西村直美	外来	泉佐野泉南医師会看護専門学校	90分
21	国家試験対策 循環器系	壽慶奈津子	7山	泉佐野泉南医師会看護専門学校	90分
22	国家試験対策 感染看護	山内真澄	感染対策室	泉佐野泉南医師会看護専門学校	90分
23	院外BLS研修講義	山田友子 吉田恵子	EICU 外来	りんくう総合医療センター研修棟	4回/年
24	救急看護の役割	二藤真理子	EICU	物療大学	2016.4.15
25	救急医療におけるチームマネジメント	二藤真理子	EICU	物療大学	2016.5.13
26	ストーマケア・創傷管理・失禁	高橋敏枝	地域医療連携室	ストーマケア講習会	2016.8.19
27	今からできる自分でできるがん予防	杉野幸恵	8山	市民健康講座	2016.10.15
28	救命救急士の養成と生涯教育	山田友子	EICU	大阪市消防学校	2017.1.11
29	救急受診の目安と救急車利用時の注意点	吉田恵子	外来	市民健康講座	2017.1.21
30	脳血管疾患患者のフィジカルアセスメントを生活支援に活かす	小城千絵	5山	第28回日本循環器学会教育セミナー	2017.1.22
31	救急時の看護	山田友子	EICU	永山病院	2017.2.22
32	ストーマケアについて	高橋敏枝	地域医療連携室	南大阪QOL相談会	2017.3.11
33	認知症ケアに大切なもの	松藤香織	7山	市民健康講座	2017.3.11

(4) 院内研究発表会：2017年2月11日(土)

番号整理	演 題	発 表 者	所属部署
1	記録監査システムが手術看護記録に及ぼす有効性の検討	柴田 忍	OP
2	計画透析導入患者の心理 ～Shontz～モデルと対比して	高田澄子	外来
3	オタワ意思決定支援ガイド導入において 血液腫瘍内科患者の意思決定支援に対する看護師の行動の変化	青山葉子	8山
4	後期早産児を出産した母親の早期乳頭刺激による母乳分泌促進ケアプロトコルの有効性	加藤江里子	6山
5	急性期脳卒中・頭部外傷患者に対する体温管理の現状調査	西川千尋	5山

番号整理	演 題	発 表 者	所属部署
6	NICUに入院した児の入院から退院までに抱く父の気持ち ～父の気持ちに寄り添った看護を目指して～	松本和子	NICU/GCU
7	循環器病棟看護師の急変時対応の実態	山原匡雄	7山
8	内視鏡検査室における2/3以上狭窄を指摘された大腸癌患者の術前経過の実態調査	神田麻紀子	放射線科
9	自宅退院した軽症脳卒中患者の再発危険因子に対する認識調査	山田隆子	5海
10	集中治療現場における医師-看護師間の情報共有に影響する因子の考察	東郷正弘	EICU
11	心臓血管外科術後ICU入室患者における術後せん妄の発症要因	田村亜希子	ICU
12	弾性ストッキングを装着している整形外科下肢手術後患者への皮膚障害発生要因の実態調査	吉田華那	7海
13	尿路変更術におけるストーマ手技習得ケアプログラムの有用性 ーケアプログラムを使用した2事例の報告ー	奥中基子	6海
14	下部消化管手術クリニカルパス経過中の患者の思いに対する看護師のかかわり	堀田未来	8海
15	プレホスピタル活動時のブリーフィング・デブリーフィングが看護師に及ぼす影響	真弓貴光	初療/OP

(5) TQM発表：2017年2月24日(金)

(口頭発表)

番号整理	テーマ	サークル名	所属部署
1	物品不足解消～スタッフのストレス軽減に向けて～	物品係	ICU/CCU
2	助手と看護師の連携改善	JHP～助手さんHappyProject～	7階山側病棟
3	入浴・シャワー浴の業務改善の検討	いい湯だな	8階海側病棟
4	予防接種外来大変革season II	予防接種外来改革プロジェクトチーム	外来
5	経腸栄養グッズのコスト削減と請求数減少への取り組み	チームYN	5階山側病棟

(ポスター発表)

番号整理	テーマ	サークル名	所属部署
1	こんなにシール紛失しているなんておったまげー！！	5海Ⅱ	5階海側病棟
2	物品棚の改善によりスタッフみんなが使いやすくなるように	物品さん	6階海側病棟
3	コストシール紛失防ぎ隊	めばえ	6階山側病棟
4	術後処方薬自己管理の現状把握、インシデントの防止	オクスリGO	7階海側病棟
5	まじっすか！8山病棟の退院支援	火・木シュー二	8階山側病棟
6	優しいケアの方法を見直そう	3代目N care nurse	NICU/GCU
7	申し送りから患者カンファレンスへ ～個別性のある看護の共有と継続をめざして～	情報伝達チーム	EICU
8	患者家族様へのサービス向上を目指して	QQ	救急外来

研究業績：各業務 医療安全管理室

(1) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	医療安全(看護学校)	河野純子	泉南医師会看護専門学校	2016.7.8

(2) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	RRS ワーキング	安達晋吾	RRS ワーキング	毎月
2	ラテックスワーキング	出村公一	ラテックスワーキング	毎月
3	身体拘束ワーキング	弥園英治	身体拘束ワーキング	毎月
4	チームステップスワーキング	小野秀文	チームステップスワーキング	毎月
5	医療安全(PmSHELL に関して):リハビリ室勉強会	弥園英治	医療安全(PmSHELL に関して):リハビリ室勉強会	
6	医療安全(PmSHELL に関して):中央手術室勉強会	弥園英治	医療安全(PmSHELL に関して):中央手術室勉強会	
7	医療安全(PmSHELL に関して):薬剤科	弥園英治	医療安全(PmSHELL に関して):薬剤科	

研究業績：各業務 院内感染対策室

(1) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	感染看護	山内真澄	泉南医師会看護専門学校	2016.10.27-28
2	感染予防PPE と採血	山内真澄	再就職支援講習会	2016.11.17
3	国師対策 感染看護	山内真澄	泉南医師会看護専門学校	2017.1.20
4	国際空港で働くうえで注意すべき輸入感染症および当院での対応について	倭 正也	CKTS株式会社様研修会	2017.3.23

(2) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研究会名	年 月 日
1	関西空港で発生した麻しんの集団感染について	倭 正也	2017年度第2回 阪神地区感染症懇話会	2017.1.6

(3) 院内研究活動

番号 整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	感染防止対策	倭 正也 山内真澄	新規採用者研修	2016.4.4
2	微生物の基礎知識	須合恵美	感染管理エキスパートコース講習会	2016.7.21
3	感染管理	山内真澄	看護助手教育	2016.7.22
4	感染管理②	山内真澄	ラダーⅡ研修	2016.7.26
5	抗菌薬の基礎知識	泉原里絵	感染管理エキスパートナース講習会	2016.8.18
5	感染アドバンス「感染症の基礎知識」	倭 正也	感染エキスパートコース	2016.9.1
6	静脈注射に関する薬剤知識	山内真澄	静脈注射Ⅱ研修	2016.11.18
7	感染予防のお話～インフルエンザ、ノロウイルス、感染性胃腸炎～	山内真澄	生活習慣病予防教室	2016.12.8
8	薬剤耐性(AMR)感染症 ～抗菌薬の適正使用について～	倭 正也	りんくうメッセージ	2017.2.1

研究業績：各業務 地域医療連携室

(1) 国内学会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	地域包括ケアシステム実現に向けた地域医療支援病院の果たす役割	中西 賢 松岡哲也 元林 賢	第10回日本医療マネジメント学会 大阪支部学術集会	口頭	2017.3.4